

善通寺市
子ども・子育て支援についてのニーズ調査
結果報告書

平成 26 年 3 月

善通寺市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果	3
1 お住まいの地域・ご家族の状況等について	4
2 子どもの育ちをめぐる環境について.....	8
3 保護者の就労状況について.....	12
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）	19
5 地域の子育て支援事業等の利用状況について（就学前児童）	31
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）	36
7 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）（就学前児童）	42
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（就学前児童）	46
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について	54
10 仕事と家庭の両立について（小学生児童）	65
11 子育て全般について	67
12 自由回答.....	77

I . 調査の概要

1 調査の目的

普通寺市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、平成 27 年度から計画的に給付・事業の整備を実施する予定です。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的に実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：普通寺市全域
- 調査対象者：市在住の「就学前児童」から無作為に 1,000 人を抽出（就学前児童調査）
市在住の「小学生児童」から無作為に 1,000 人を抽出（小学生児童調査）
- 調査期間：平成 25 年 11 月 25 日（月）～平成 25 年 12 月 5 日（木）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象者数 (配布数)	回収数	回収率
就学前児童	1,000	714	71.4%
小学生児童	1,000	825	82.5%
合計	2,000	1,539	77.0%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

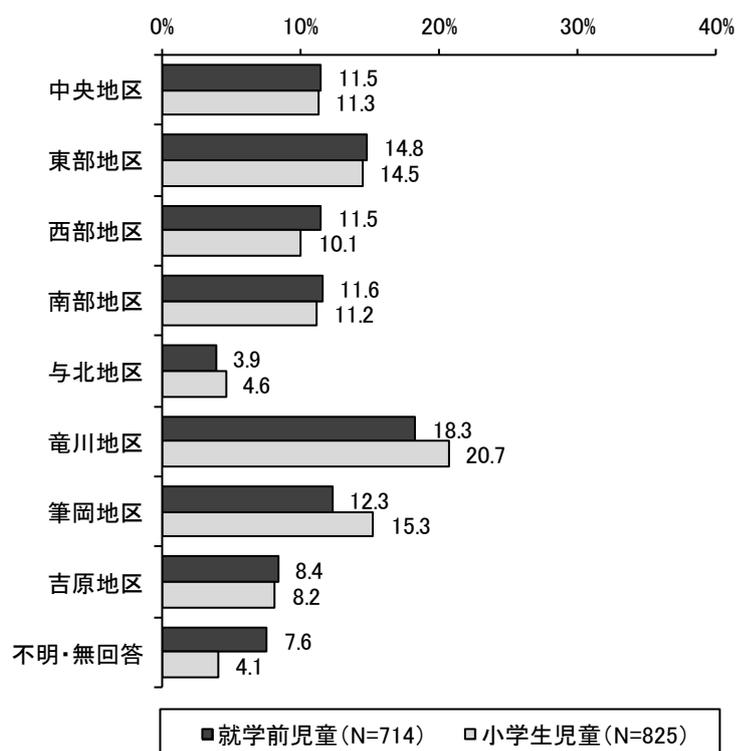
Ⅱ. 調査結果

(就学前児童調査・小学生児童調査)

1 お住まいの地域・ご家族の状況等について

(1) お住まいの地区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

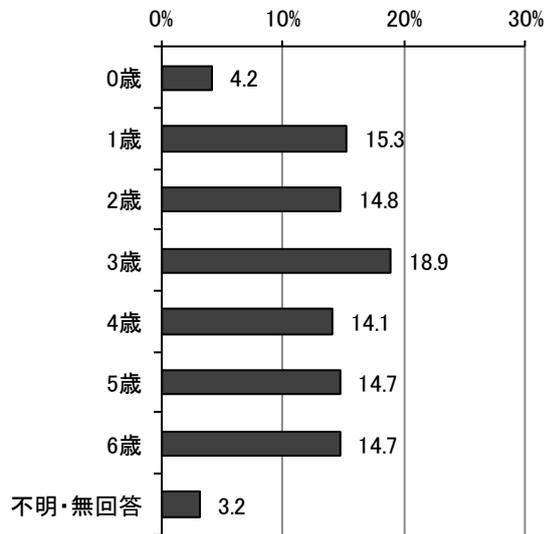
小学校区についてみると、「竜川地区」への回答が、就学前児童で 18.3%、小学生児童で 20.7%と、それぞれ最も多くなっています。



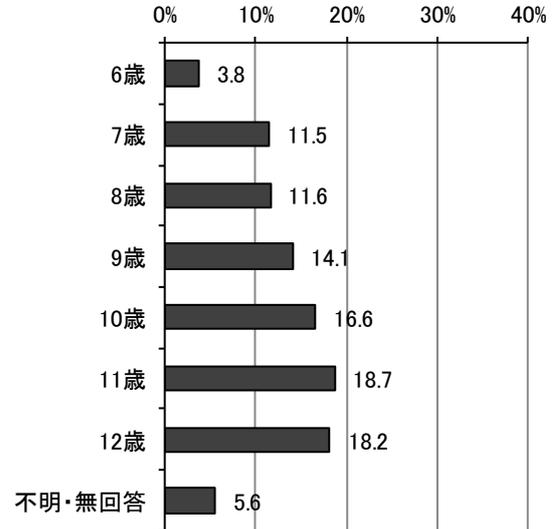
(2) 対象の子どもの年齢〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

年齢についてみると、就学前児童では、「3歳」が18.9%、小学生児童では、「11歳」が18.7%と、それぞれ最も多くなっています。

就学前児童(N=714)



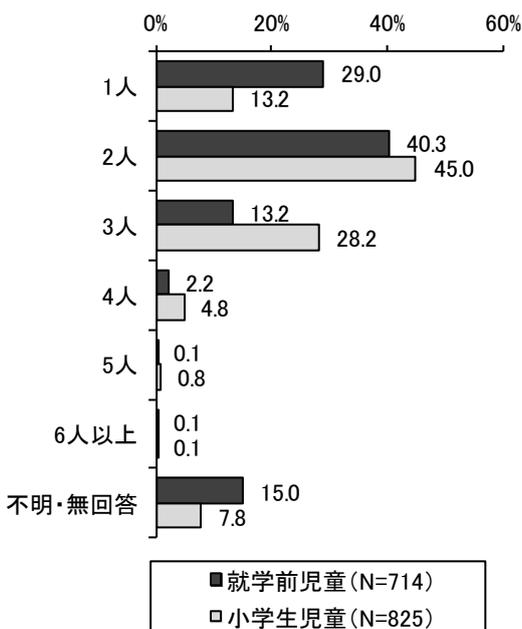
小学生児童(N=825)



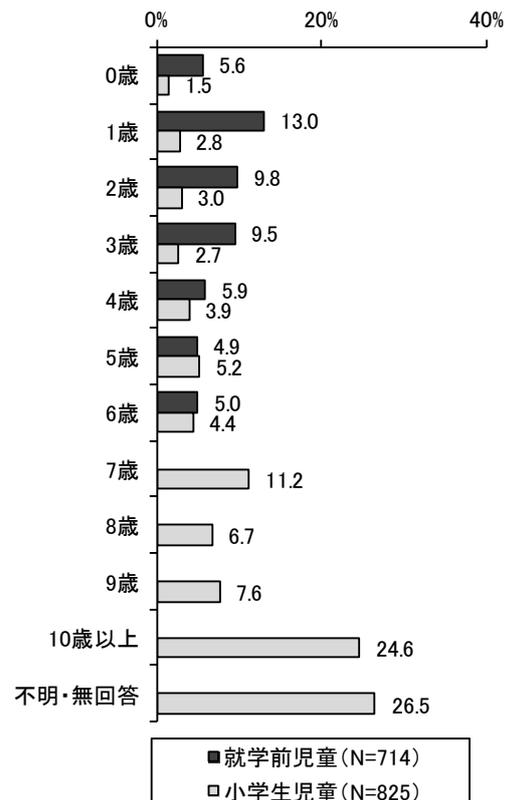
(3) きょうだいの数、末子の年齢〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

きょうだいの数についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「2人」への回答が最も多く、末子の年齢については、就学前児童では「1歳」、小学生児童では「10歳以上」が最も多くなっています。

【きょうだいの数】

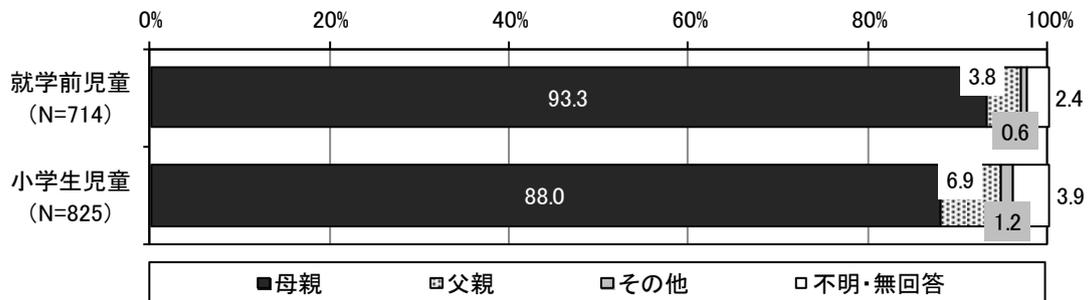


【末子の年齢】



(4) 調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

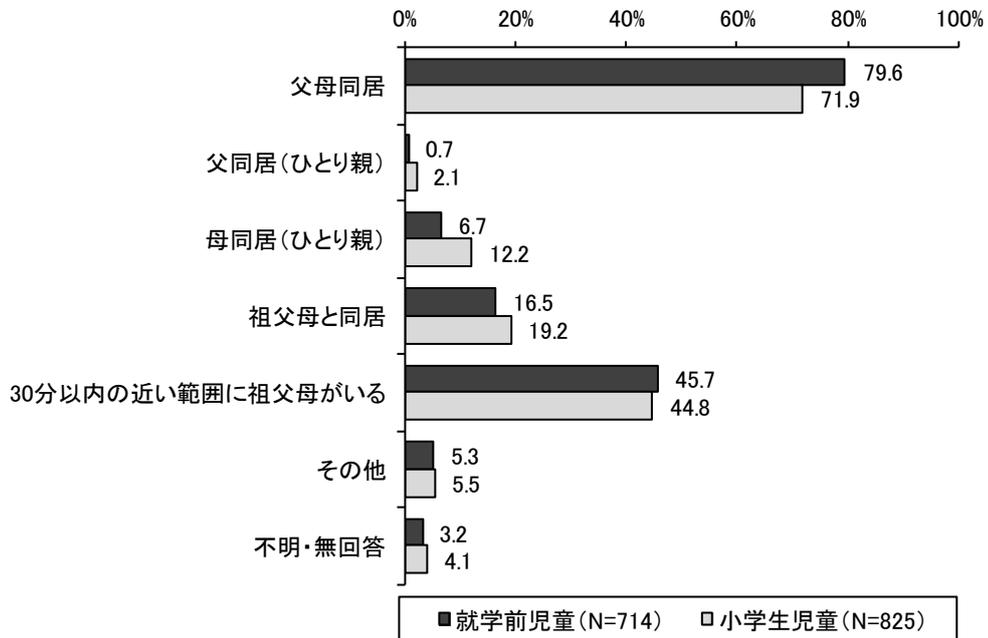
回答者についてみると、「母親」への回答が、就学前児童で93.3%、小学生児童で88.0%と、最も多くなっています。



【その他回答】(抜粋)
 ・祖母
 ・祖父

(5) 家庭環境〈複数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕

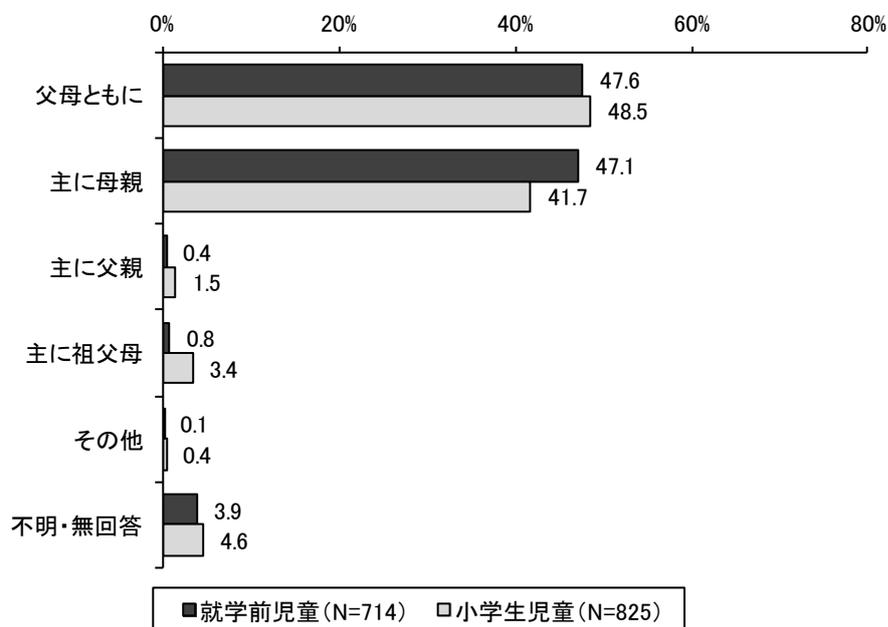
子どもの家庭環境についてみると、「父母同居」への回答が、就学前児童で79.6%、小学生児童で71.9%と最も多く、次いで「30分以内の近い範囲に祖父母がいる」が、就学前児童で45.7%、小学生児童で44.8%となっています。



【その他回答】(抜粋)
 ・曾祖母
 ・曾祖父
 ・兄弟、姉妹
 ・父が単身赴任

(6) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問6〕

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」への回答が、就学前児童で 47.6%、小学生児童で 48.5%、次いで、「主に母親」が就学前児童で 47.1%、小学生児童で 41.7%と、特に多くなっています。



【その他回答】(抜粋)

- ・祖母
- ・祖父

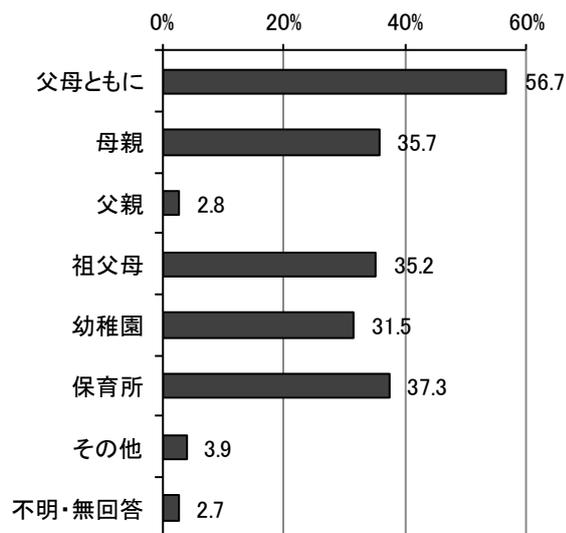
2 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設〈複数回答〉

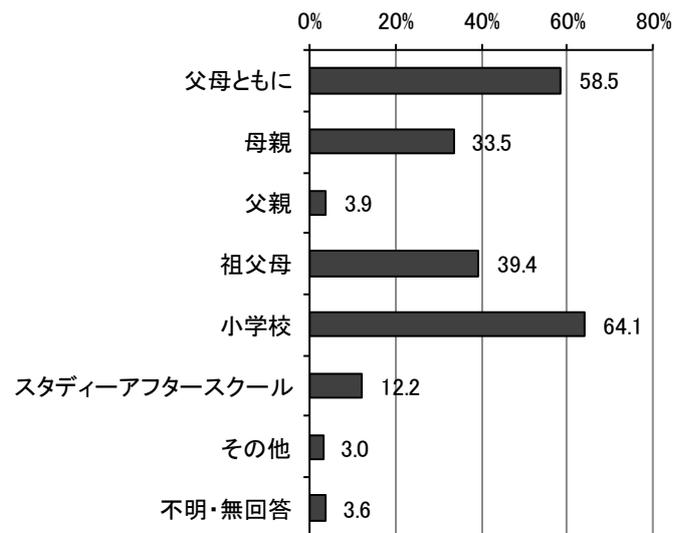
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問7〕

子育てに日常的に関わっている人・施設についてみると、就学前児童では「父母ともに」への回答が56.7%、小学生児童では「小学校」が64.1%と最も多くなっています。

就学前児童(N=714)



小学生児童(N=825)

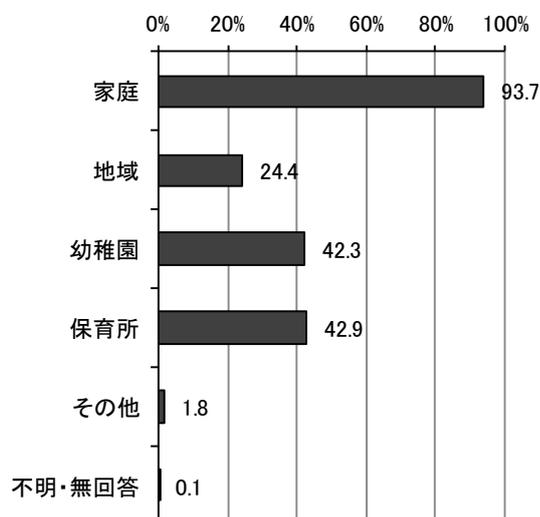


(2) 子育てにもっとも影響すると思われる環境〈複数回答〉

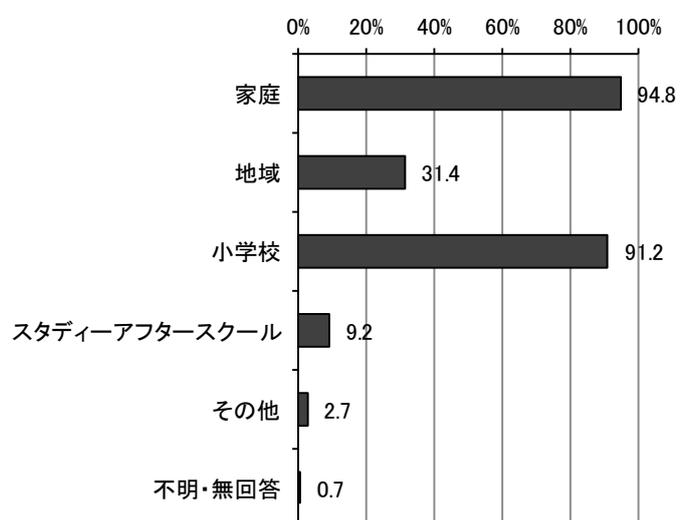
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問8〕

子育てにもっとも影響すると思われる環境についてみると、「家庭」への回答が、就学前児童で93.7%、小学生児童で94.8%と最も多く、次いで小学生児童では「小学校」が91.2%となっています。

就学前児童(N=714)



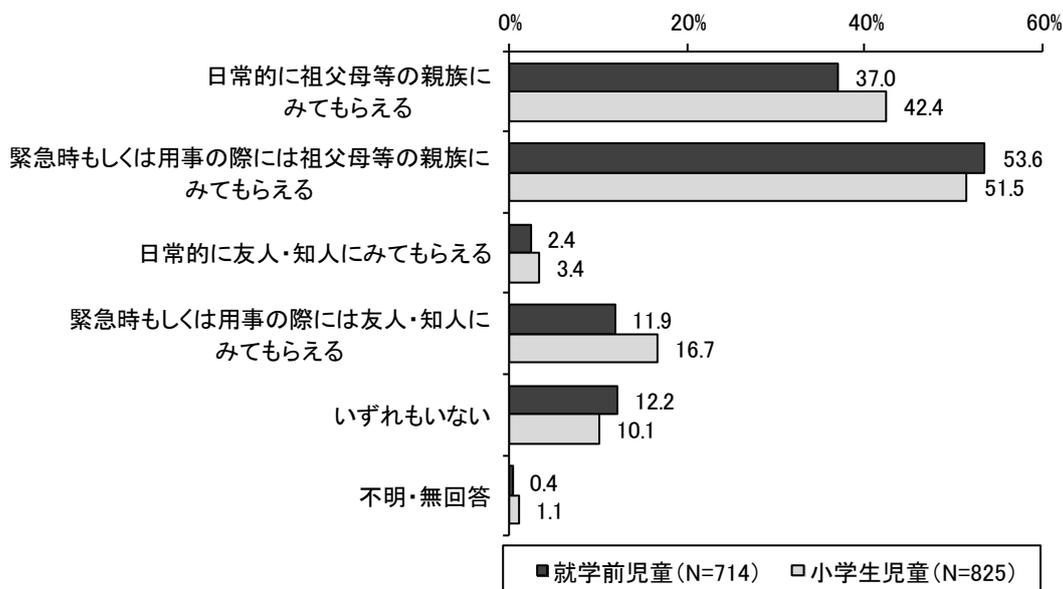
小学生児童(N=825)



(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9〕

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」への回答が、就学前児童で 53.6%、小学生児童で 51.5%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で 37.0%、小学生児童で 42.4%となっています。

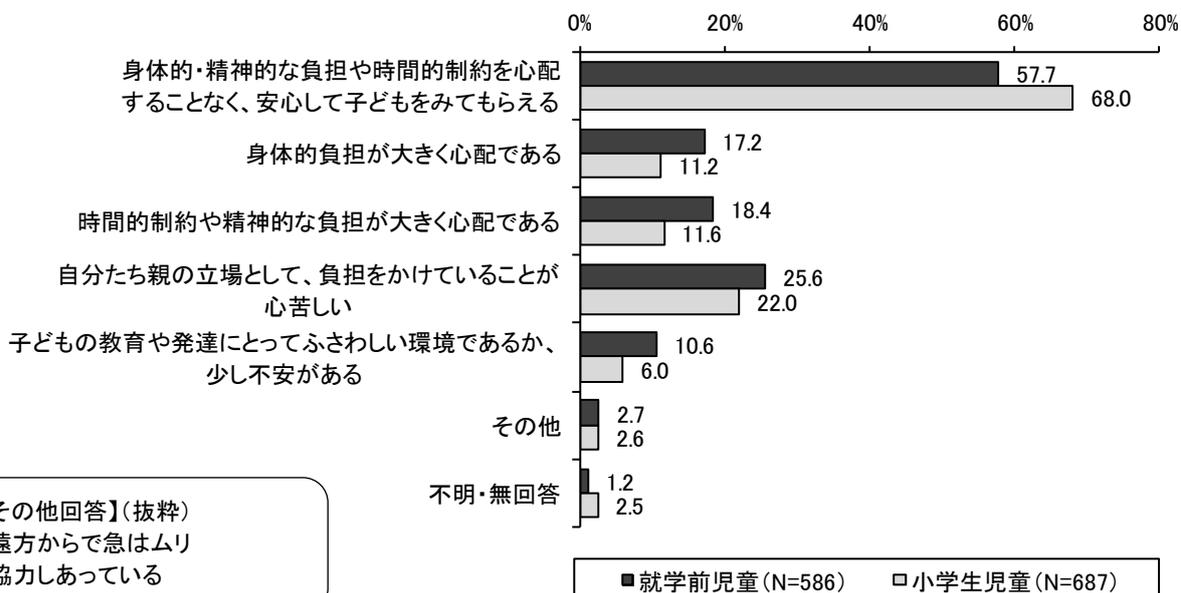


(1) で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

(1) - 1 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9-1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」への回答が、就学前児童で 57.7%、小学生児童で 68.0%と最も多くなっています。



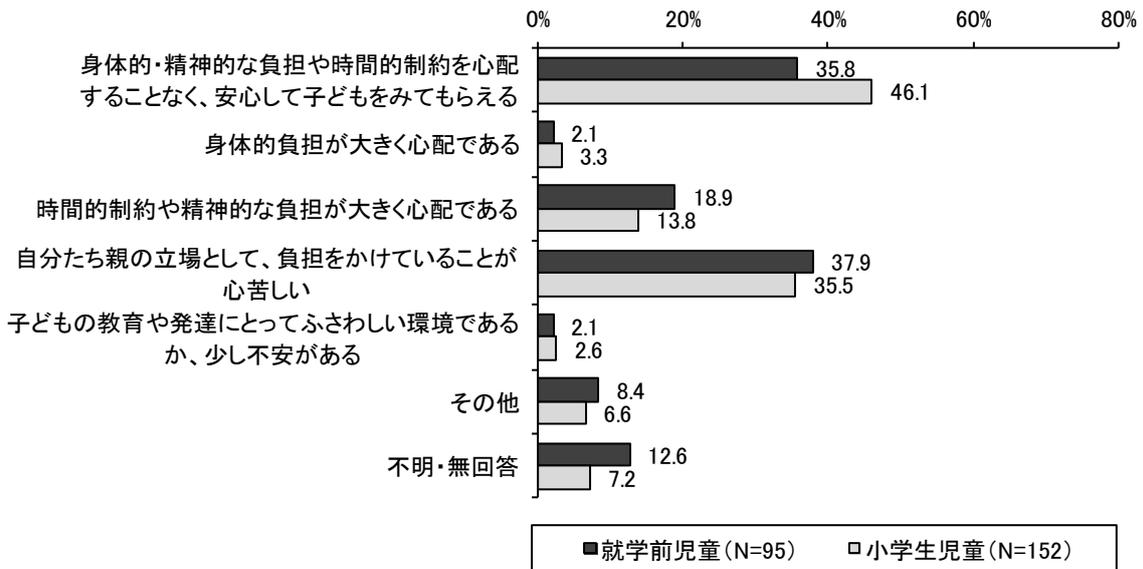
【その他回答】(抜粋)
 ・遠方からで急はムリ
 ・協力しあっている

(1)で「日常的に友人・知人にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には友人・知人にみてもらえる」を選んだ方

(1)－2 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9－2〕

友人・知人にみてもらっている状況についてみると、就学前児童では「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」への回答が37.9%と最も多く、小学生児童では「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.1%と最も多くなっています。



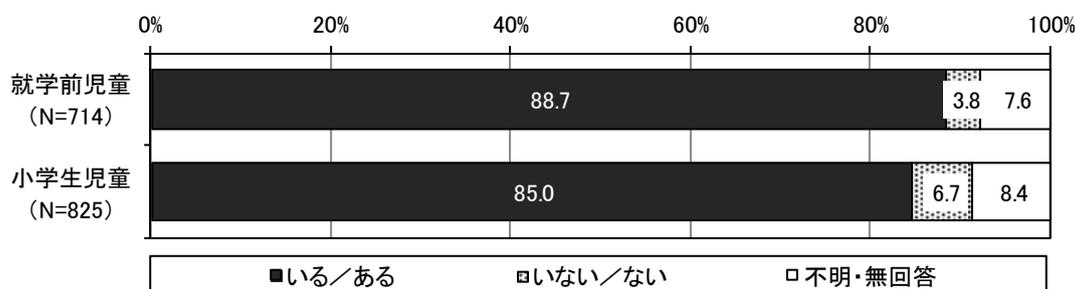
【その他回答】(抜粋)

- ・心苦しさはあるが、同じ境遇の友人とお互い助け合いカバーしている
- ・お互い様と思える範囲で安心してみてもらっている
- ・友人・知人にはみてもらおうとは思っていない
- ・まだお願いした事はない

(2) 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 10〕

子育てをする上で気軽に相談できる人（場所）の有無についてみると、「いる／ある」が就学前児童で88.7%、小学生児童で85.0%と、特に多くなっています。

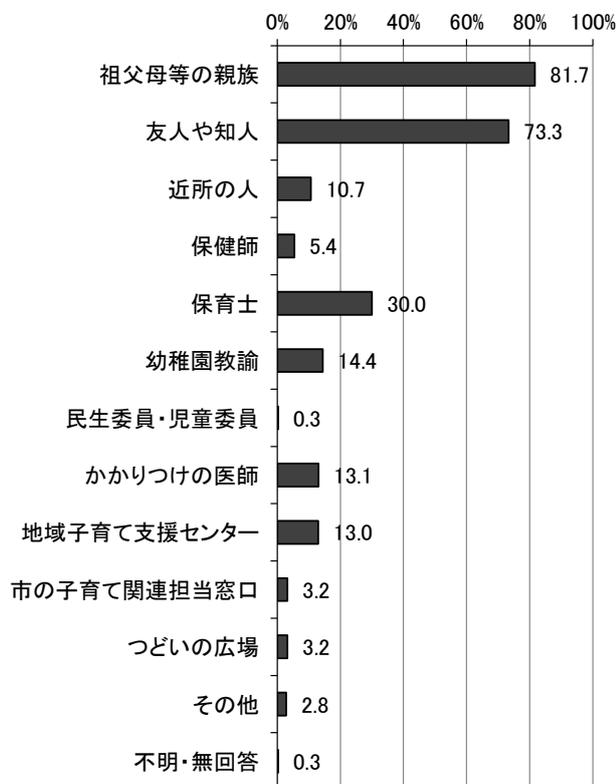


(2) で「いる／ある」を選んだ方

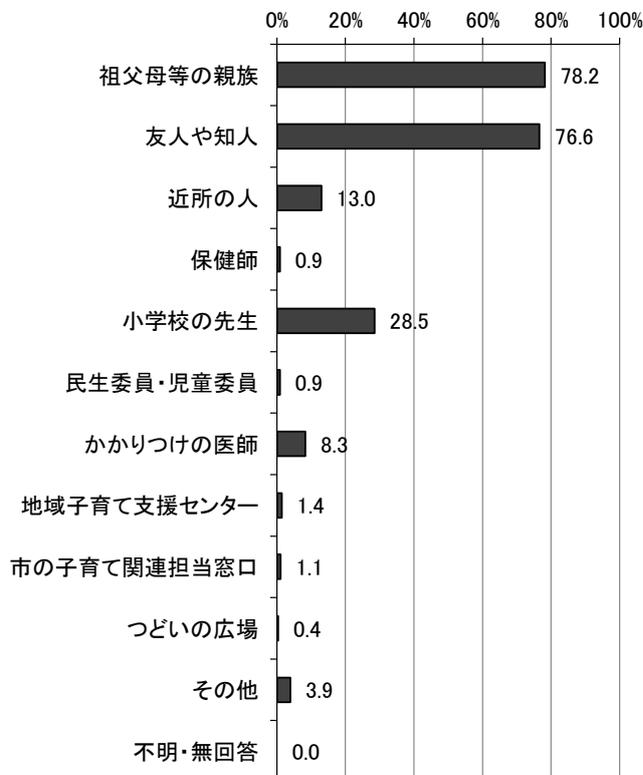
(2) - 1 具体的な相談相手、場所〈複数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 10-1〕

気軽に相談できる人、場所についてみると、「祖父母等の親族」への回答が、就学前児童で81.7%、小学生児童で78.2%と最も多く、次いで「友人や知人」が就学前児童で73.3%、小学生児童で76.6%となっています。

就学前児童 (N=633)



小学生児童 (N=701)



【その他回答】(抜粋)
・病院スタッフ ・職場の人 ・配偶者

【その他回答】(抜粋)
・職場の人 ・配偶者 ・スクールカウンセラー

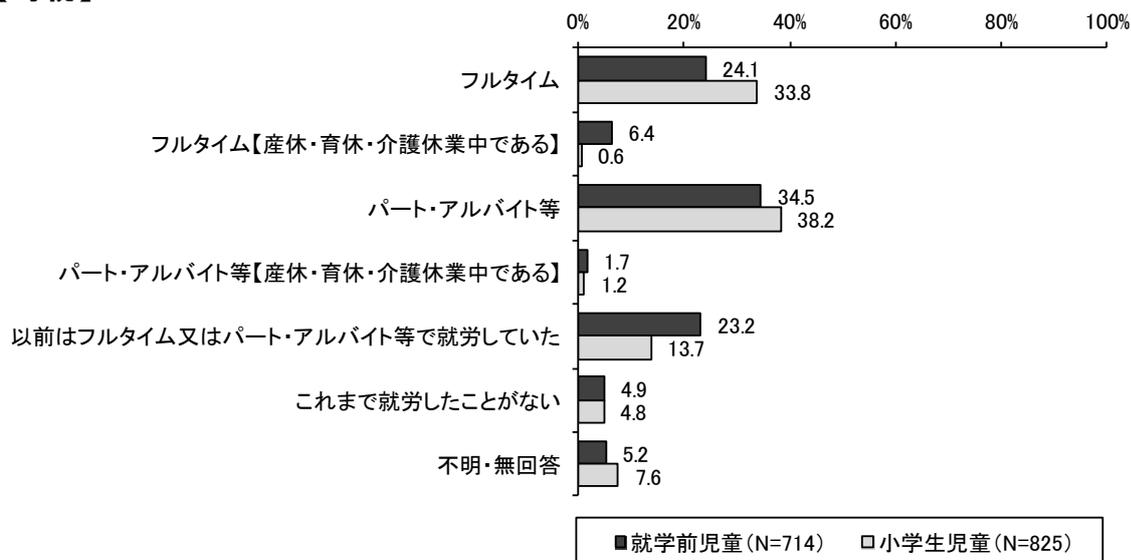
3 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 11〕

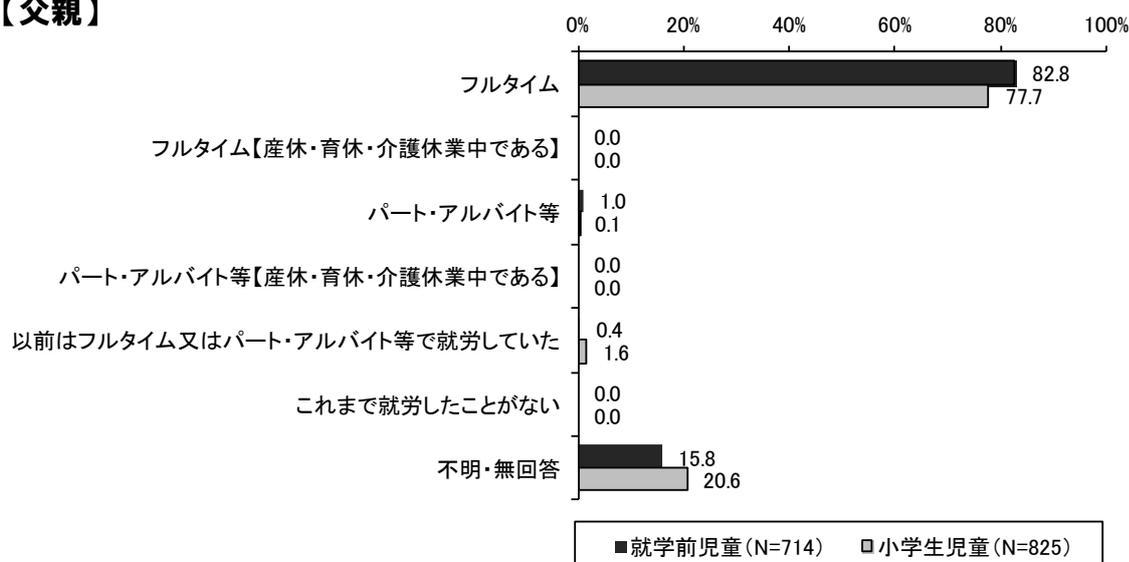
保護者の就労状況についてみると、母親では「パート・アルバイト等」への回答が就学前児童で34.5%、小学生児童で38.2%と最も多くなっています。

父親では「フルタイム」が就学前児童で82.8%、小学生児童で77.7%と特に多くなっています。

【母親】



【父親】



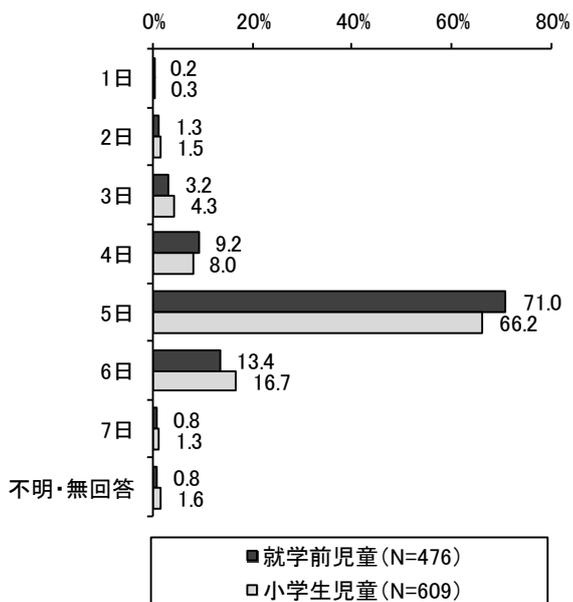
* 「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

◎就労している保護者の状況

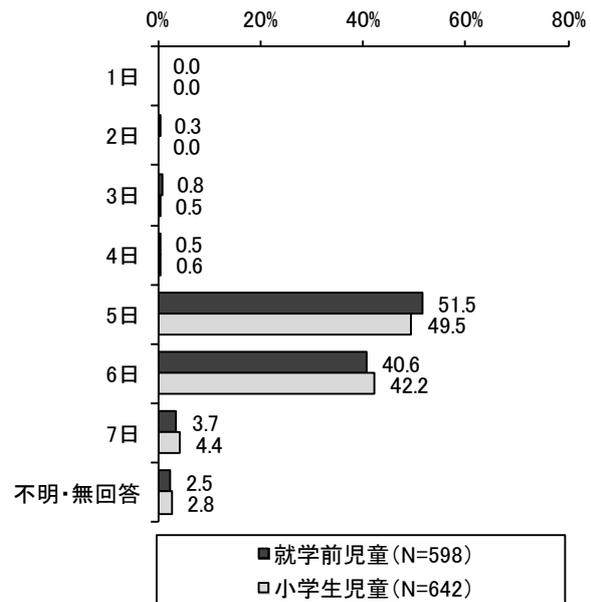
就労している保護者の状況についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに1週当たりの就労日数は「5日」、1日当たりの就労時間は「8時間」、出発時間は「8時」、帰宅時間は「18時」がそれぞれ最も多くなっています。また、父親では就学前児童、小学生児童ともに1週当たりの就労日数は「5～6日」、1日当たりの就労時間は「8時間以上」、出発時間は「7時」、帰宅時間は「18時以降」がそれぞれ最も多くなっています。

① 1週当たりの就労日数〈数量回答〉

【母親】

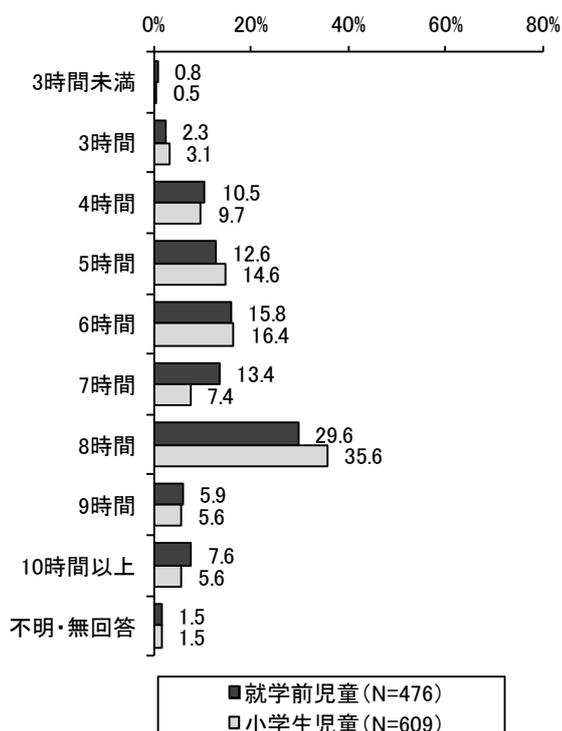


【父親】

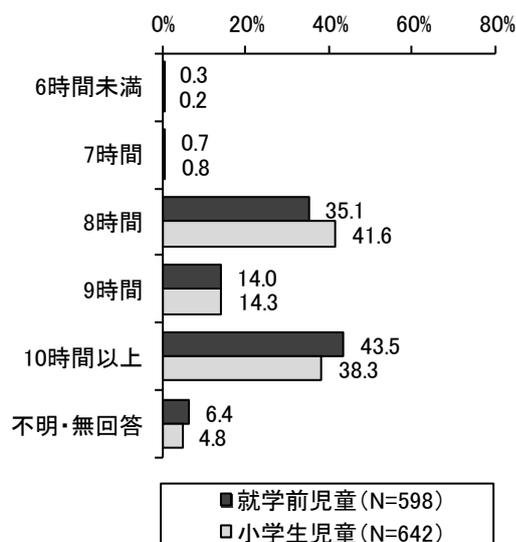


② 1日当たりの就労時間〈数量回答〉

【母親】

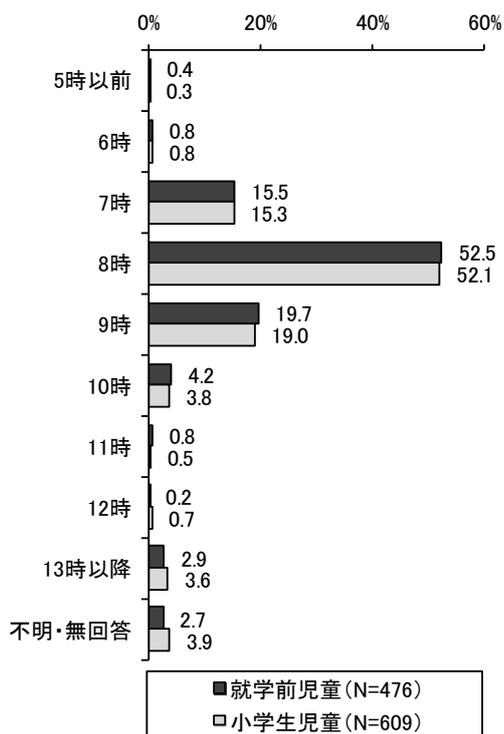


【父親】

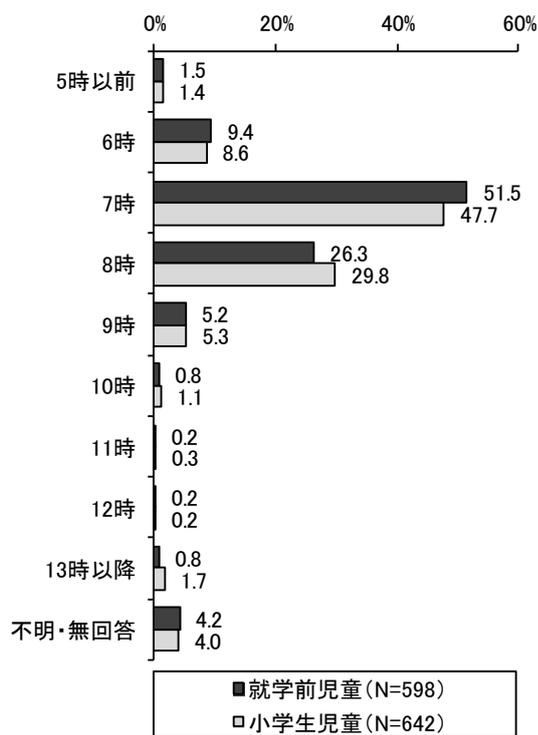


③出発時間〈数量回答〉

【母親】

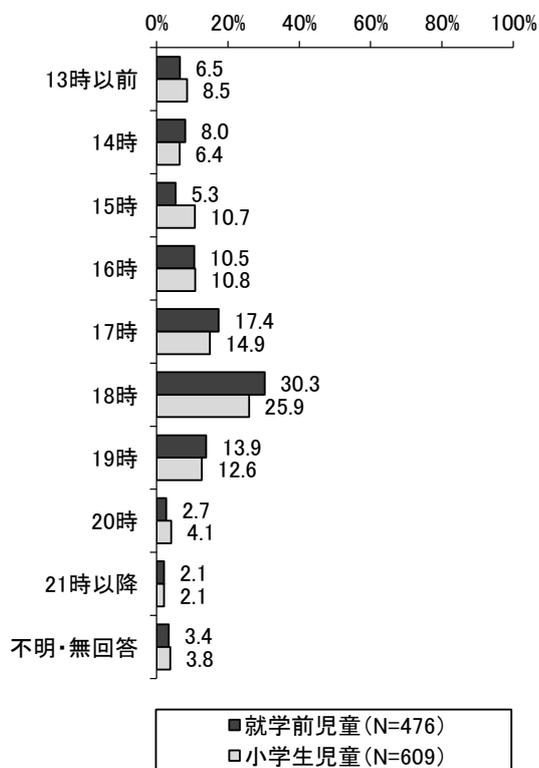


【父親】

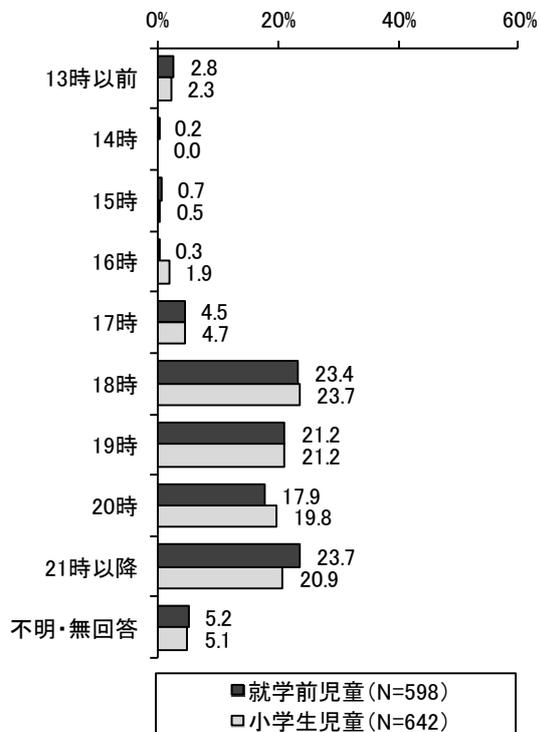


④帰宅時間〈数量回答〉

【母親】



【父親】

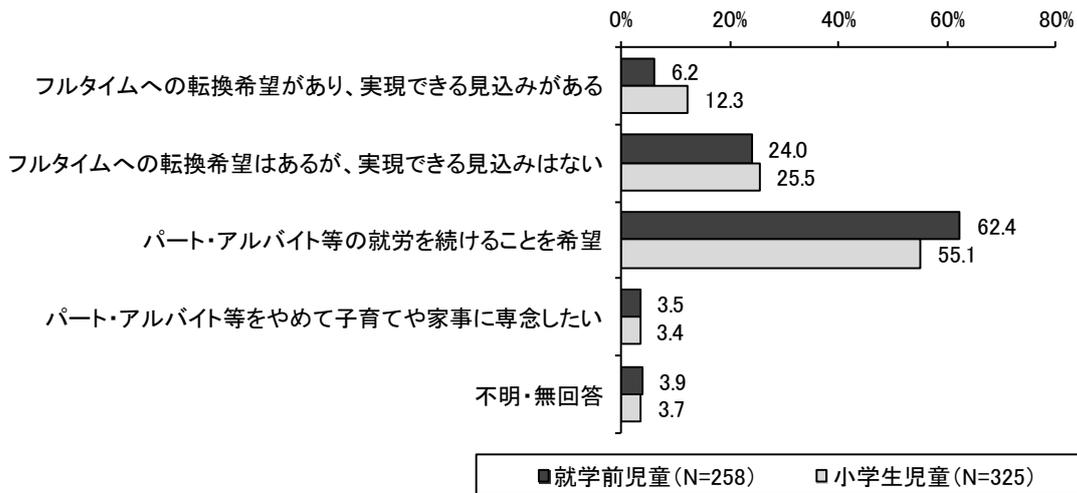


**(1)で「パート、アルバイト等」または「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」を選んだ方
(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉**

[就学前児童調査・小学生児童調査…問 12]

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で 62.4%、小学生児童で 55.1%と最も多くなっています。父親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が、就学前児童で 42.9%（3件）となっています。

【母親】



【父親】

フルタイムへの転換希望	就学前児童 (N=7)		小学生児童 (N=1)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	14.3	0	0.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	42.9	0	0.0
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	0	0.0	0	0.0
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	3	42.9	1	100.0

(1)で「以前はフルタイムまたはパート・アルバイト等で就労していた」または「これまで就労したことがない」を選んだ方

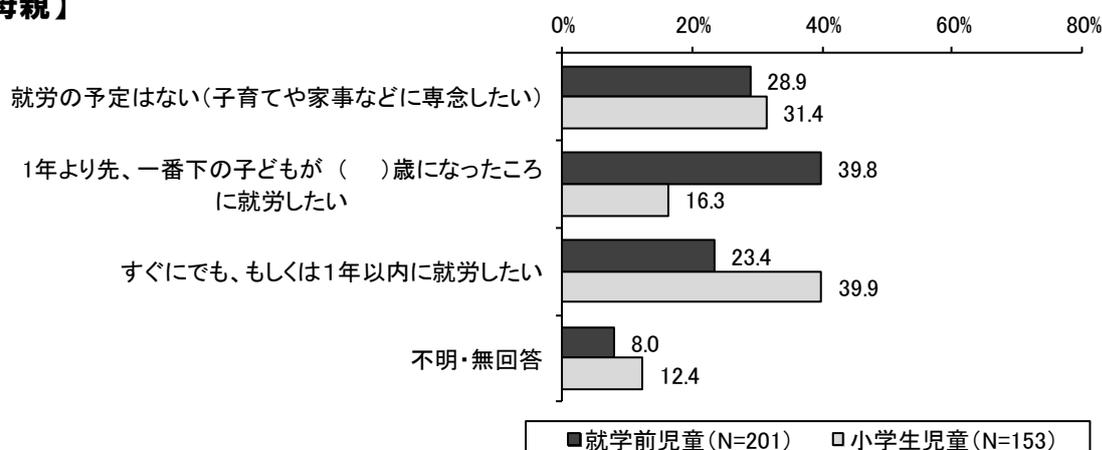
(3) 現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉

[就学前児童調査・小学生児童調査…問 13]

現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では就学前児童で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」39.8%、小学生児童では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が39.9%と最も多くなっています。父親では、就学前児童、小学生児童ともに「就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい)」が多くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかをみると、就学前児童、小学生児童ともに「7歳」が最も多くなっています。

【母親】



【父親】

フルタイムへの転換希望	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=13)	
	件数	%	件数	%
就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい)	2	66.7	3	23.1
1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	0	0.0	0	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	33.3	7	53.8
不明・無回答	0	0.0	3	23.1

①一番小さい子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」を選んだ方》

【母親】

就労したい時の末子の年齢	就学前児童 (N=80)		小学生児童 (N=25)	
	件数	%	件数	%
1歳	3	3.8	3	12.0
2歳	4	5.0	0	0.0
3歳	33	41.3	5	20.0
4歳	15	18.8	0	0.0
5歳	3	3.8	2	8.0
6歳	6	7.5	0	0.0
7歳	7	8.8	3	12.0
8歳	2	2.5	0	0.0
9歳	0	0.0	0	0.0
10歳以上	2	2.5	11	44.0
不明・無回答	5	6.3	1	4.0

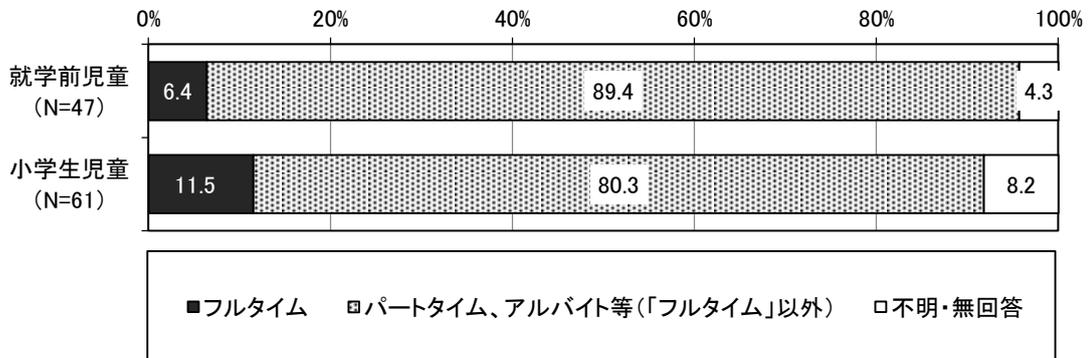
※【父親】就学前児童調査、小学生児童調査ともに、回答がありませんでした。

『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態についてみると、母親では「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が就学前児童で89.4%、小学生児童で80.3%と最も多くなっています。父親では、「フルタイム」が就学前児童で100.0%（1件）、小学生児童で71.4%（5件）と最も多くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに「5日」の割合が最も多くなっています。希望する1日当たりの就労時間をみると、母親では就学前児童「4～5時間」、小学生児童「5時間」の割合が最も多くなっています。

②希望する就労形態〈単数回答〉《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》

【母親】



【父親】

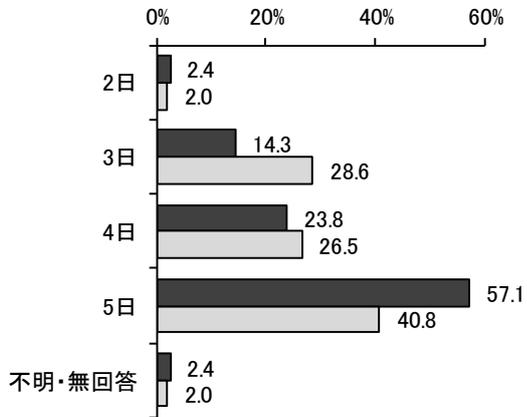
希望する就労形態	就学前児童 (N=1)		小学生児童 (N=7)	
	件数	%	件数	%
フルタイム	1	100.0	5	71.4
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	2	28.6

③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

■希望する1週当たりの就労日数

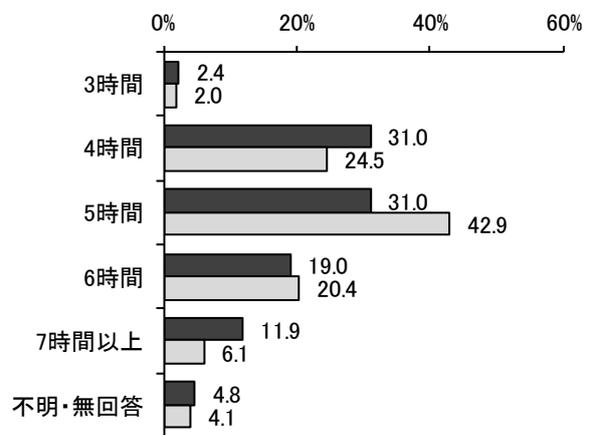
【母親】



■就学前児童(N=42) □小学生児童(N=49)

■希望する1日当たりの就労時間

【母親】



■就学前児童(N=42) □小学生児童(N=49)

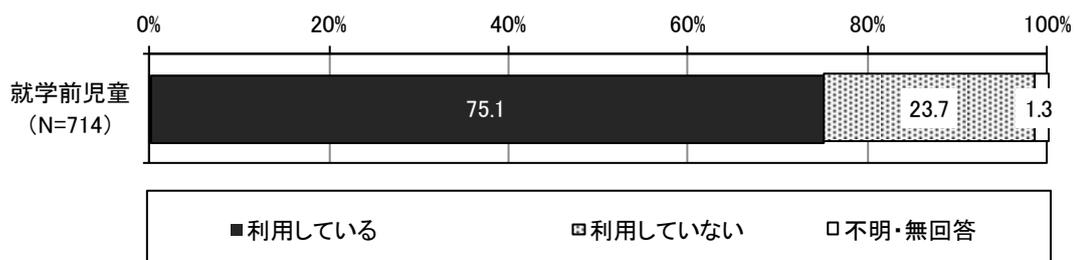
※【父親】就学前児童調査、小学生児童調査ともに、回答がありませんでした。

4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

（1）現在の幼稚園、保育所などの定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 14〕

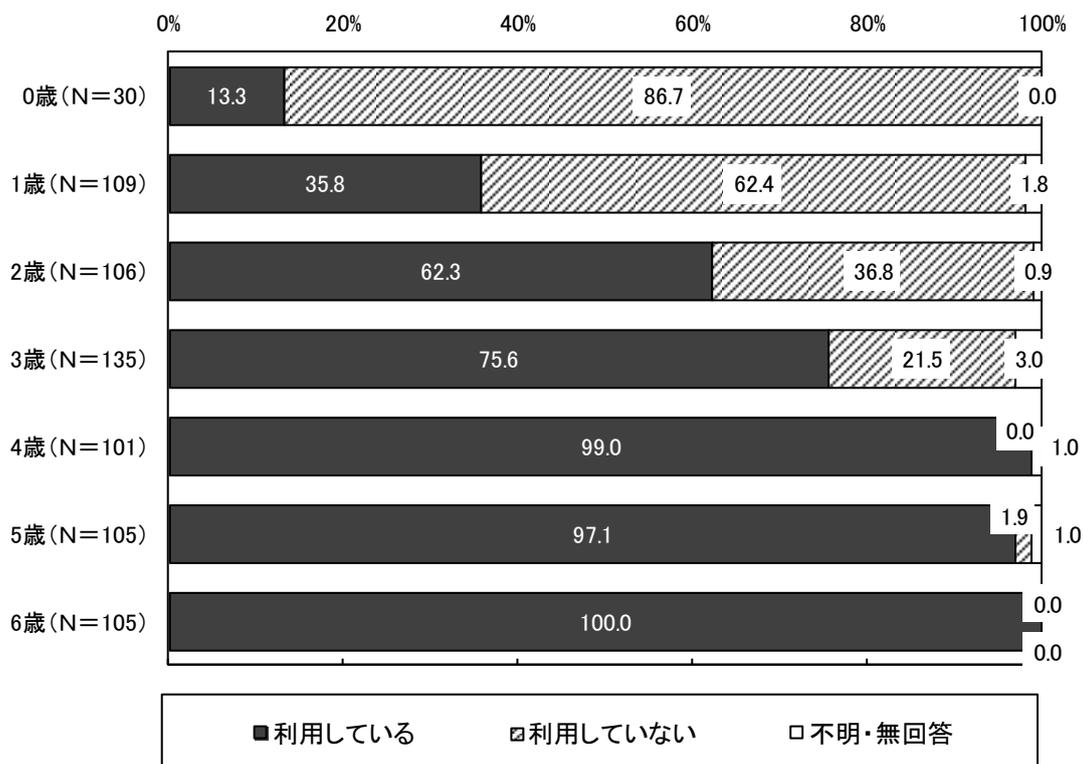
現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が75.1%、「利用していない」が23.7%となっています。



*ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指す。具体的には、幼稚園や保育所など、(1)－1に示す事業が含まれる。

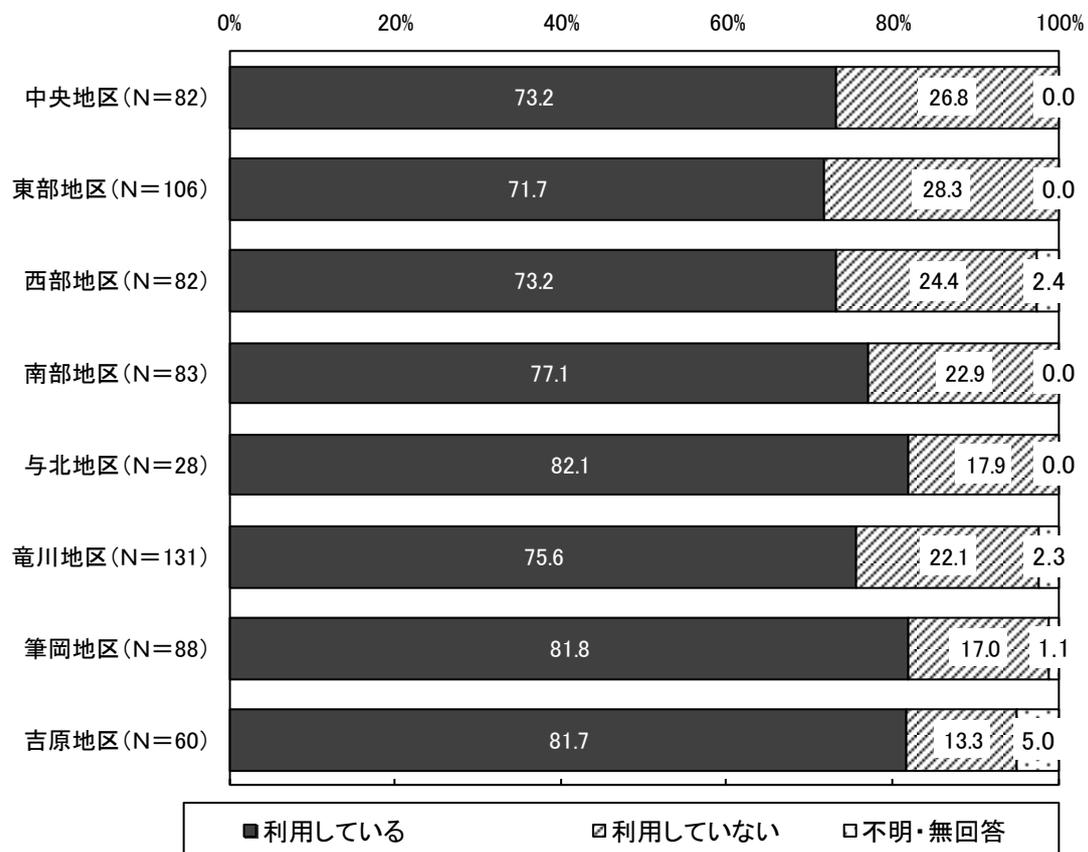
年齢別 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

年齢別にみると、「利用している」割合が、年齢が上がるにつれて多くなっています。



地区別 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

地区別にみると、「利用している」割合が、[与北地区][筆岡地区][吉原地区]で8割を超えています。

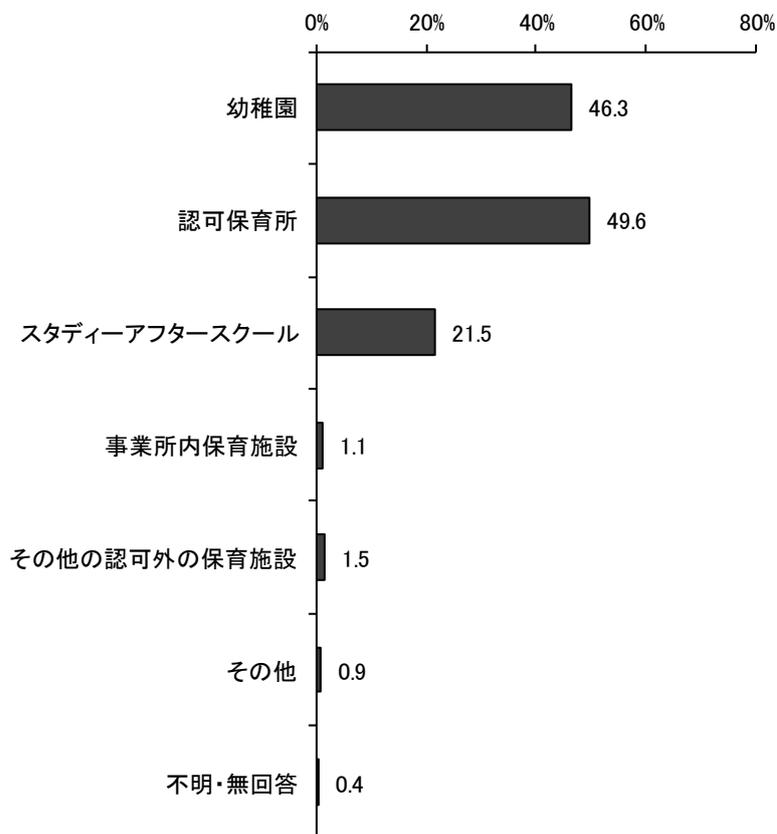


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－1 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 14－1〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が49.6%、「幼稚園」が46.3%、「スタディーアフタースクール」が21.5%となっています。

就学前児童(N=536)

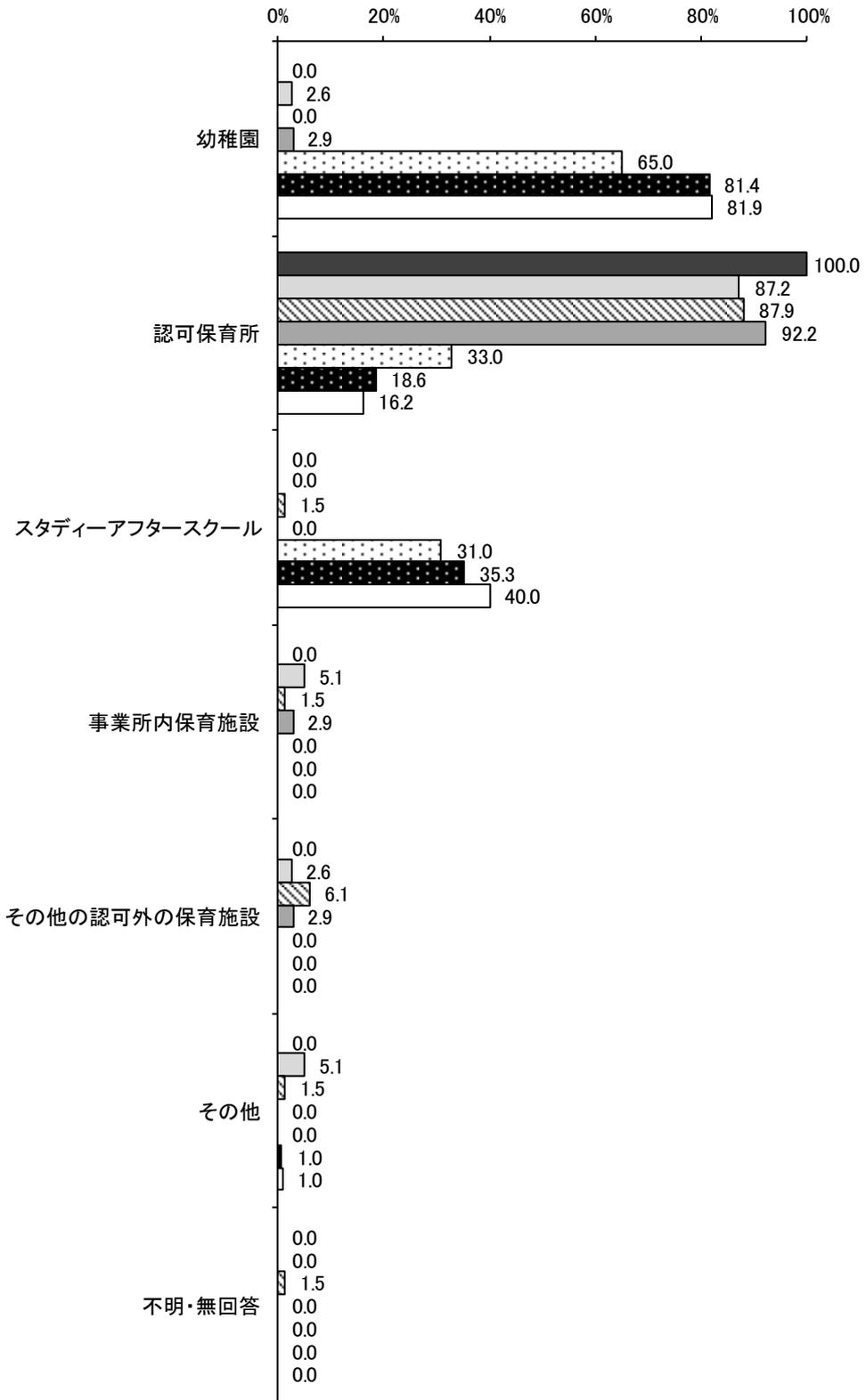


【その他回答】(抜粋)

- ・児童発達支援
- ・子夢の家・くすくす・リズムあそび
- ・託児所

年齢別 × 平日に利用している教育・保育事業

年齢別にみると、[0歳～3歳]では「認可保育所」への割合が6割を超えています。また、[4歳以上]では、「幼稚園」「スタディーアフタースクール」への割合が、3割以上で多くなっています。



■0歳(N=4) □1歳(N=39) □2歳(N=66) □3歳(N=102) □4歳(N=100) ■5歳(N=102) □6歳(N=105)

地域別 × 平日に利用している教育・保育事業

地域別に平日に利用している教育・保育事業をみると、[竜川地区][筆岡地区][吉原地区]では「幼稚園」の割合が、4割を超え、最も多くなっています。それ以外の地区では「認可保育所」の割合が5割を超えています。

上段：度数 下段：%	合計	幼稚園	認可保育所	スタ ー ス ケ ー ル ア フ	設 事 業 所 内 保 育 施 	の そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
合計	536 100.0	248 46.3	266 49.6	115 21.5	6 1.1	8 1.5	5 0.9	2 0.4
中央地区	60 100.0	29 48.3	30 50.0	13 21.7	- -	1 1.7	- -	- -
東部地区	76 100.0	32 42.1	39 51.3	10 13.2	2 2.6	1 1.3	2 2.6	- -
西部地区	60 100.0	28 46.7	32 53.3	9 15.0	- -	- -	2 3.3	- -
南部地区	64 100.0	25 39.1	37 57.8	14 21.9	1 1.6	- -	- -	- -
与北地区	23 100.0	9 39.1	14 60.9	4 17.4	- -	- -	- -	- -
竜川地区	99 100.0	49 49.5	46 46.5	27 27.3	- -	2 2.0	1 1.0	- -
筆岡地区	72 100.0	37 51.4	30 41.7	16 22.2	2 2.8	2 2.8	- -	- -
吉原地区	49 100.0	31 63.3	16 32.7	17 34.7	- -	2 4.1	- -	- -
不明・無回答	33 100.0	8 24.2	22 66.7	5 15.2	1 3.0	- -	- -	2 6.1

(1)で「利用している」を選んだ方

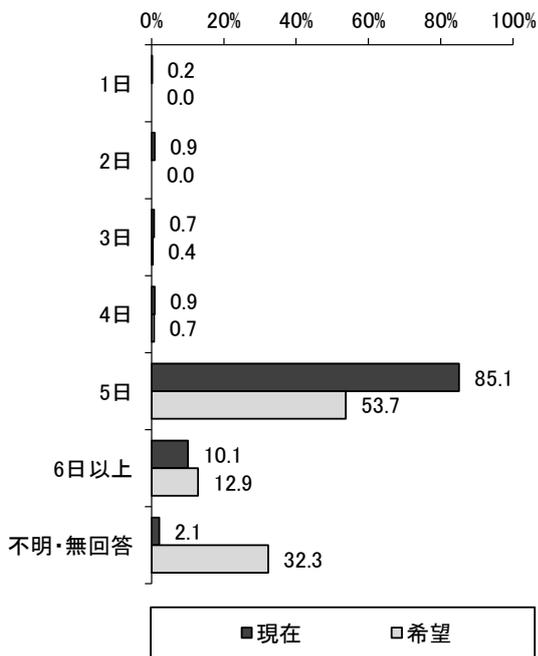
(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望

〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 14－2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週当たりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」が最も多く、それぞれ85.1%、53.7%となっています。また、1日当たりの利用時間では、現在、希望ともに「8時間」が最も多くなっています。

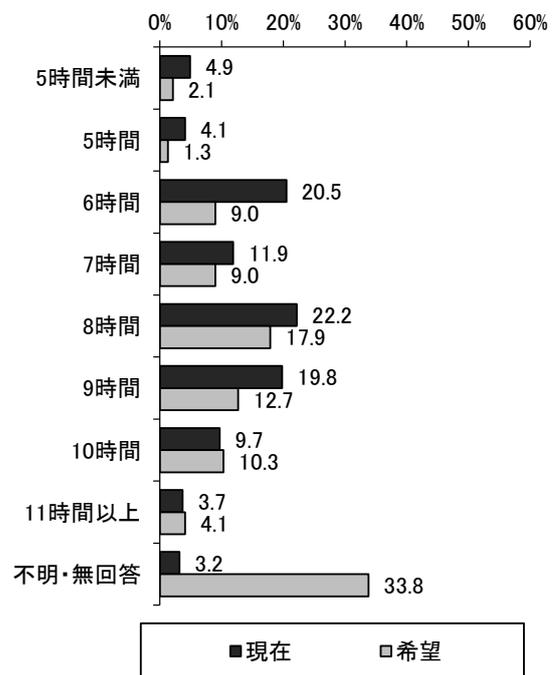
① 1週当たりの利用日数〈数量回答〉

就学前児童(N=536)



② 1日当たりの利用時間〈数量回答〉

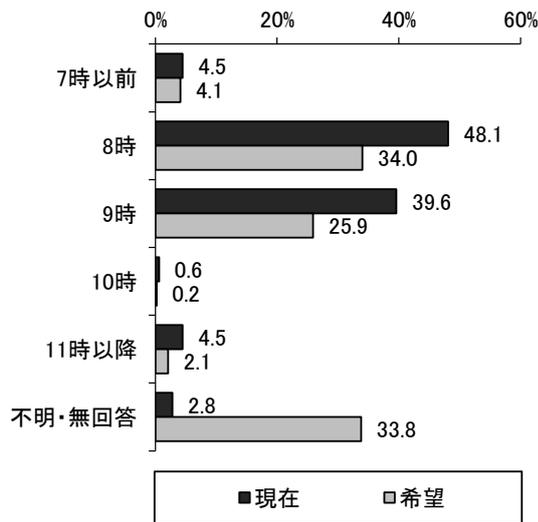
就学前児童(N=536)



利用開始時間では、現実、希望ともに「8時」が最も多く、それぞれ48.1%、34.0%となっています。また、終了時間では、現実・希望ともに「17時」が最も多くなっています。

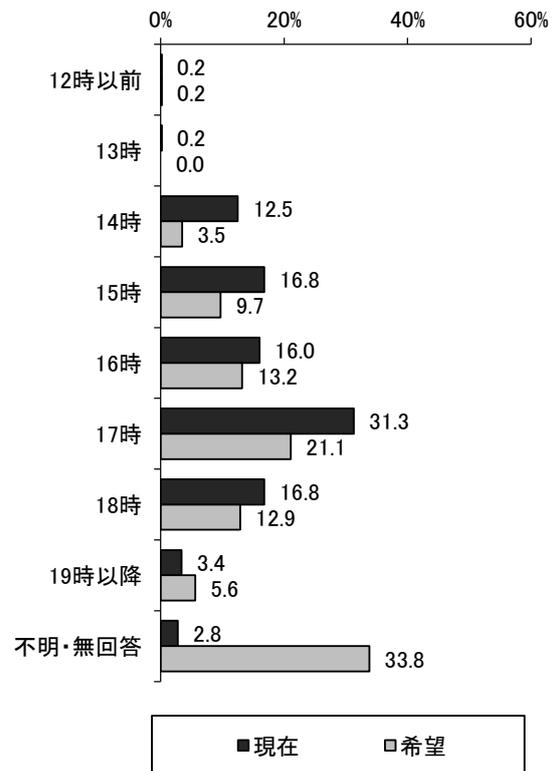
③利用開始時間〈数量回答〉

就学前児童(N=536)



④利用終了時間〈数量回答〉

就学前児童(N=536)

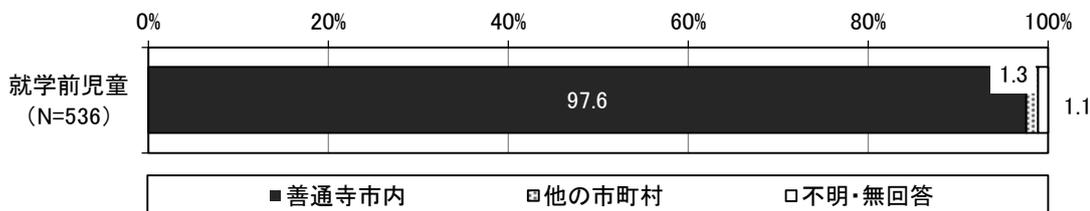


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－3 平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 14－3〕

平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「普通寺市内」が97.6%と大部分を占めています。

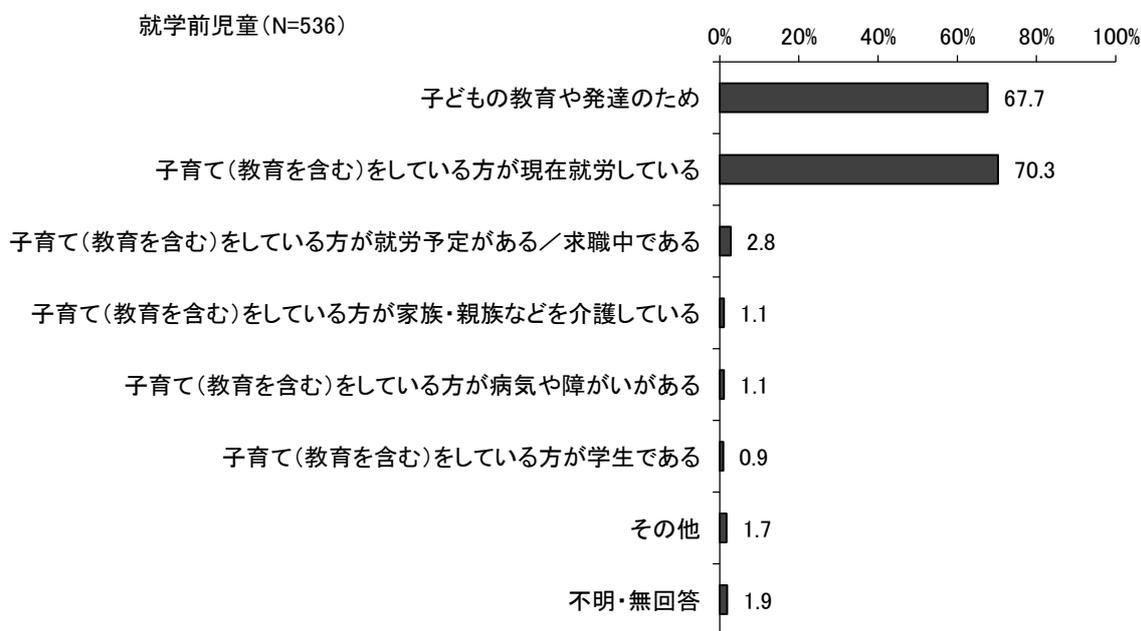


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－4 平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 14－4〕

平日、教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が70.3%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が67.7%となっています。



【その他回答】(抜粋)

- ・妊娠中
- ・下に子どもがいるため
- ・母自身の時間を確保する為

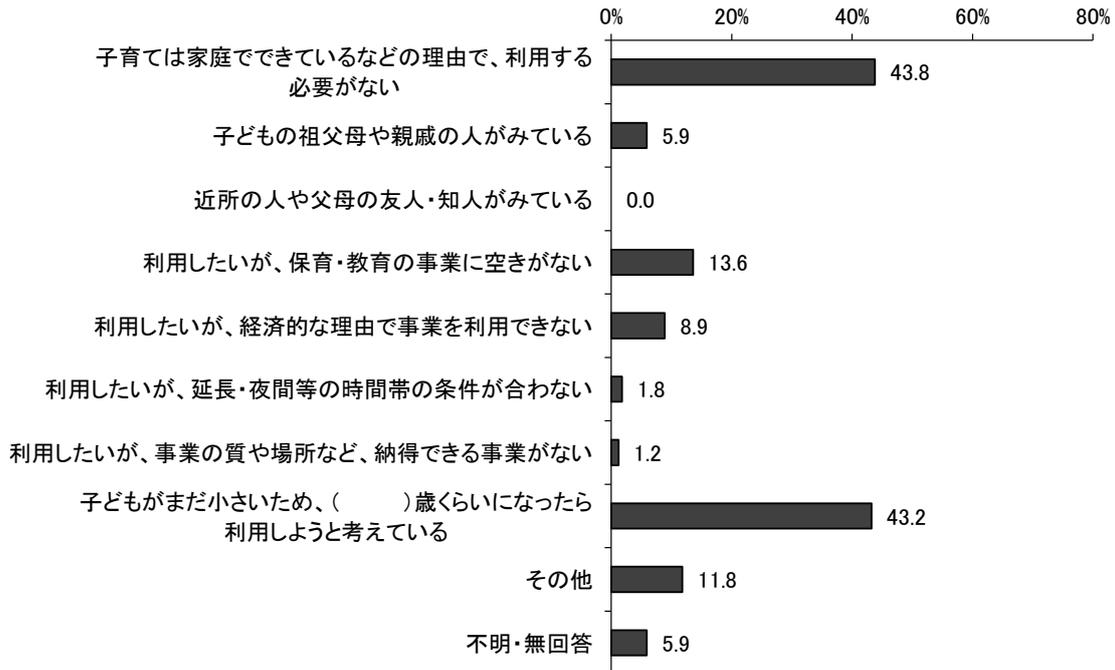
(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－5 利用していない主な理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問14－5〕

平日、教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「子育ては家庭でできているなどの理由で、利用する必要がない」が43.8%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため、()歳くらいになったら利用しようと考えている」が43.2%となっています。

また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「3歳」が52.1%と最も多くなっています。

就学前児童(N=169)



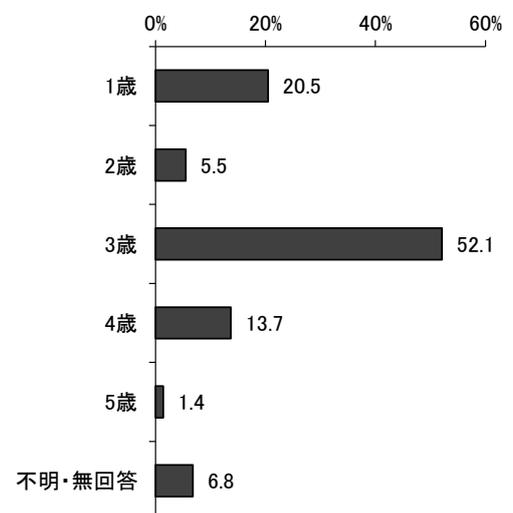
【その他回答】(抜粋)

- ・妊娠中、育休中
- ・来年から入園、入所
- ・3歳までは一緒にいてやりたい

◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

《「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」を選んだ方》

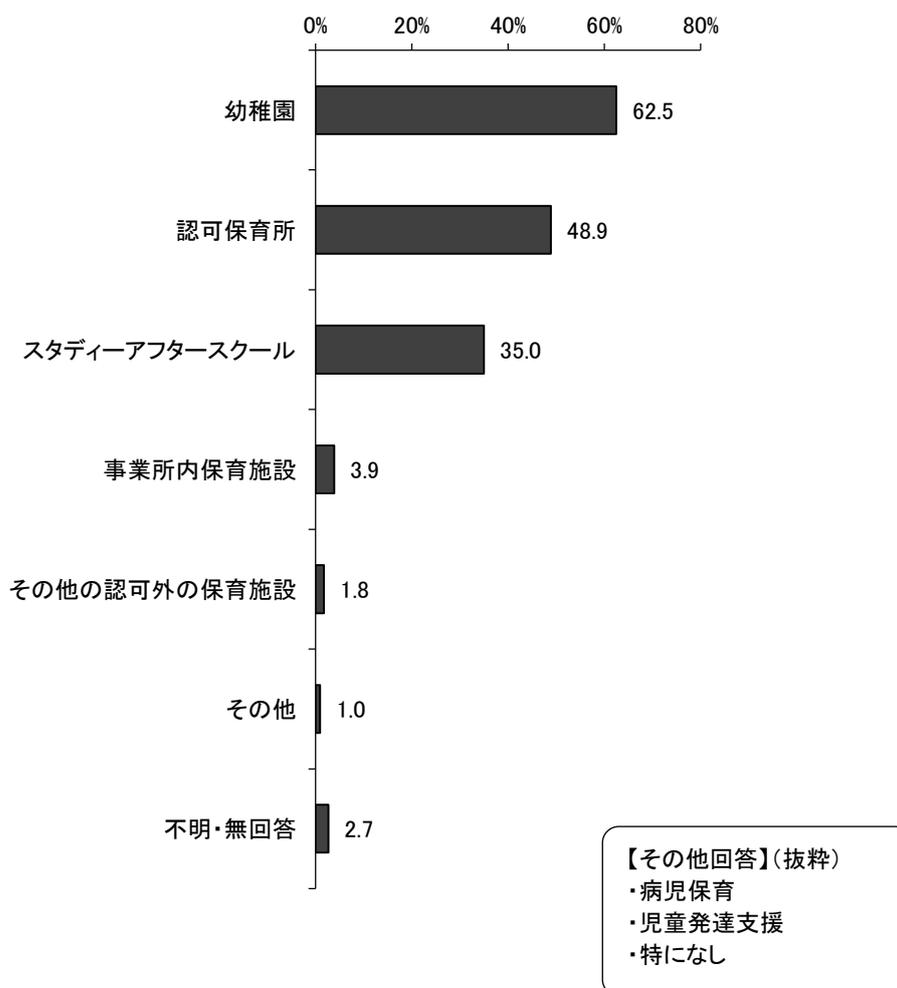
就学前児童(N=73)



**(2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」
利用したいと考える事業〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 15〕

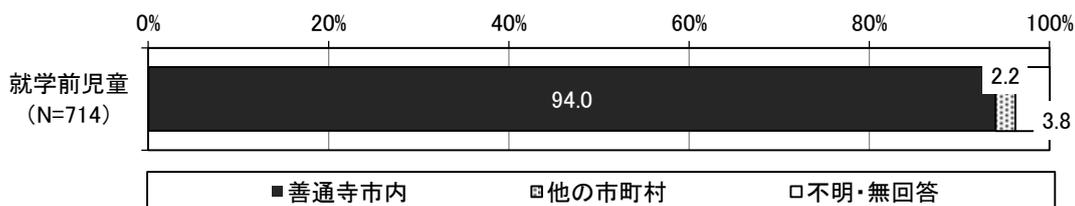
今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業についてみると、「幼稚園」が62.5%で最も多く、次いで「認可保育所」が48.9%、「スタディーアフタースクール」が35.0%となっています。

就学前児童 (N=714)



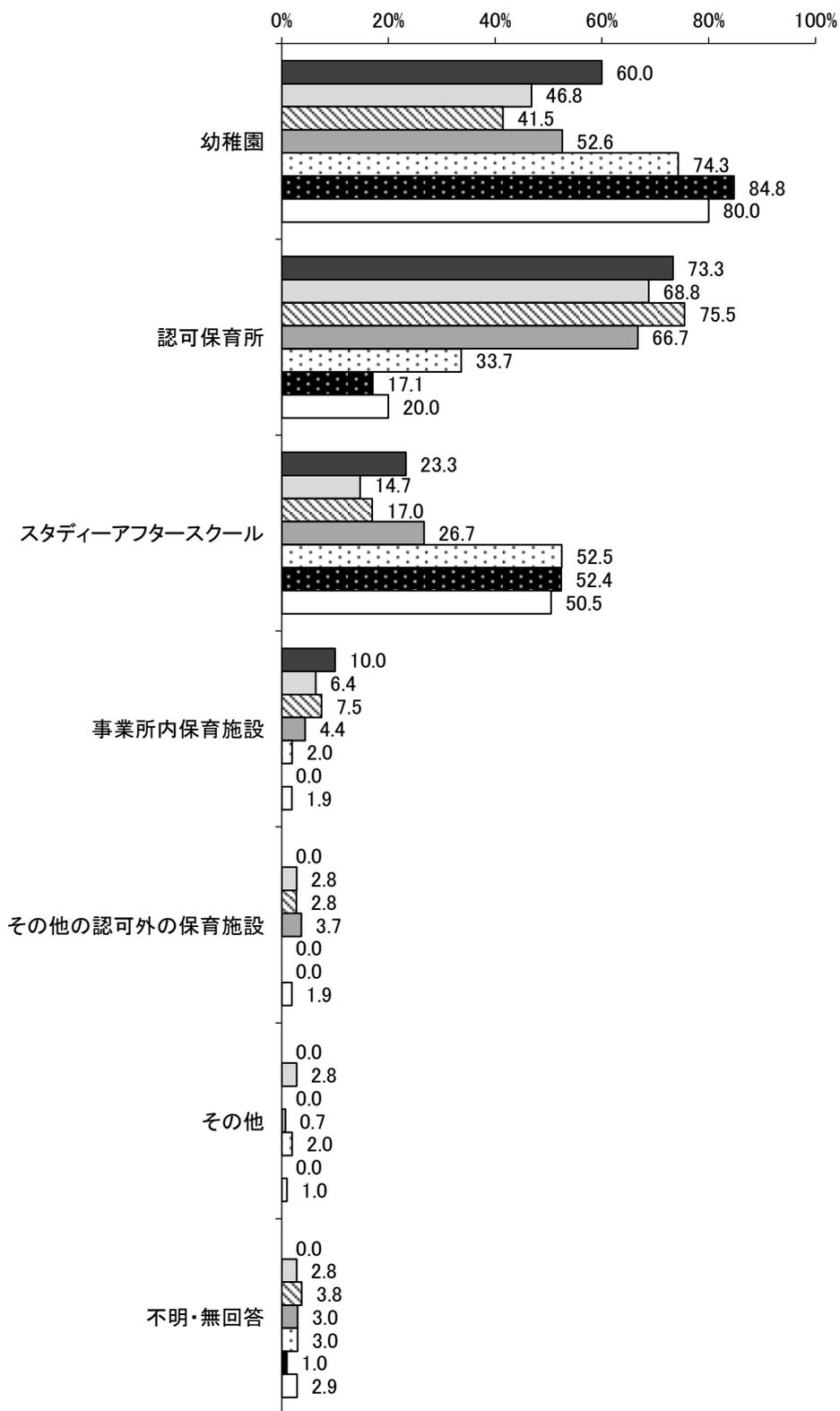
(2) - 1 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 15-1〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「普通寺市内」が94.0%と大部分を占めています。



利用している年齢別×今後、定期的にご利用したい教育・保育事業

利用している年齢別に、今後、定期的にご利用したい教育・保育事業をみると、[0歳～3歳]では、「認可保育所」、[4歳以上]では、「幼稚園」「スタディーアフタースクール」を利用したいと回答している割合が多くなっています。



■0歳 (N=30) □1歳 (N=109) ▨2歳 (N=106) ▩3歳 (N=135) □4歳 (N=101) ■5歳 (N=105) □6歳 (N=105)

利用している事業別×今後、定期的に利用したい教育・保育事業

利用している事業別に、今後、定期的に利用したい教育・保育事業をみると、現在利用しているものを今後も希望する傾向がありますが、現在、[事業所内保育施設]や[その他の認可外の保育施設]等を利用している方は、「認可保育所」を選んでいる割合が多くなっています。

上段：度数 下段：%	合計	幼稚園	認可保育所	スタ スク フ ター タ ー デ ィ 	保 事 業 所 内 設	保 認 そ の 施 外 他 の の	そ の 他	無 不 回 明 答 ・
合計	536 100.0	319 59.5	267 49.8	217 40.5	16 3.0	9 1.7	6 1.1	12 2.2
幼稚園	248 100.0	237 95.6	16 6.5	142 57.3	3 1.2	1 0.4	2 0.8	4 1.6
認可保育所	266 100.0	73 27.4	240 90.2	64 24.1	8 3.0	3 1.1	3 1.1	7 2.6
スタディーアフター スクール	115 100.0	105 91.3	12 10.4	108 93.9	2 1.7	-	1 0.9	3 2.6
事業所内保育施設	6 100.0	3 50.0	4 66.7	2 33.3	4 66.7	1 16.7	1 16.7	-
その他の認可外の保 育施設	8 100.0	4 50.0	6 75.0	3 37.5	1 12.5	5 62.5	-	-
その他	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	-	-	2 40.0	1 20.0
不明・無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-

地域別 × 今後、定期的に利用したい教育・保育事業

地域別に今後、定期的に利用したい教育・保育事業をみると、[南部地区]でのみ「認可保育所」が、最も多く、それ以外の地区では「幼稚園」の割合が最も多くなっています。

上段：度数 下段：%	合計	幼稚園	認可保育所	スタ スク フ ター タ ー デ ィ 	保 事 業 所 内 設	保 認 そ の 施 外 他 の の	そ の 他	無 不 回 明 答 ・
合計	714 100.0	446 62.5	349 48.9	250 35.0	28 3.9	13 1.8	7 1.0	19 2.7
中央地区	82 100.0	56 68.3	39 47.6	36 43.9	1 1.2	-	-	3 3.7
東部地区	106 100.0	65 61.3	48 45.3	27 25.5	6 5.7	3 2.8	1 0.9	2 1.9
西部地区	82 100.0	63 76.8	37 45.1	29 35.4	1 1.2	-	1 1.2	1 1.2
南部地区	83 100.0	42 50.6	44 53.0	31 37.3	2 2.4	3 3.6	1 1.2	5 6.0
与北地区	28 100.0	15 53.6	13 46.4	6 21.4	-	-	1 3.6	2 7.1
竜川地区	131 100.0	87 66.4	70 53.4	49 37.4	11 8.4	1 0.8	1 0.8	2 1.5
筆岡地区	88 100.0	58 65.9	40 45.5	31 35.2	3 3.4	3 3.4	-	-
吉原地区	60 100.0	37 61.7	21 35.0	28 46.7	3 5.0	1 1.7	1 1.7	4 6.7
不明・無回答	54 100.0	23 42.6	37 68.5	13 24.1	1 1.9	2 3.7	1 1.9	-

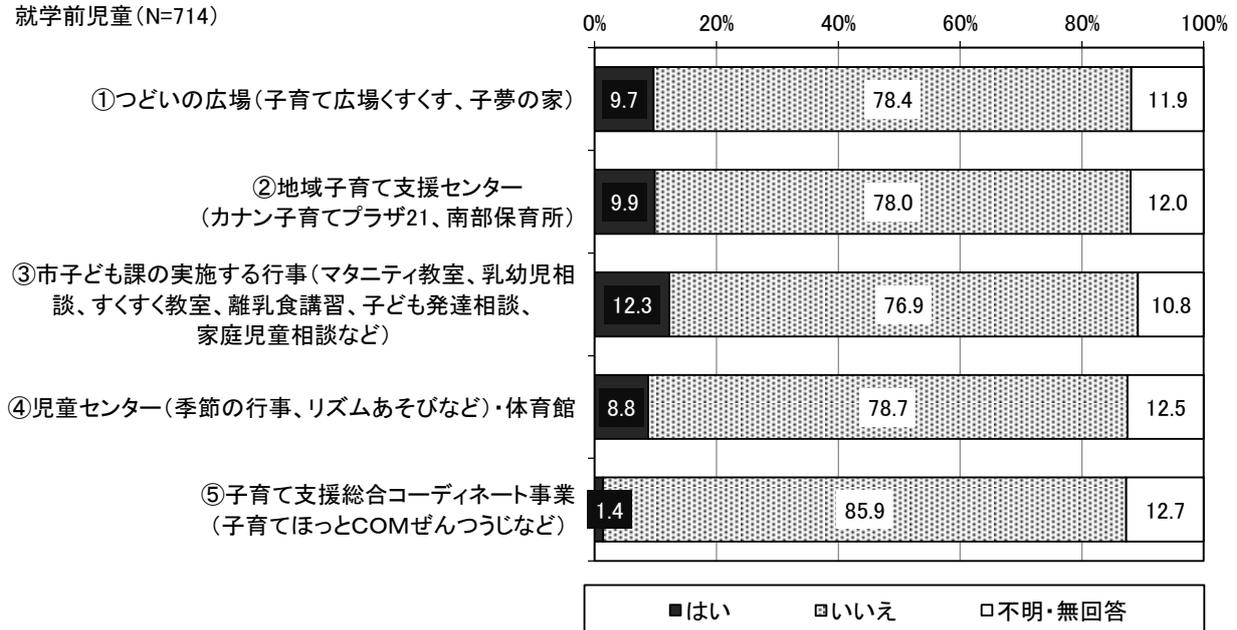
5 地域の子育て支援事業等の利用状況について（就学前児童）

（1）現在の地域子育て支援拠点事業等の利用状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問16〕

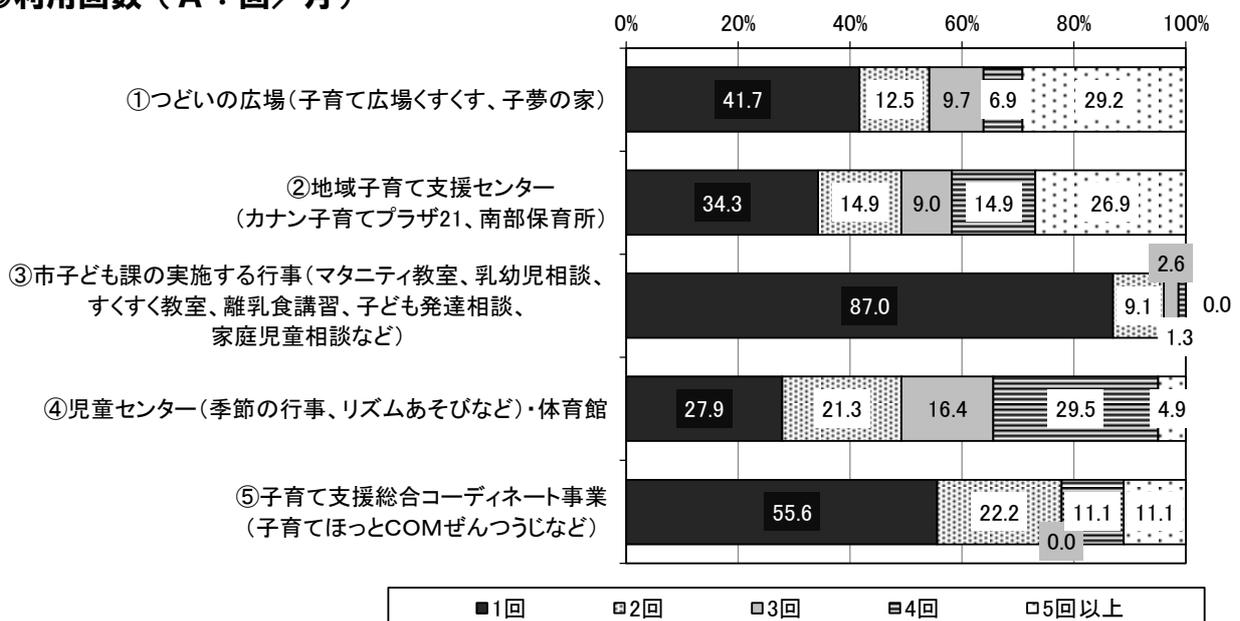
地域子育て支援拠点事業等の利用状況についてみると、『③市子ども課の実施する行事（マタニティ教室、乳幼児相談、すくすく教室、離乳食講習、子ども発達相談、家庭児童相談など）』では「はい（利用している）」が12.3%（月当たりの回数は1回が多い）と、1割を超えています。それ以外の事業では「いいえ（利用していない）」が7割を超えています。

◎利用状況（A：現在利用している）

就学前児童(N=714)



◎利用回数（A：回/月）



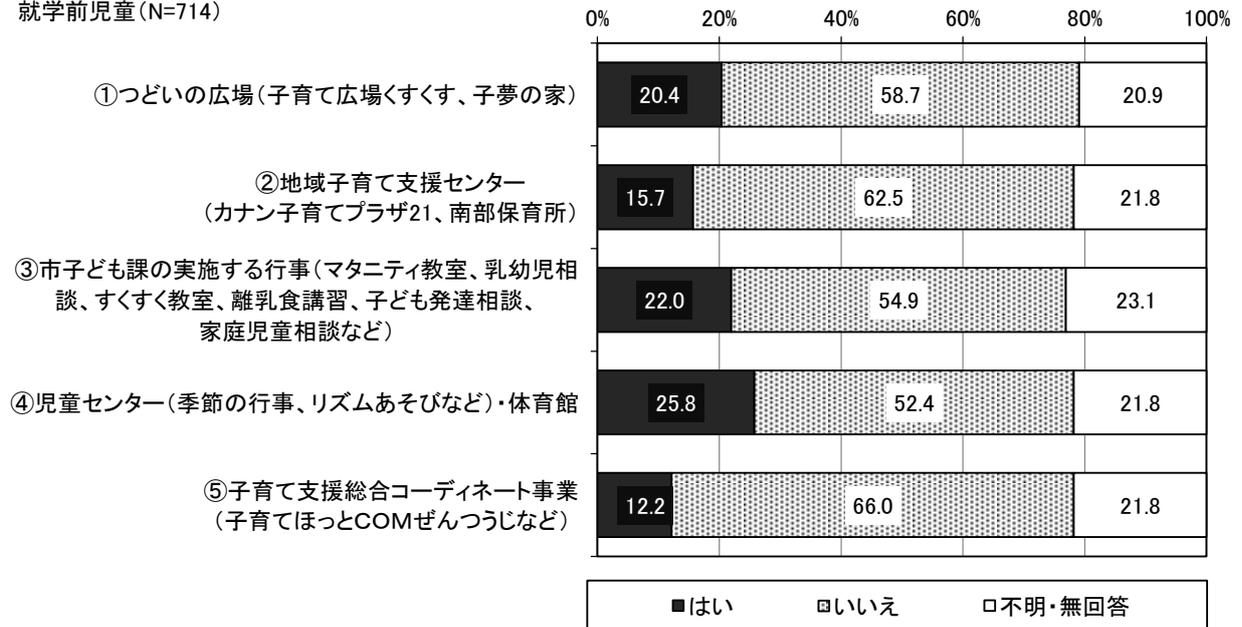
*不明・無回答を除く

地域子育て支援拠点事業等の今後の利用意向についてみると、『④児童センター（季節の行事、リズムあそびなど）・体育館』『③市子ども課の実施する行事（マタニティ教室、乳幼児相談、すくすく教室、離乳食講習、子ども発達相談、家庭児童相談など）』『①つどいの広場（子育て広場くすくす、子夢の家）』では「はい（今後利用したい・利用回数を増やしたい）」が2割を超えています。

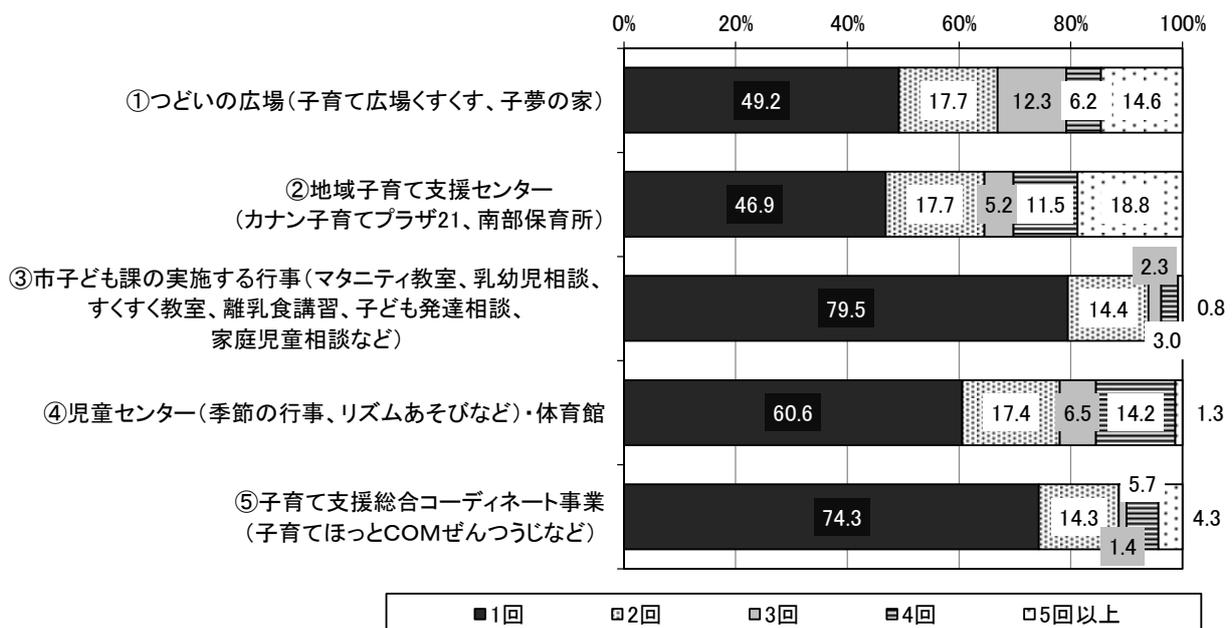
月当たりの希望回数については、すべての事業で「1回」への回答が多くなっています。

◎今後の利用意向（B：今後利用したい・利用を増やしたい）

就学前児童(N=714)



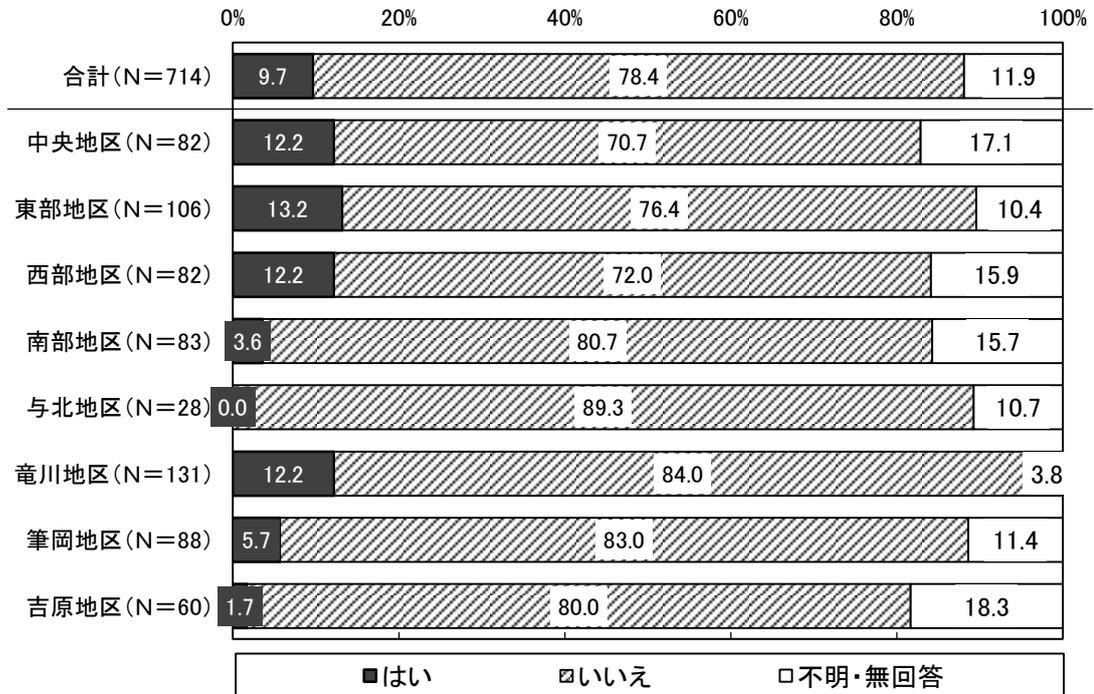
◎希望回数（B：回/月）



* 不明・無回答を除く

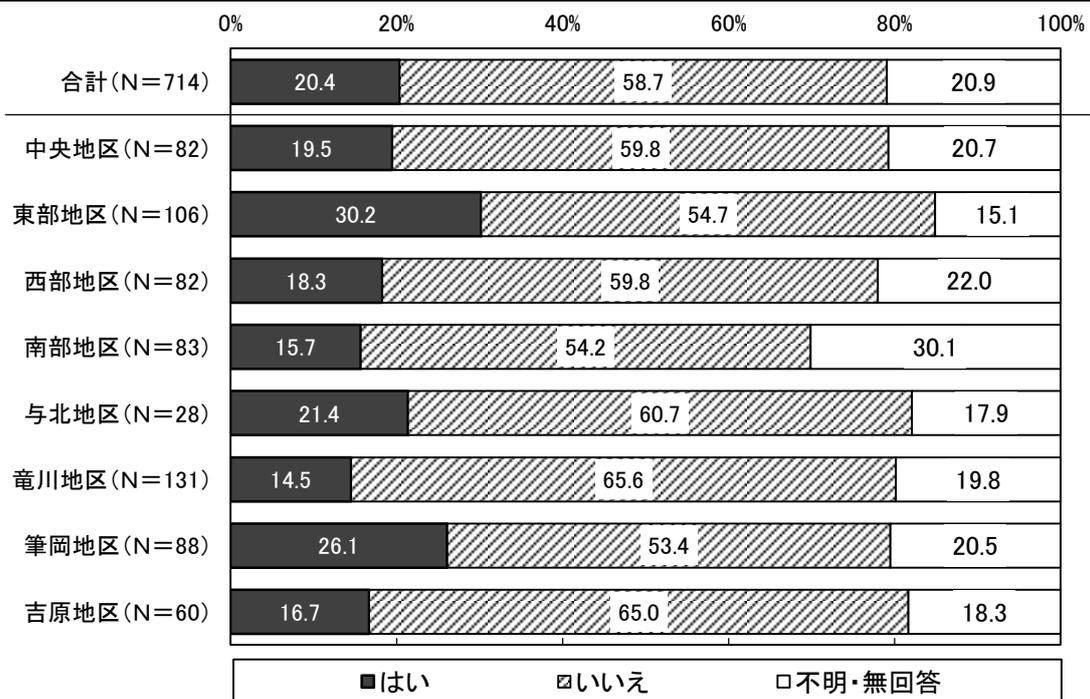
地域別 × 現在のつどいの広場の利用状況

地域別に現在のつどいの広場の利用状況を見ると、[中央地区][東部地区][西部地区][竜川地区]では「はい（利用している）」の割合が1割を超えています。



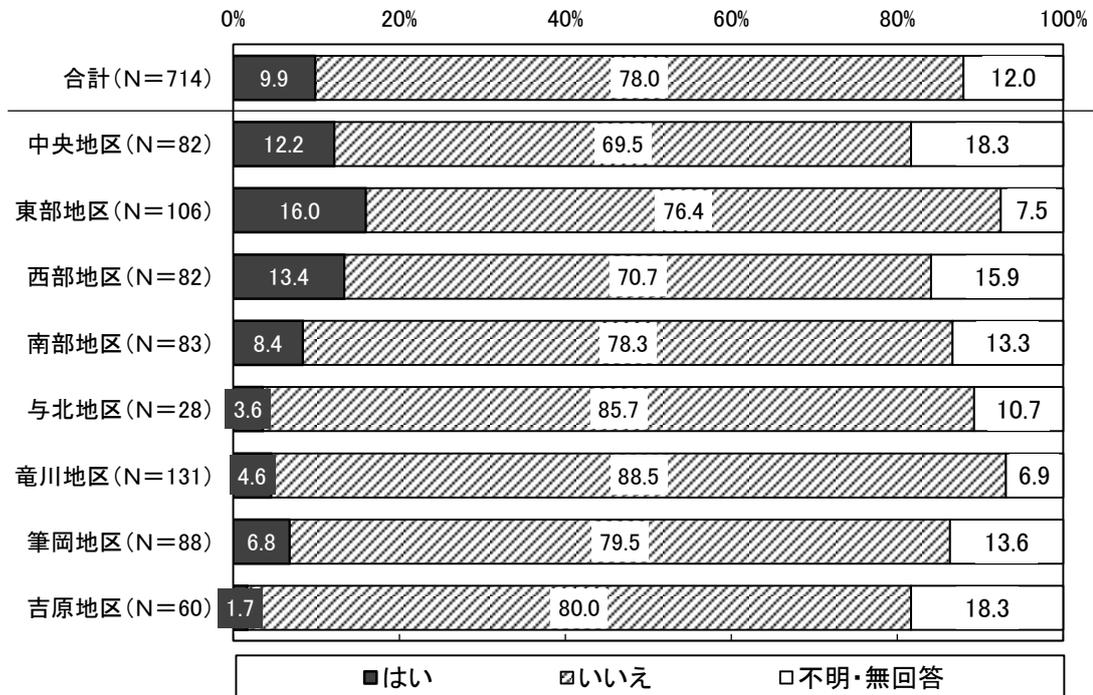
地域別 × 今後のつどいの広場の利用意向

地域別に今後のつどいの広場の利用意向を見ると、[東部地区][与北地区][筆岡地区]では「はい（今後利用したい・利用回数を増やしたい）」の割合が2割を超えています。



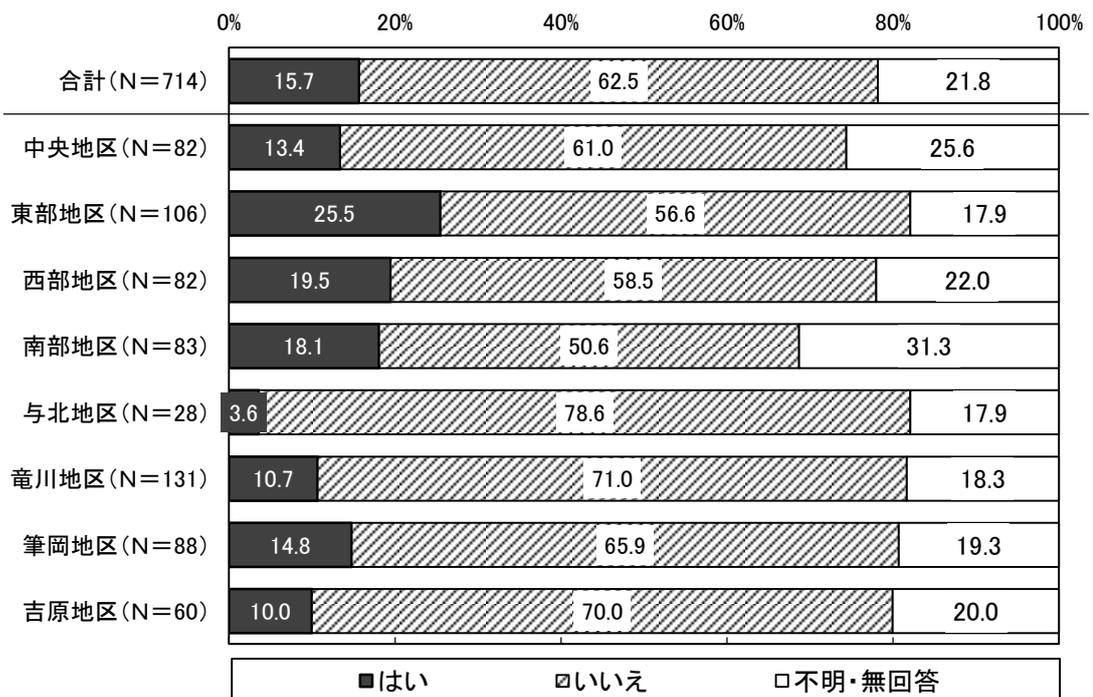
地域別 × 現在の地域子育て支援センターの利用状況

地域別に現在の地域子育て支援センターの利用状況を見ると、[中央地区][東部地区][西部地区]では「はい（利用している）」の割合が1割を超えています。



地域別 × 今後の地域子育て支援センターの利用意向

地域別に今後の地域子育て支援センターの利用意向を見ると、[東部地区]では「はい（今後利用したい・利用回数を増やしたい）」の割合が2割を超えています。



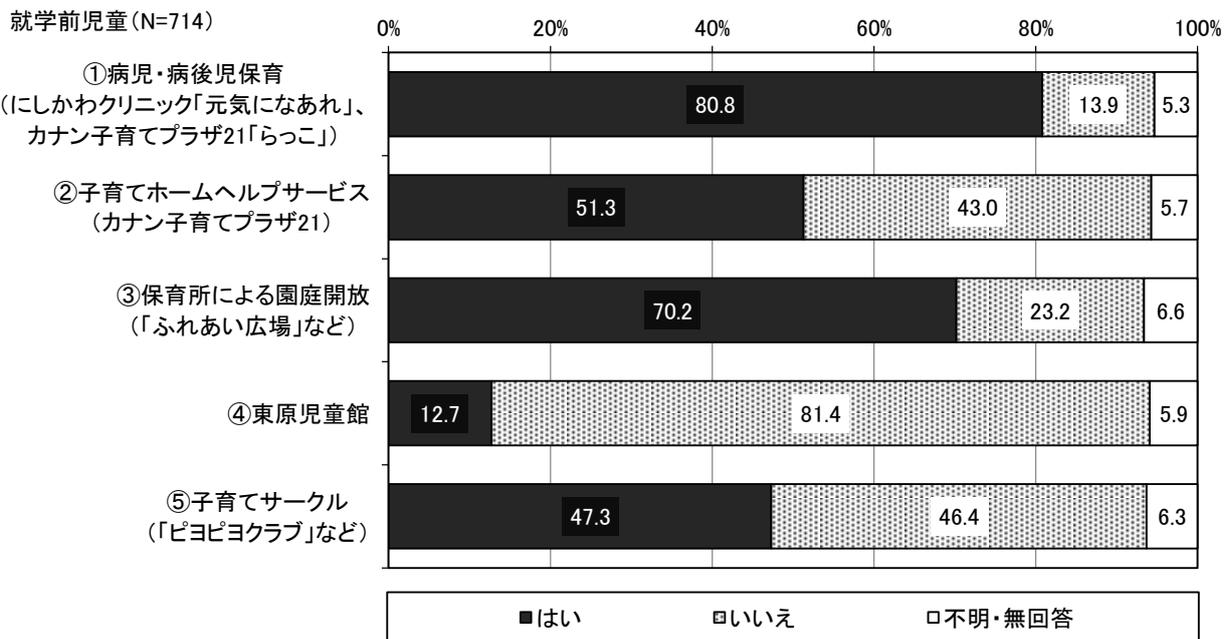
(2) その他の事業の認知状況、利用状況、今後の利用意向〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 17〕

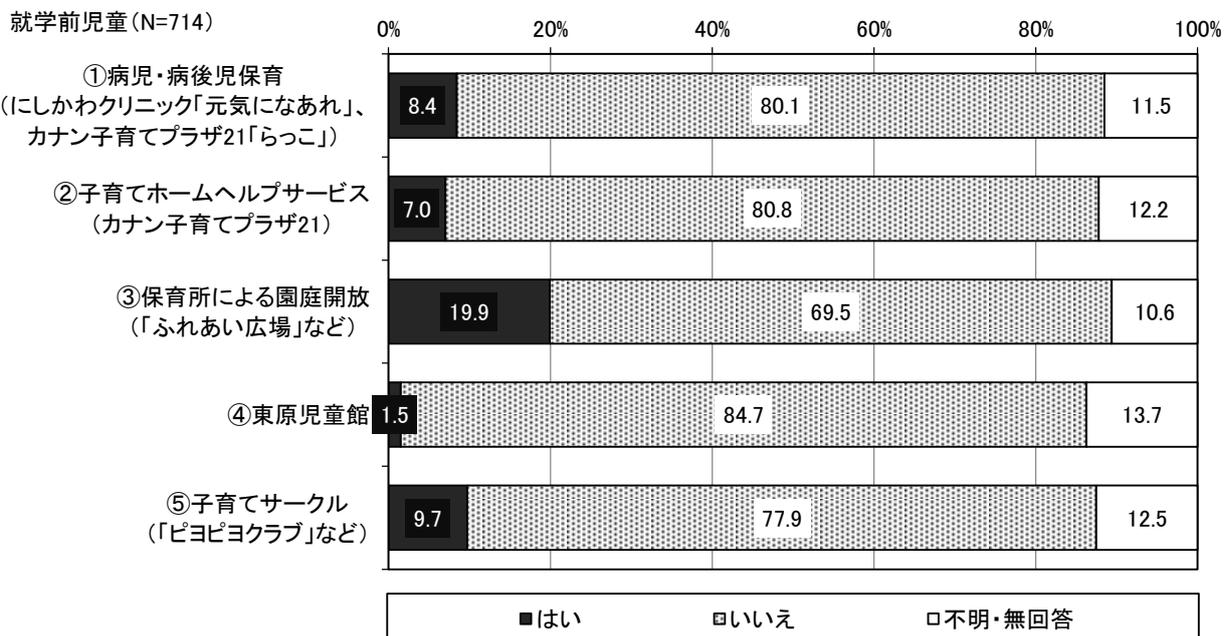
各子育て支援事業の認知状況についてみると、『①病児・病後児保育（にしかわクリニック「元気になあれ」、カナン子育てプラザ21「らっこ」）』『③保育所による園庭開放（「ふれあい広場」など）』では、「はい（知っている）」が7割を超えています。

また、利用状況についてみると、『③保育所による園庭開放（「ふれあい広場」など）』では「はい（これまで（過去1年間）に利用したことがある）」が約2割と、最も多くなっています。

◎認知状況（A：知っている）



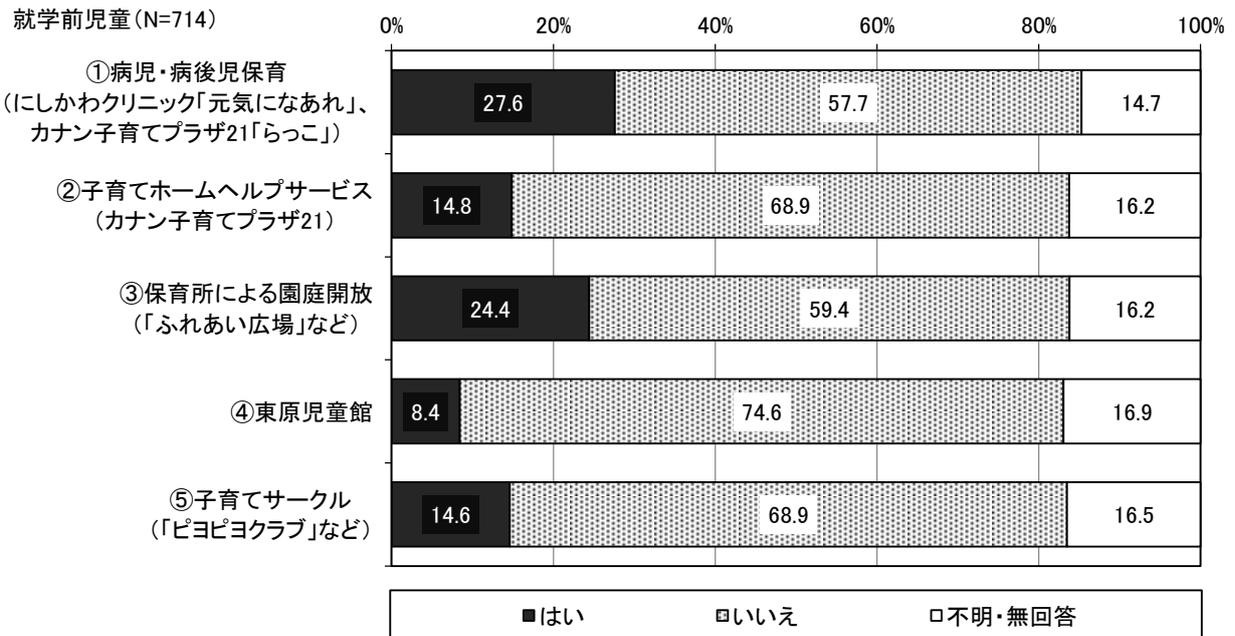
◎利用状況（B：これまで（過去1年間）に利用したことがある）



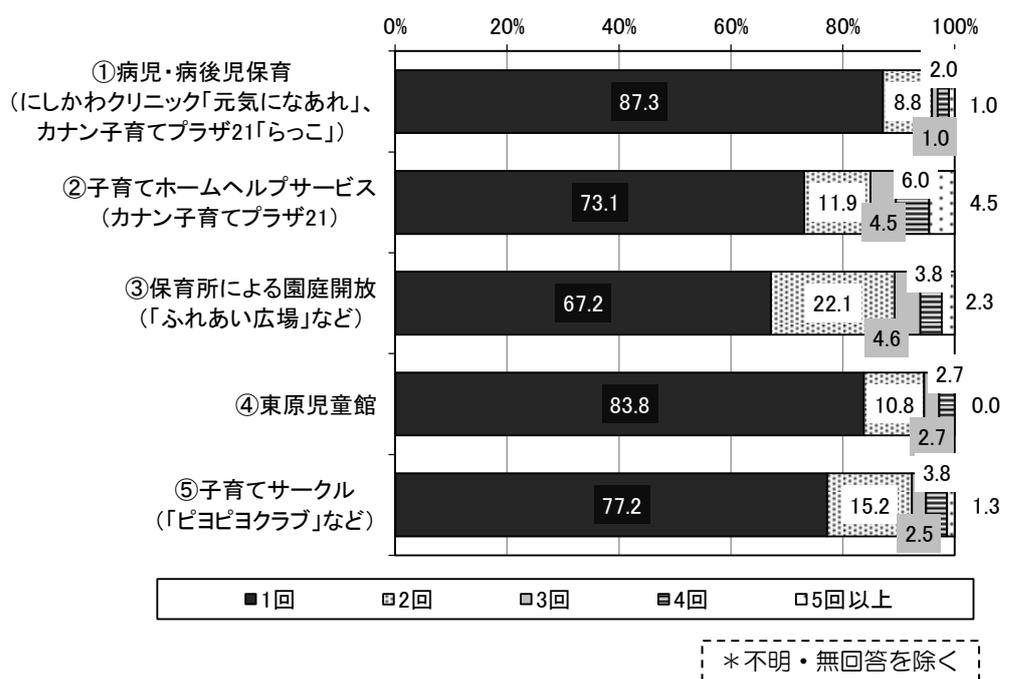
各子育て支援事業の今後の利用意向についてみると、『①病児・病後児保育（にしかわクリニック「元気になあれ」、カナン子育てプラザ21「らっこ」』『③保育所による園庭開放（「ふれあい広場」など）』では、「はい（今後利用したい）」が2割を超えています。

また、月当たりの希望回数については、すべての事業で「1回」への回答が多くなっています。

◎利用意向（C：今後利用したい）



◎希望回数（C：回／月）



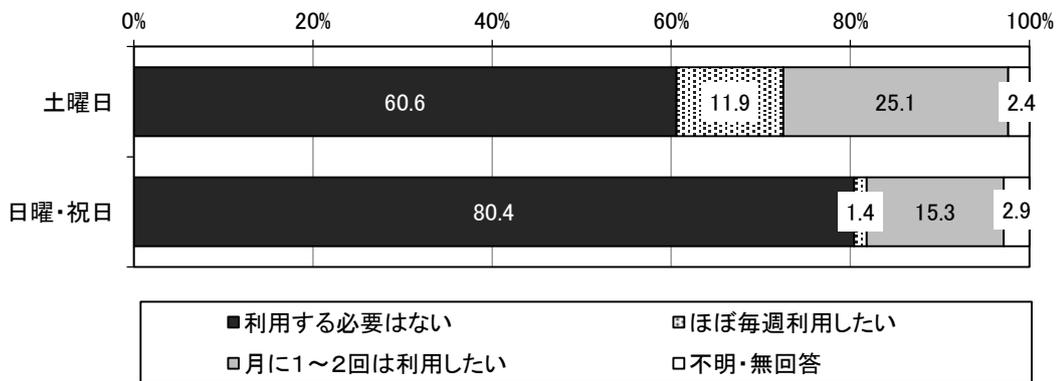
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

（1）土曜日と日曜・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問18〕

土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日では「月に1～2回は利用したい」が25.1%、日曜・祝日では15.3%となっています。

一方、土曜日、日曜・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ60.6%、80.4%と多くなっています。

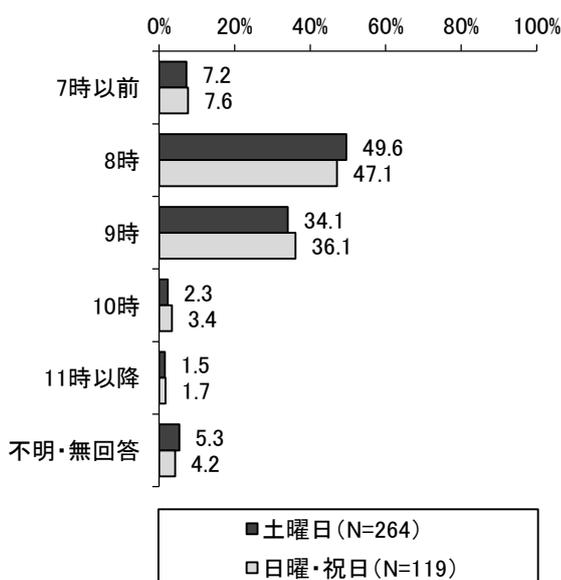
就学前児童(N=714)



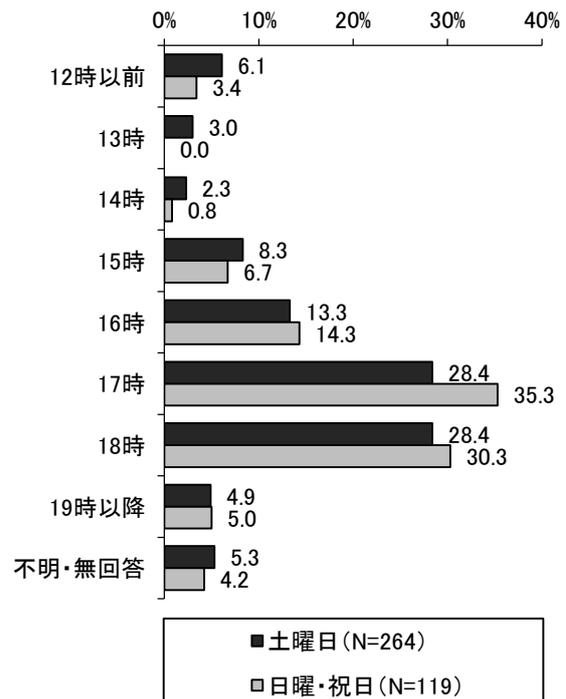
◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

【開始時間】

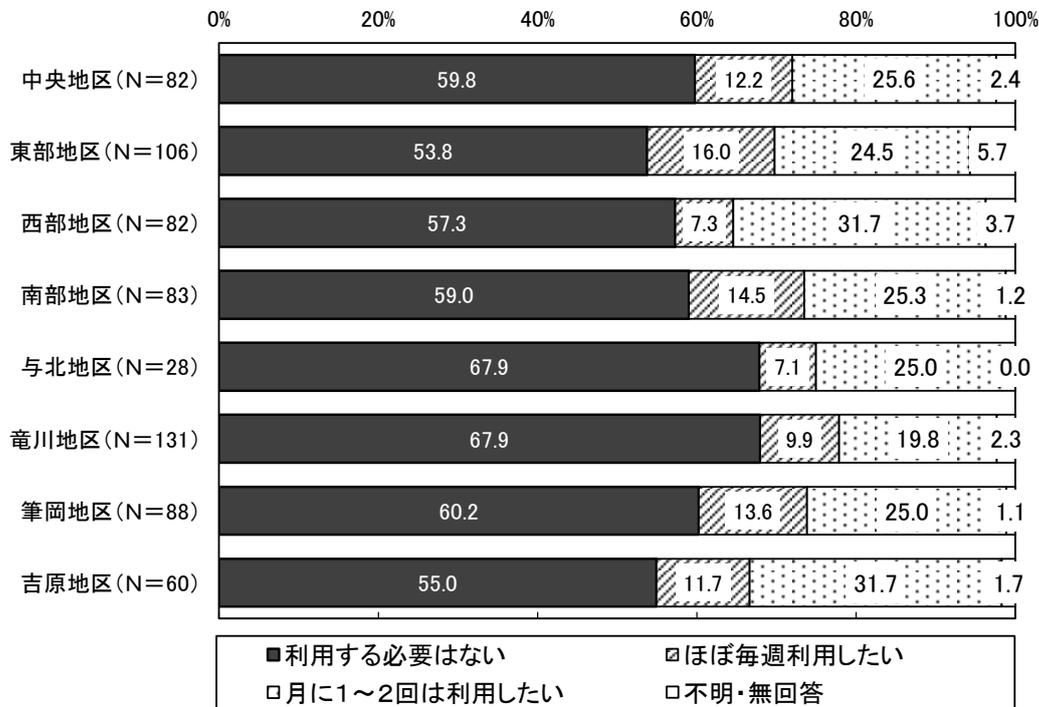


【終了時間】



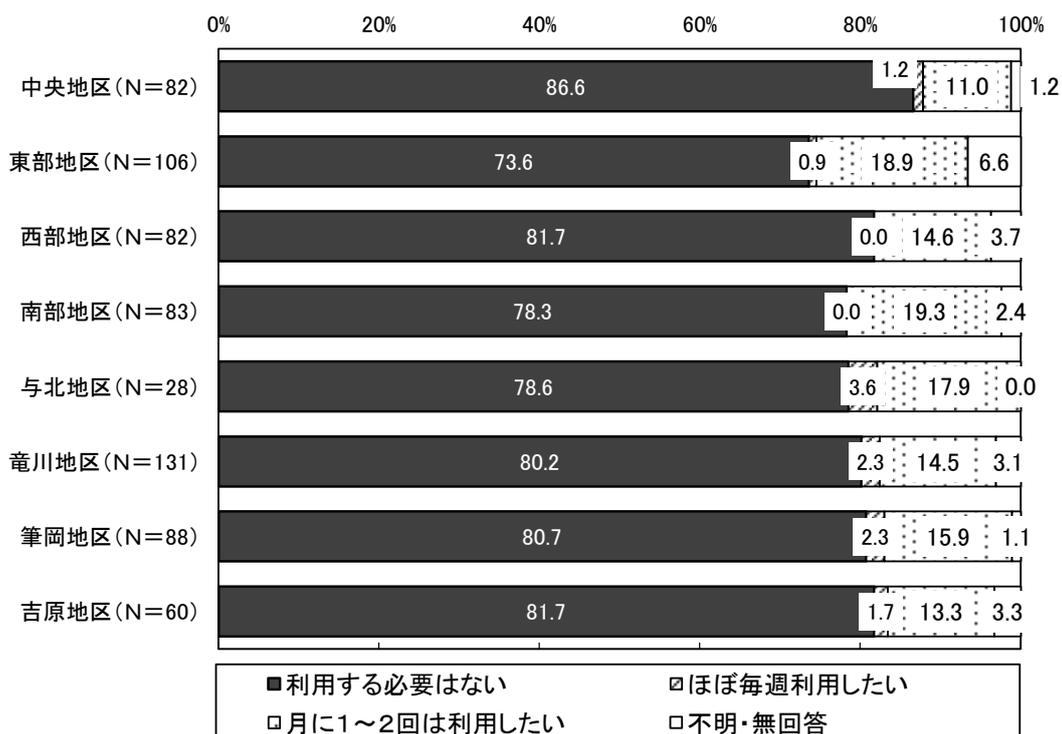
地域別 × 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

地域別に土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、[東部地区]では「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」の合計が4割を超えています。



地域別 × 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

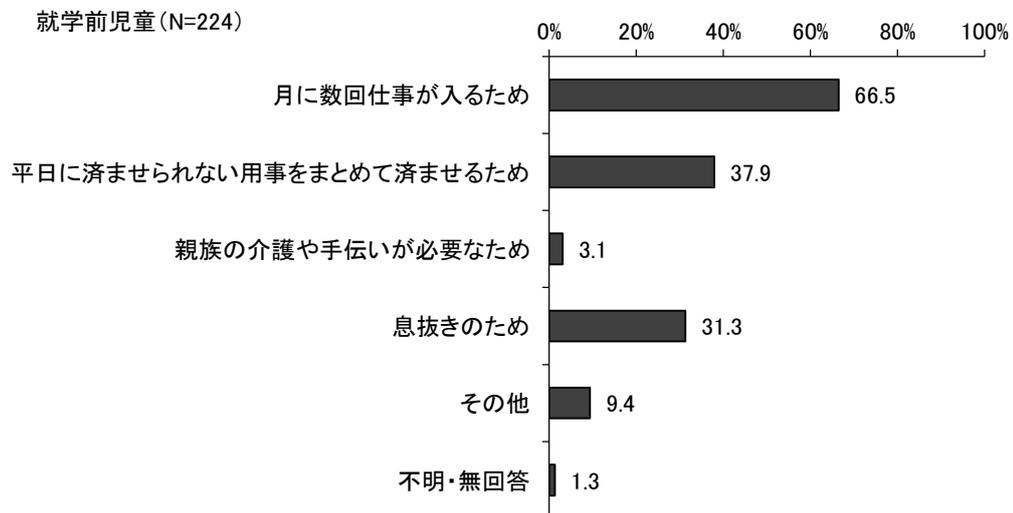
地域別に日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、[与北地区]では「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」の合計が約2割となっています。



(1)で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

(1)－1 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 18－1〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が66.5%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が37.9%となっています。



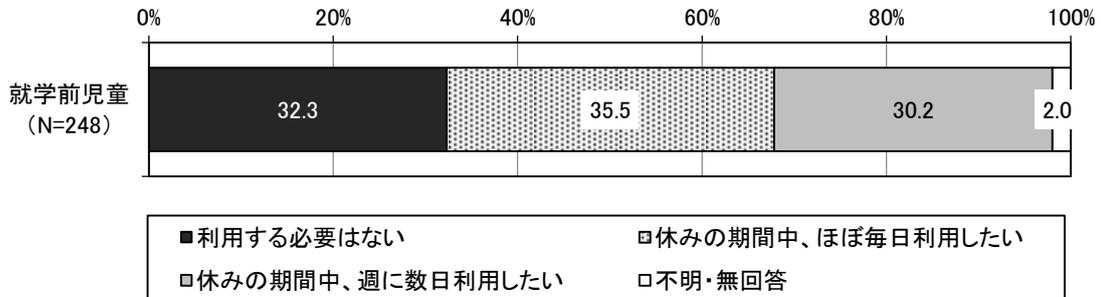
【その他回答】(抜粋)
・資格取得のための通学
・親族に頼めない時があるため
・通院

「幼稚園」を利用されている方

(2) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 19〕

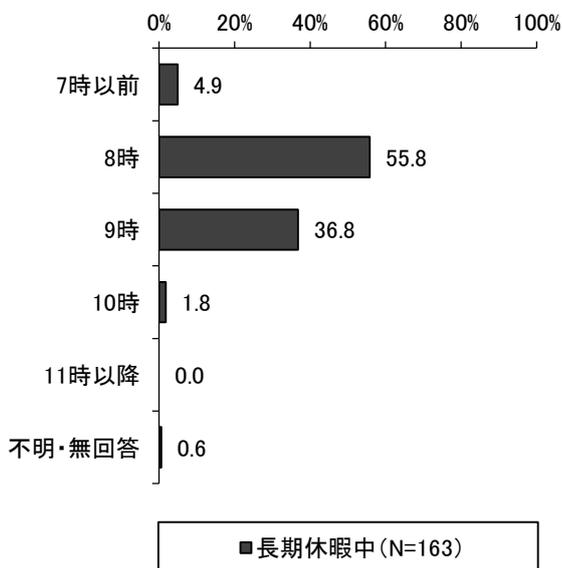
夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 35.5%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 32.3%となっています。



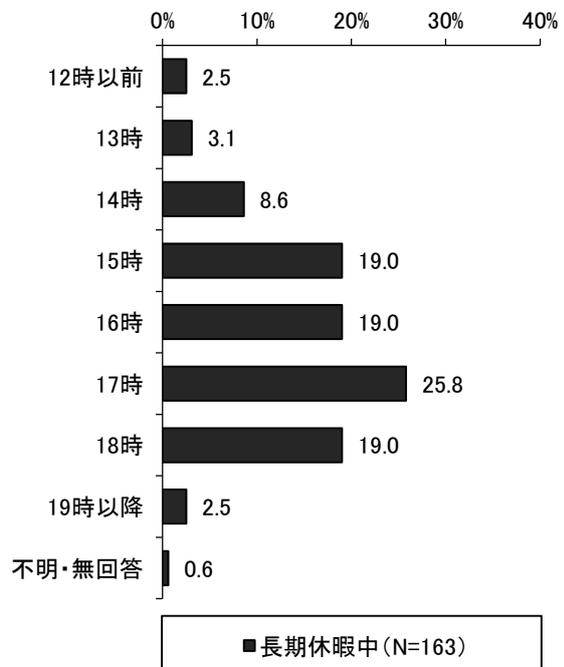
◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

【開始時間】

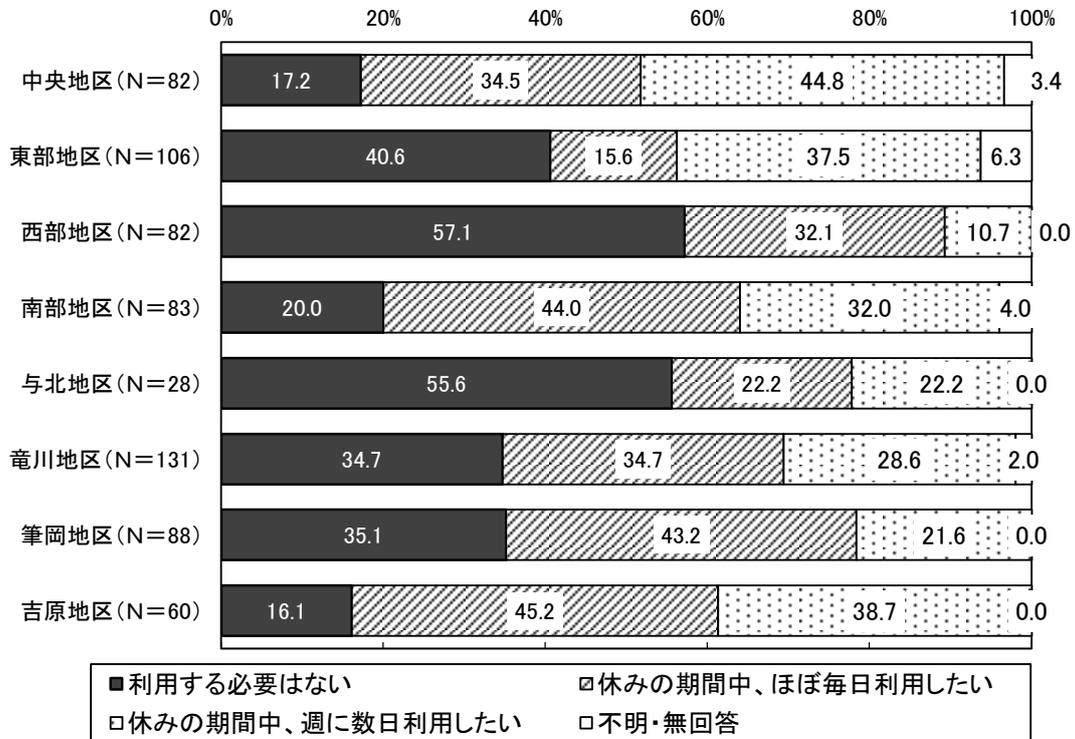


【終了時間】



地域別 × 長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

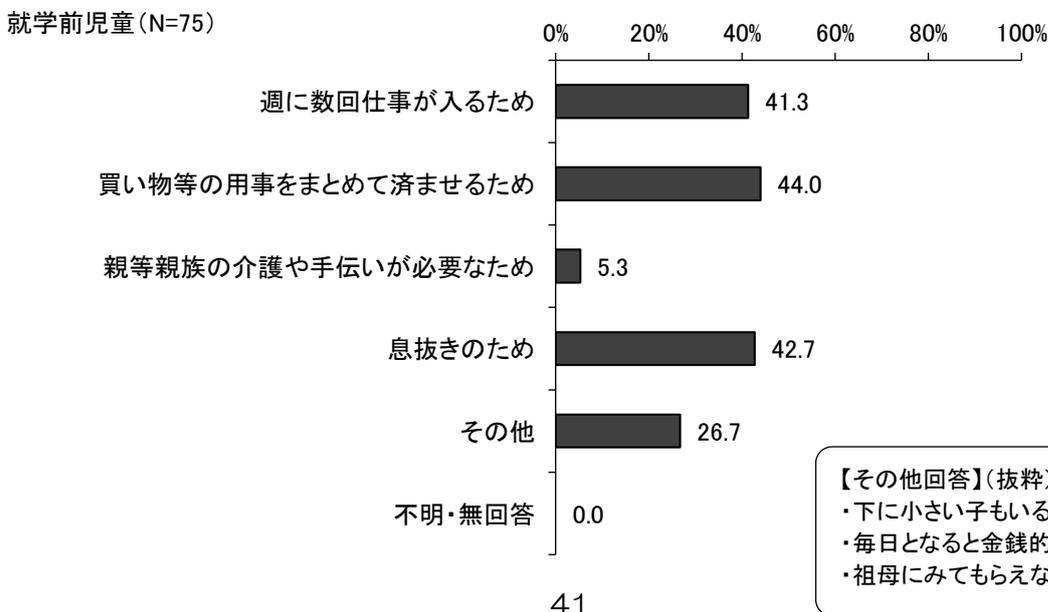
地域別に長期休暇中の利用希望をみると、[中央地区][南部地区][吉原地区]では「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「月に1～2回は利用したい」の合計が7割を超えています。



(2) で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

(2) - 1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉 [就学前児童調査…問 19-1]

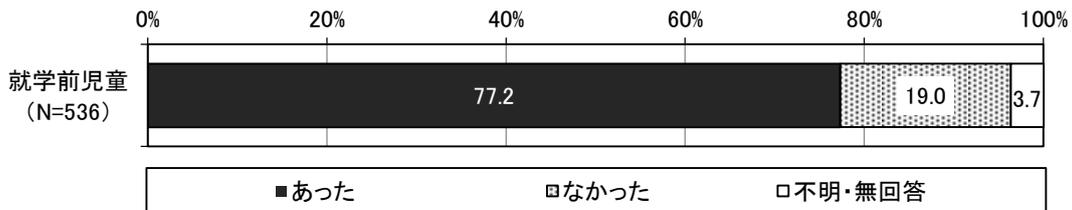
毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が44.0%と最も多く、次いで「息抜きのため」が42.7%、「週に数回仕事が入るため」が41.3%となっています。



7 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）（就学前児童）

（１）この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無 〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 20〕

この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無についてみると、「あった」が77.2%、「なかった」が19.0%となっています。



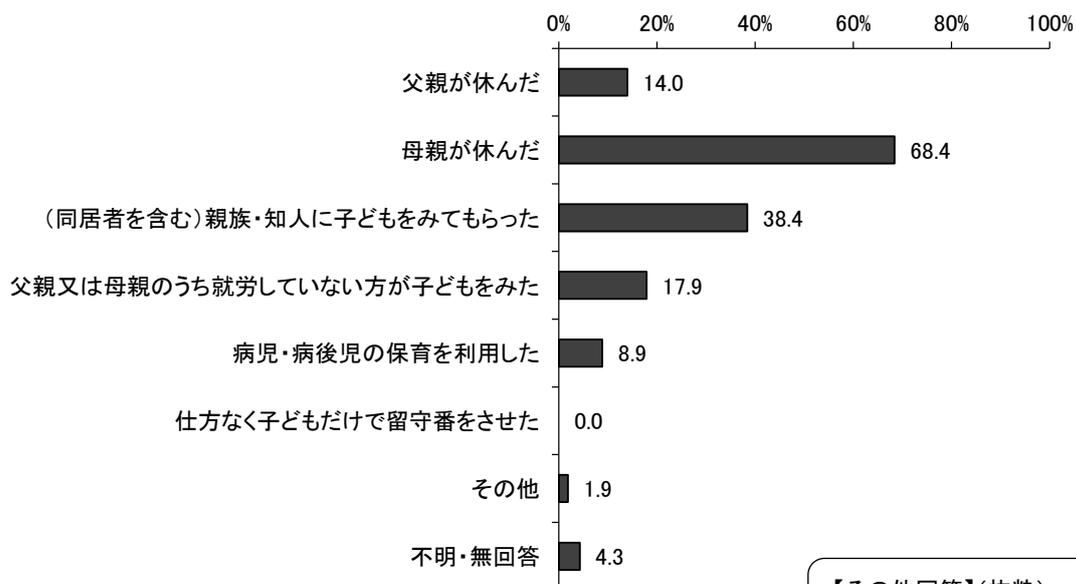
（１）で「あった」を選んだ方

（１）－１ 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 20－1〕

子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法についてみると、「母親が休んだ」が68.4%と最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が38.4%となっています。

就学前児童(N=414)



【その他回答】(抜粋)

- ・職場と一緒に連れて行った
- ・母親の祖父母
- ・祖母と交代で仕事を休んだ

◎子どもが病気やケガの際における各対処日数〈数量回答〉

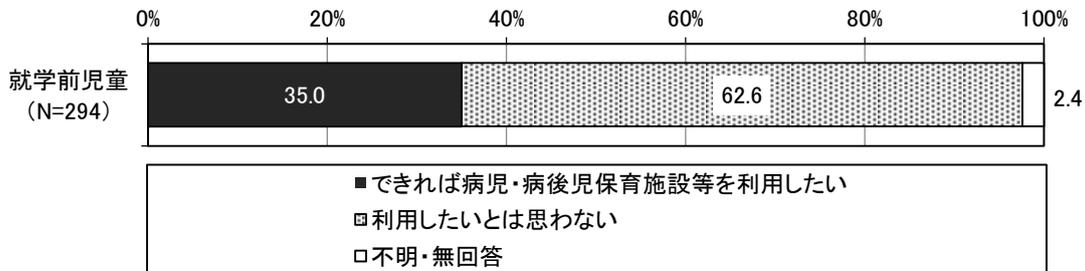
子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、『母親が休んだ』『(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった』『父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』では「7日以上」が最も多くなっています。

【就学前児童】 対応日数	父親が休んだ N=58		母親が休んだ N=283		もにむ(同居者を含む) 知らずともみ知人 N=159		をなう父 みいち親 た方就又 が労は母 どし母 て親 もいの N=74		保病 育児 を・利 用後 し児 たの N=37		さだ仕 せけ方 たでな 留く子 守子 番ど をも N=0		その他 N=8	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	13	22.4	39	13.8	20	12.6	15	20.3	10	27.0	0	0.0	2
2日	14	24.1	28	9.9	23	14.5	4	5.4	9	24.3	0	0.0	1	12.5
3日	9	15.5	44	15.5	24	15.1	7	9.5	3	8.1	0	0.0	0	0.0
4日	2	3.4	12	4.2	6	3.8	3	4.1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
5日	10	17.2	37	13.1	27	17.0	9	12.2	5	13.5	0	0.0	1	12.5
6日	1	1.7	6	2.1	3	1.9	5	6.8	1	2.7	0	0.0	1	12.5
7日以上	7	12.1	96	33.9	43	27.0	24	32.4	5	13.5	0	0.0	3	37.5
不明・無回答	2	3.4	21	7.4	13	8.2	7	9.5	2	5.4	0	0.0	0	0.0

(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

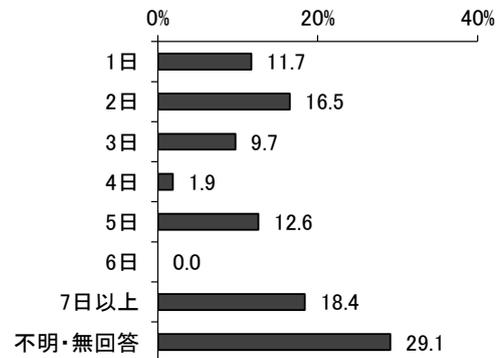
(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 20-2〕

父親または母親が休んだ方の病児・病後児のための保育施設等の利用意向についてみると、「利用したいとは思わない」が62.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.0%となっています。



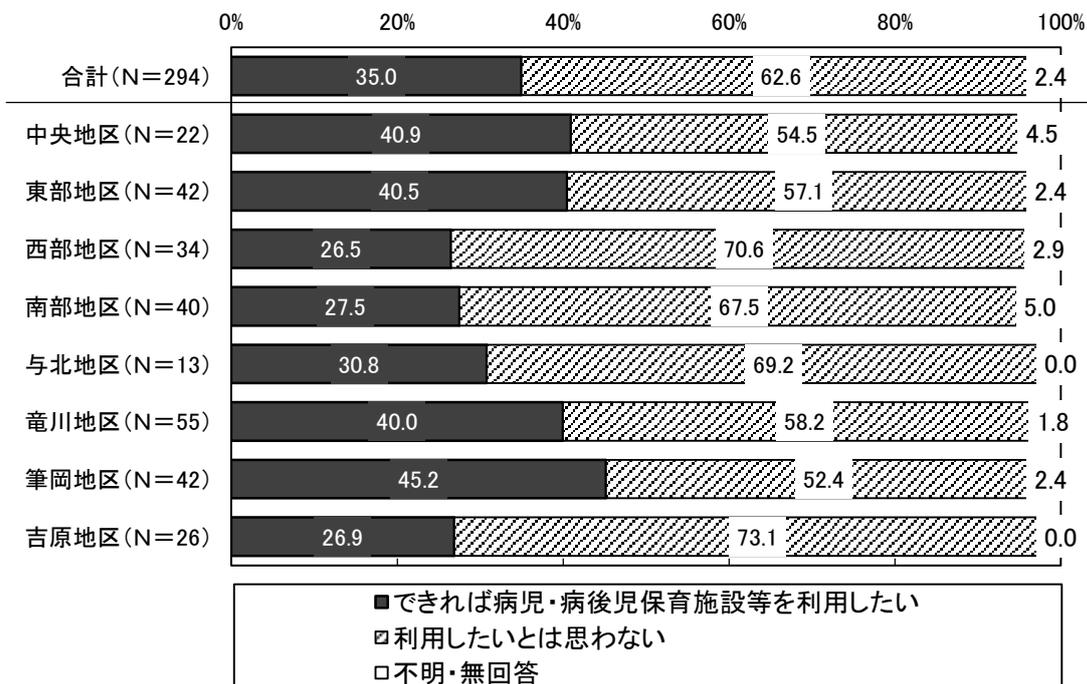
◎病児・病後児保育施設等を利用したい 就学前児童(N=103)
 方の日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》



地域別 × 病児・病後児保育施設等の利用希望

地域別にみると、病児・病後児の利用意向は、[中央地区][東部地区][竜川地区][筆岡地区]で4割を超えています。

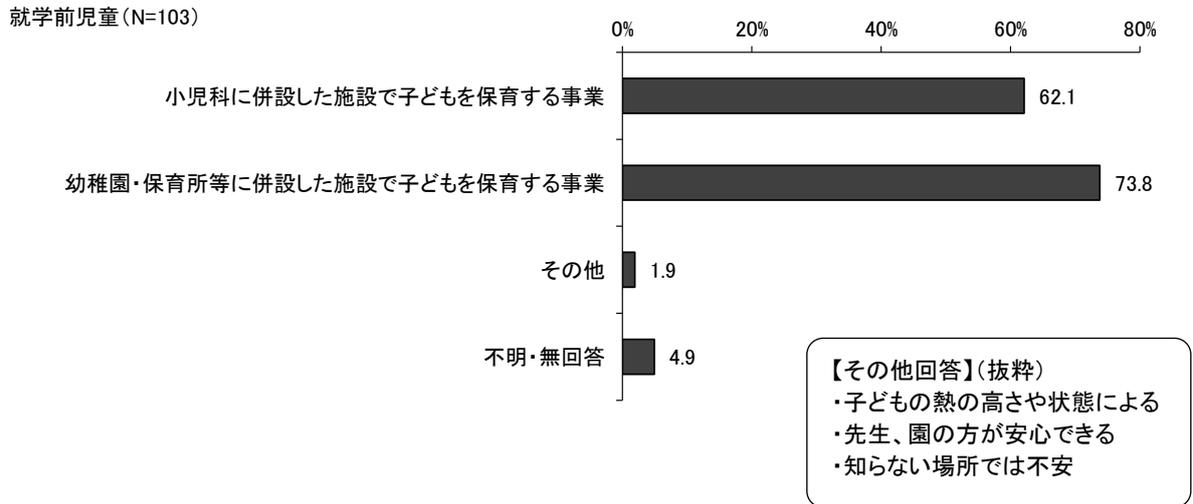


(1) - 2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方

(1) - 3 子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 20-3〕

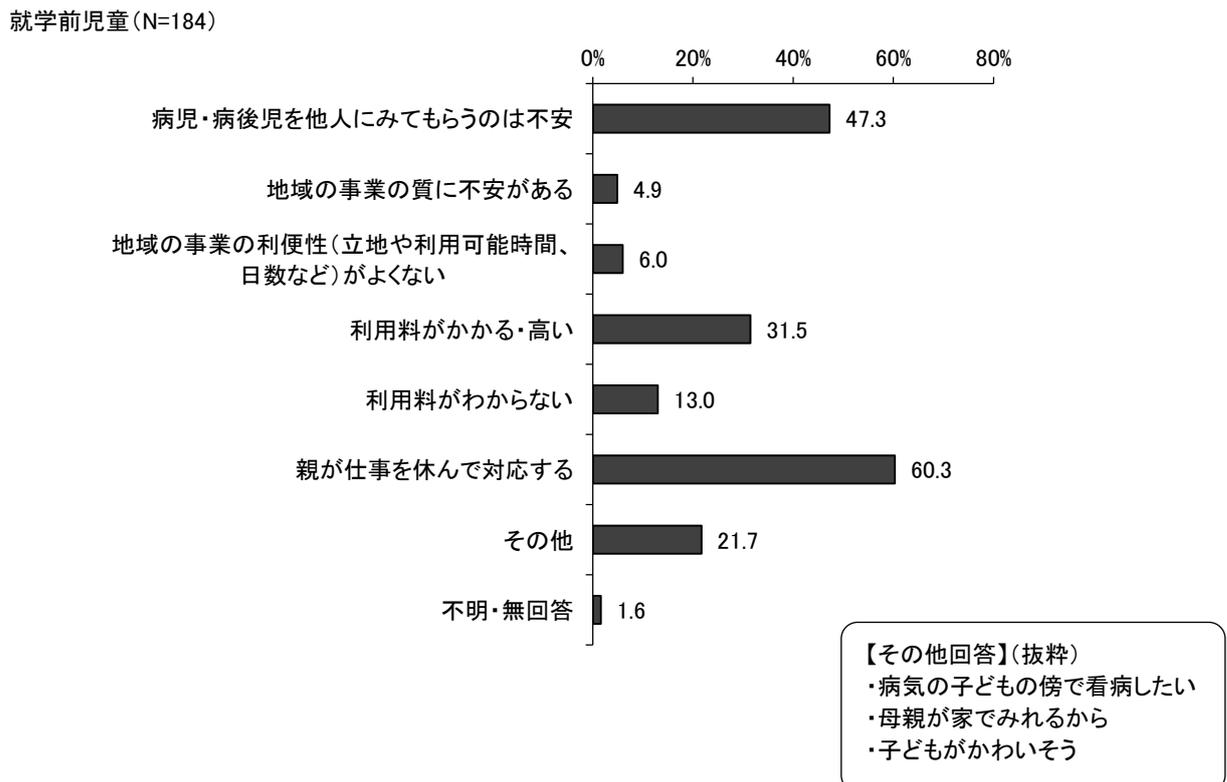
病児・病後児保育施設等を利用したい方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.8%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が62.1%となっています。



(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方

(1) - 4 利用したいと思わない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 20-4〕

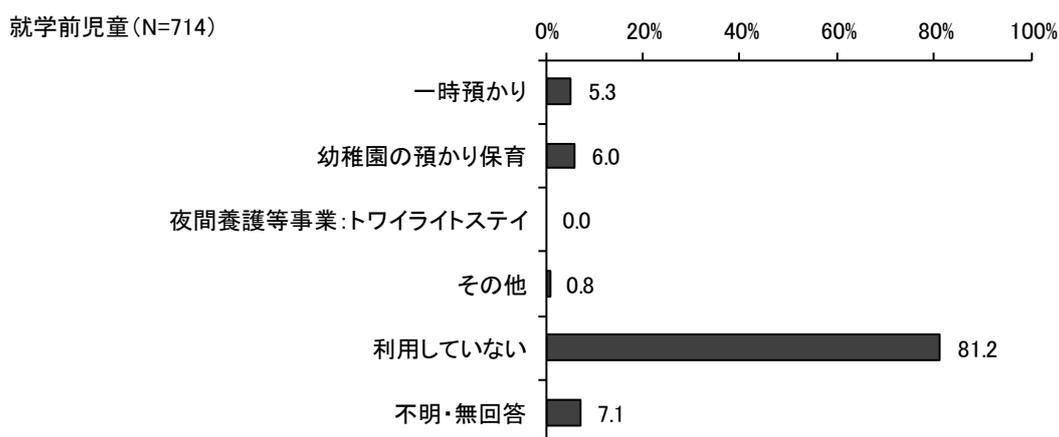
病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「親が仕事を休んで対応する」が60.3%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が47.3%となっています。



8 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（就学前児童）

（1）日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用する必要がある事業の有無〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21〕

一時預かりなど、不定期に利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用していない」が81.2%となっています。利用している事業では、「幼稚園の預かり保育」が6.0%、「一時預かり」が5.3%となっています。



【その他回答】(抜粋)
 ・子育てヘルパー
 ・職場の託児所

◎ 1年間の利用日数〈数量回答〉

《「利用していない」以外を選んだ方》

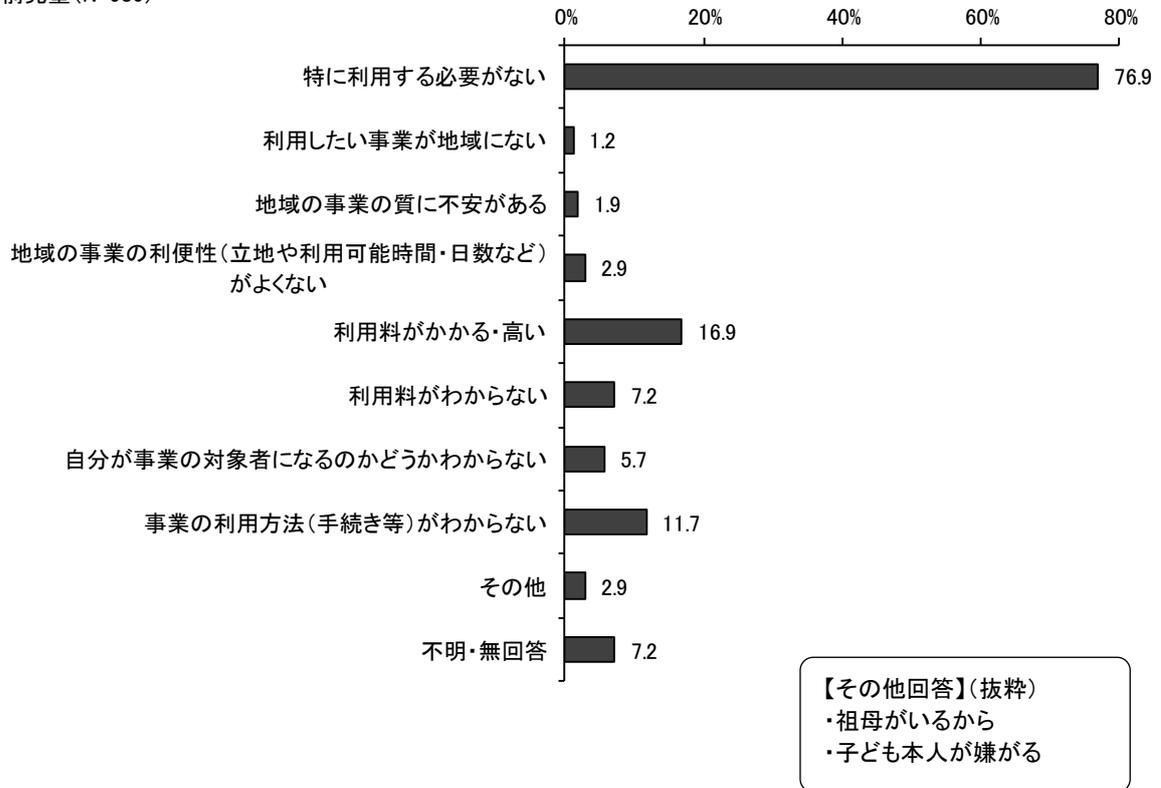
【就学前児童】 利用日数	（一時預かり等） N=38		預かり園保育 N=43		夜間養護等 （トワイライトステイ） N=0		その他 N=6	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	5	13.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2日	5	13.2	3	7.0	0	0.0	1	16.7
3日	7	18.4	1	2.3	0	0.0	0	0.0
4日	1	2.6	1	2.3	0	0.0	0	0.0
5日	7	18.4	3	7.0	0	0.0	1	16.7
6日	1	2.6	1	2.3	0	0.0	0	0.0
7日以上	8	21.1	24	55.8	0	0.0	3	50.0
不明・無回答	4	10.5	10	23.3	0	0.0	1	16.7

(1)で「利用していない」を選んだ方

(1) - 1 現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21-1〕

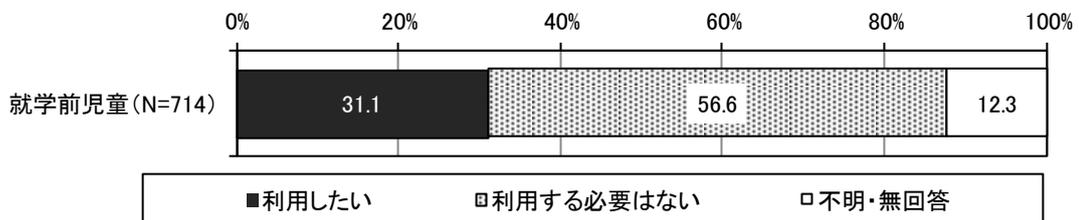
現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が76.9%と、特に多くなっています。

就学前児童(N=580)



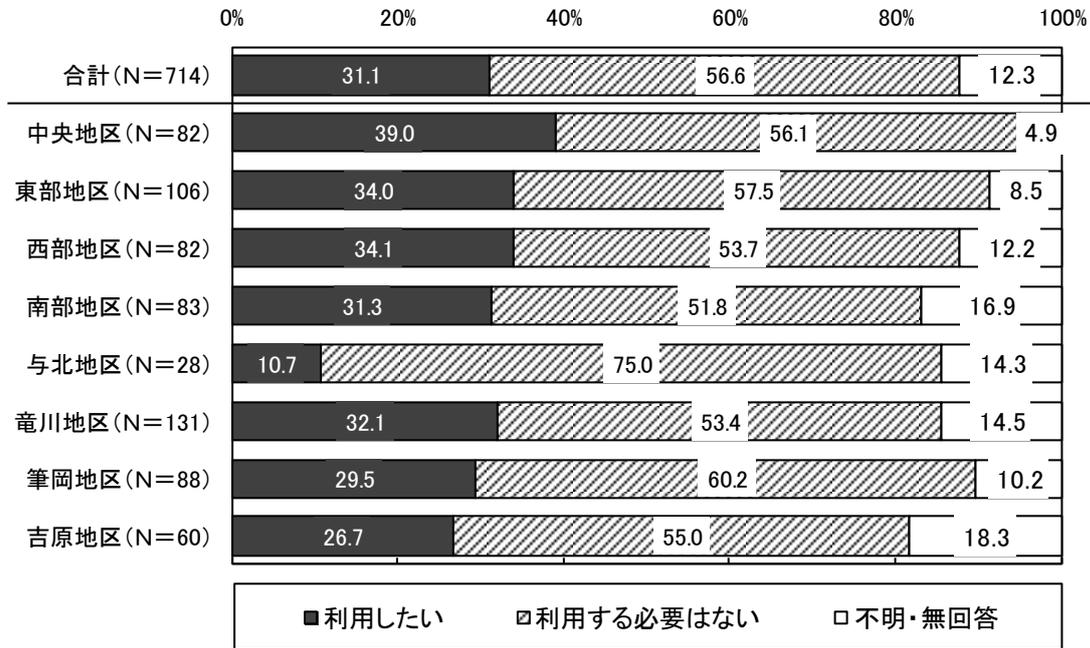
(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用する必要がある事業の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22〕

不定期的に利用する必要がある事業の利用意向についてみると、「利用したい」が31.1%、「利用する必要はない」が56.6%となっています。



地域別 × 一時預かり事業の利用希望

地域別に一時預かり事業の利用希望をみると、[与北地区]以外では、「利用したい」が2割を超えています。

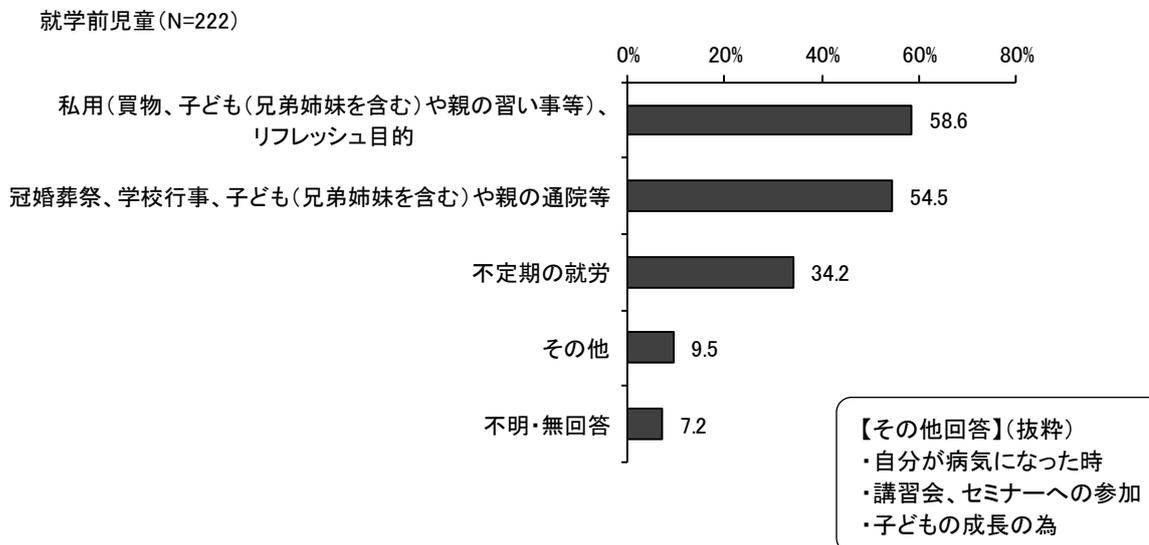


(2) 私用、親の通院、不定期の就労等で利用する必要がある事業の利用目的等 〈複数回答、数量回答〉 [就学前児童調査…問 22]

私用、親の通院、不定期の就労等で利用する必要がある事業の利用目的についてみると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が58.6%、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が54.5%となっています。

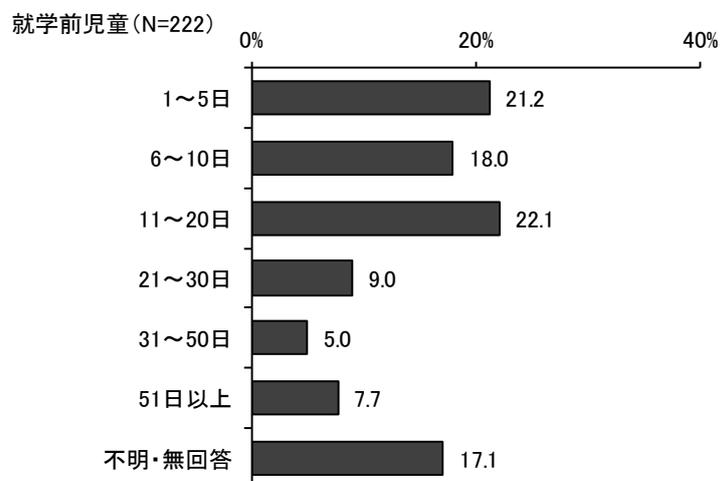
① 利用したい目的の内訳 〈複数回答〉

《「利用したい」を選んだ方》



②利用したい年間日数（合計）〈数量回答〉

《「利用したい」を選んだ方》



③利用したい目的ごとの日数〈数量回答〉

《「利用したい」を選んだ方》

【就学前児童】 対応日数	私用目的、リフレット		親の通院など、学校		冠婚葬祭、子どもや校		不定期の就労		その他	
	N=130		N=121		N=76		N=21			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	8	6.2	10	8.3	3	3.9	2	9.5		
2日	7	5.4	9	7.4	3	3.9	1	4.8		
3日	3	2.3	20	16.5	8	10.5	2	9.5		
4日	4	3.1	2	1.7	1	1.3	0	0.0		
5日	18	13.8	30	24.8	12	15.8	1	4.8		
6日	9	6.9	5	4.1	1	1.3	1	4.8		
7日以上	75	57.7	41	33.9	44	57.9	8	38.1		
不明・無回答	6	4.6	4	3.3	4	5.3	6	28.6		

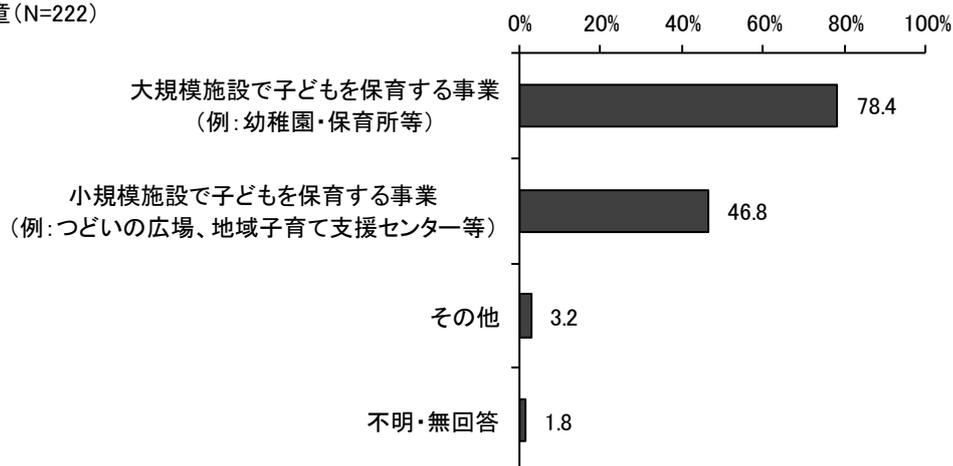
(2) ①で「利用したい」を選んだ方

(2) - 1 子どもを預ける場合に、望ましいと思う事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22-1〕

子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が78.4%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：つどいの広場、地域子育て支援センター等）」が46.8%となっています。

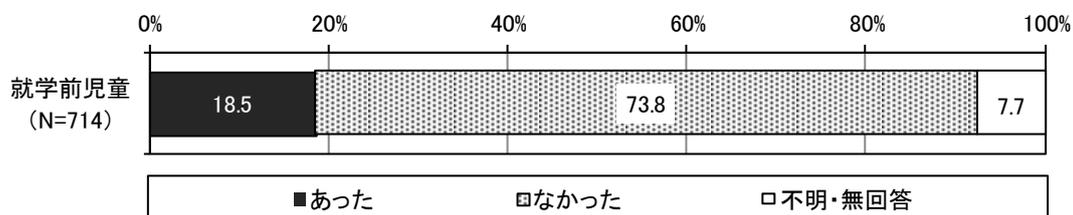
就学前児童(N=222)



【その他回答】(抜粋)
・子育て支援ヘルパー
・利用時間や場合で使い分けたい
・ファミサポ

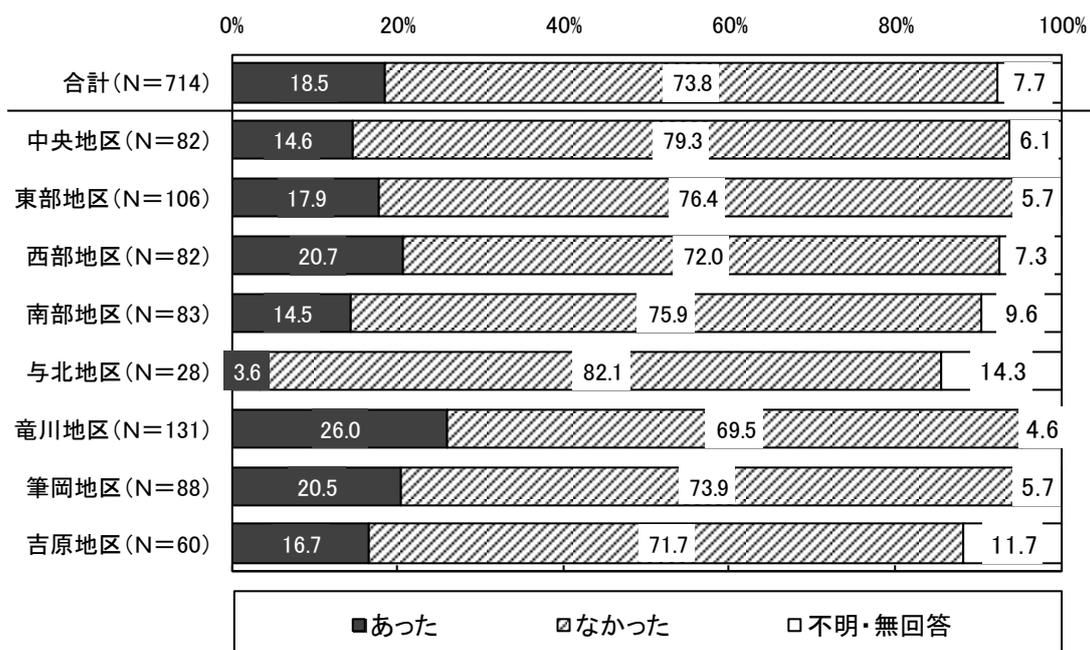
**(3) この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみても
らわなければならなかった経験の有無〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 23〕

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無についてみると、「あった」が18.5%、「なかった」が73.8%となっています。



地域別 × 泊りがけで家族以外に預けた経験の有無

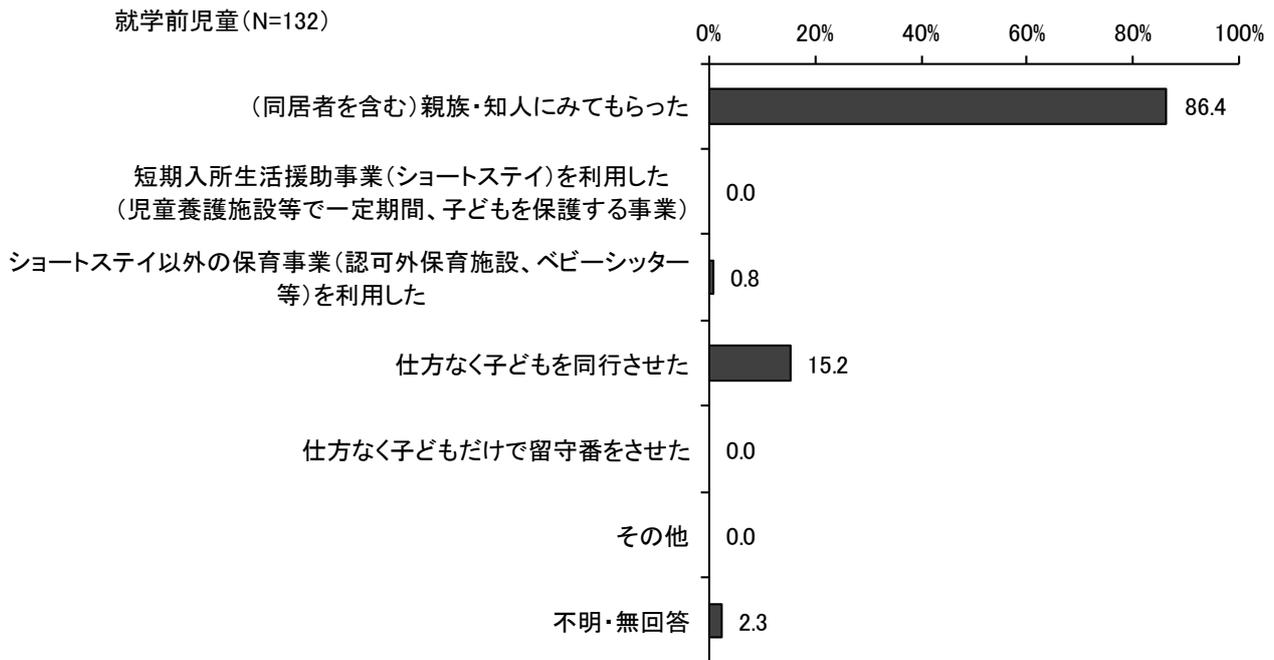
地域別にみると、「あった」が〔与北地区〕以外で1割を超えています。



子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験があった際の1年間の対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が86.4%と、最も多くなっています。また、子どもを泊りがけで預けた際の泊数については、「1泊」への回答が多くなっています。

(3)で「あった」を選んだ方

◎1年間の対処方法〈複数回答〉



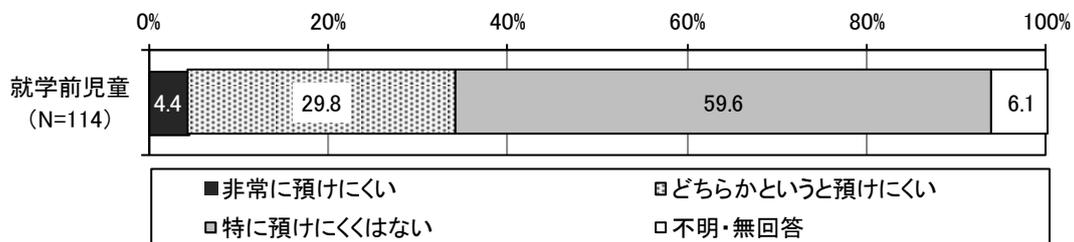
◎それぞれの対応泊数〈数量回答〉

【就学前児童】 対応泊数	にむ(み)同居者・知人		用ト助短 しス事期 たテ業入 イ(シ生 をヨ活 利 援		を以シ 利外ヨ 用のト した保ス た育ステ 事業業イ		を仕 同方 行なく させ子 せだも		させ方 せけな たでく 留守子 番ど をも		その他	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	29	25.4	0	0.0	0	0.0	7	35.0	0	0.0	0	0.0
2泊	22	19.3	0	0.0	0	0.0	4	20.0	0	0.0	0	0.0
3泊	11	9.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4泊	6	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	11	9.6	0	0.0	0	0.0	2	10.0	0	0.0	0	0.0
6泊	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊以上	26	22.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	8	7.0	0	0.0	1	100.0	7	35.0	0	0.0	0	0.0

(3) - 1で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選んだ方

(3) - 2 その場合の預けにくさ〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 23-1〕

親族・知人にみてもらった場合の預けにくさについてみると、「特に預けにくくはない」が59.6%と最も多くなっています。



9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

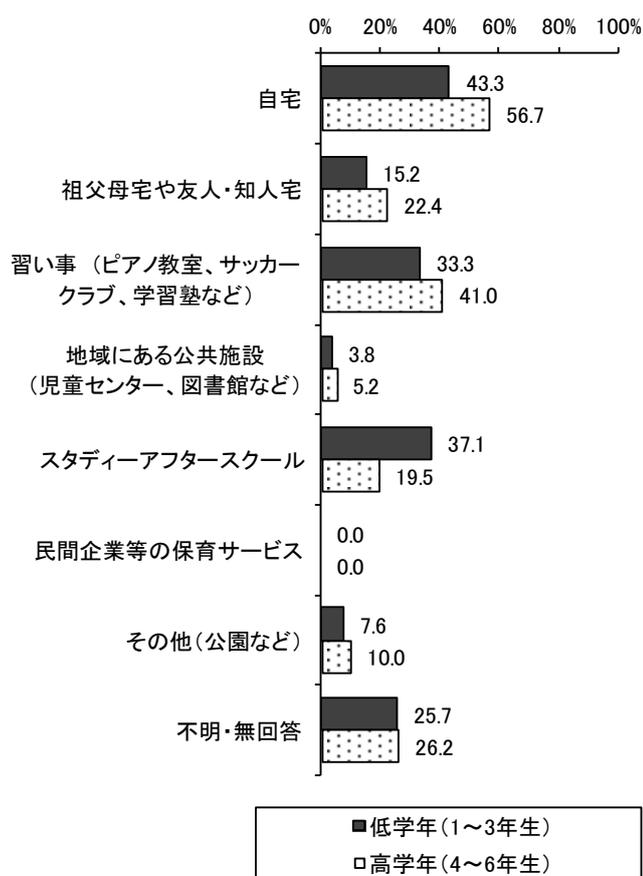
(1) 放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈就学前児童は低学年時と高学年時、小学生児童は現在と今後、それぞれ複数回答〉※就学前児童は5歳以上

〔就学前児童調査…問 24、小学生児童調査…問 14〕

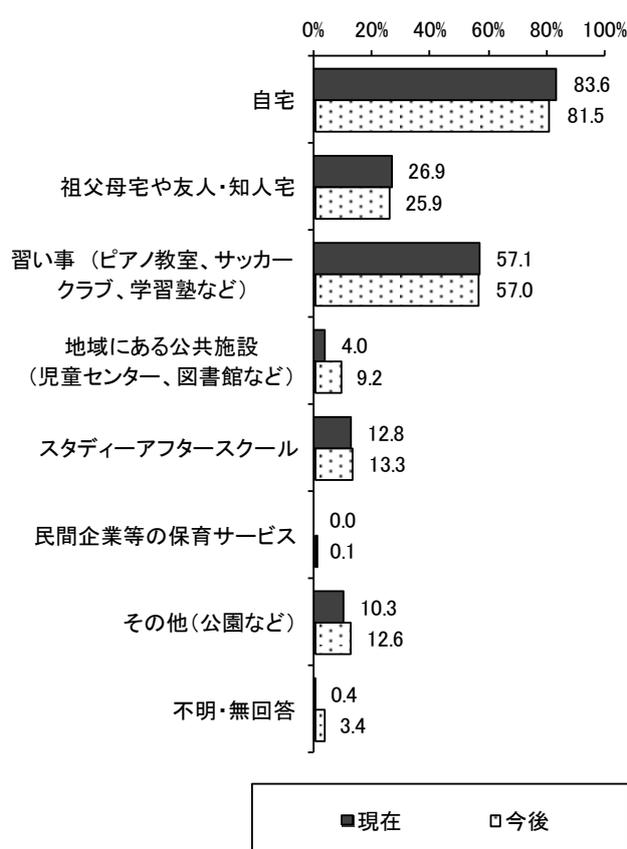
就学前児童について、小学生の放課後（平日の小学校終了後）の時間にどのような場所で過ごさせたいと思うかについてみると、『低学年（1～3年生）』では「自宅」が43.3%と最も多く、次いで「スタディーアフタースクール」が37.1%となっています。『高学年（4～6年生）』では「自宅」が56.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が41.0%となっています。

小学生児童についてみると、『現在』『今後』ともに、「自宅」が最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」となっています。

就学前児童 (N=210)



小学生児童 (N=825)



②週当たりの利用希望日数（就学前児童）〈数量回答〉

就学前児童の週当たりの利用希望日数については、『低学年（1～3年生）』『高学年（4～6年生）』ともに、[自宅][スタディーアフタースクール]で「5日」の割合が最も多くなっています。

【小学校低学年（就学前児童）】

【就学前児童】 小学校低学年 週当たりの 利用希望日数	自宅		友人・母 知宅 人宅		ドラノ習 （ブ、い 、サ事 学ツ（ 習カピ 塾ーア なク		どタ施地 （ー設域 、（児ある 図書童公 館セ共 なン		タス ータ スデ クイ ー ルア フ		育民間 サ間 ー企 ビ業 ス等 の保		どそ （の 他 （公園 な	
	N=91		N=32		N=70		N=8		N=78		N=0		N=5	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	9	9.9	11	34.4	24	34.3	6	75.0	3	3.8	0	0.0	8	50.0
2日	10	11.0	5	15.6	31	44.3	1	12.5	7	9.0	0	0.0	6	37.5
3日	16	17.6	5	15.6	11	15.7	0	0.0	9	11.5	0	0.0	1	6.3
4日	12	13.2	4	12.5	3	4.3	0	0.0	9	11.5	0	0.0	0	0.0
5日	36	39.6	4	12.5	0	0.0	1	12.5	47	60.3	0	0.0	1	6.3
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.6	0	0.0	0	0.0
7日	2	2.2	1	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	6	6.6	2	6.3	1	1.4	0	0.0	1	1.3	0	0.0	0	0.0

【小学校高学年（就学前児童）】

【就学前児童】 小学校高学年 週当たりの 利用希望日数	自宅		友人・母 知宅 人宅		ドラノ習 （ブ、い 、サ事 学ツ（ 習カピ 塾ーア なク		どタ施地 （ー設域 、（児ある 図書童公 館セ共 なン		タス ータ スデ クイ ー ルア フ		育民間 サ間 ー企 ビ業 ス等 の保		どそ （の 他 （公園 な	
	N=119		N=47		N=86		N=11		N=41		N=0		N=21	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	15	12.6	15	31.9	20	23.3	4	36.4	3	7.3	0	0.0	10	47.6
2日	12	10.1	10	21.3	38	44.2	3	27.3	5	12.2	0	0.0	5	23.8
3日	25	21.0	9	19.1	21	24.4	2	18.2	6	14.6	0	0.0	4	19.0
4日	9	7.6	2	4.3	5	5.8	0	0.0	1	2.4	0	0.0	0	0.0
5日	49	41.2	9	19.1	0	0.0	1	9.1	23	56.1	0	0.0	2	9.5
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	4.9	0	0.0	0	0.0
7日	2	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	7	5.9	2	4.3	2	2.3	1	9.1	1	2.4	0	0.0	0	0.0

地域別 × 放課後の過ごし方（就学前児童）

地域別に、就学前児童の放課後の過ごし方をみると、低学年時では、[西部地区][南部地区][与北地区][筆岡地区]で「スタディーアフタースクール」の割合が最も多くなっています。高学年時では、すべての地区で、「自宅」の割合が最も多くなっています。

【小学校低学年（就学前児童）】

上段：度数 下段：%	合計	自宅	友人・知人宅 祖父母宅や	習い事、（ピアノ教室、サッカー、習熟クラブ、学	ど） ター、（児童センター、図書館など）	施設にある公共 地域にある公共	アフター スクール	スタディー アフター スクール	民間企業等の 保育サービスの	（公園など） その他	不明・無回答
合計	210 100.0	91 43.3	32 15.2	70 33.3	8 3.8	78 37.1	-	16 7.6	54 25.7		
中央地区	29 100.0	15 51.7	3 10.3	10 34.5	1 3.4	11 37.9	-	3 10.3	6 20.7		
東部地区	29 100.0	19 65.5	6 20.7	16 55.2	-	6 20.7	-	3 10.3	5 17.2		
西部地区	26 100.0	8 30.8	3 11.5	7 26.9	1 3.8	11 42.3	-	2 7.7	8 30.8		
南部地区	19 100.0	6 31.6	3 15.8	6 31.6	-	11 57.9	-	1 5.3	3 15.8		
与北地区	8 100.0	2 25.0	-	-	-	3 37.5	-	-	3 37.5		
竜川地区	38 100.0	16 42.1	7 18.4	10 26.3	1 2.6	13 34.2	-	2 5.3	12 31.6		
筆岡地区	34 100.0	14 41.2	6 17.6	12 35.3	4 11.8	15 44.1	-	2 5.9	6 17.6		
吉原地区	25 100.0	11 44.0	4 16.0	9 36.0	1 4.0	8 32.0	-	3 12.0	9 36.0		
不明・無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0		

【小学校高学年（就学前児童）】

上段：度数 下段：%	合計	自宅	友人・知人宅 祖父母宅や	習い事、（ピアノ教室、サッカー、習熟クラブ、学	ど） ター、（児童センター、図書館など）	施設にある公共 地域にある公共	アフター スクール	スタディー アフター スクール	民間企業等の 保育サービスの	（公園など） その他	不明・無回答
合計	210 100.0	119 56.7	47 22.4	86 41.0	11 5.2	41 19.5	-	21 10.0	55 26.2		
中央地区	29 100.0	20 69.0	5 17.2	12 41.4	2 6.9	5 17.2	-	3 10.3	6 20.7		
東部地区	29 100.0	23 79.3	8 27.6	16 55.2	1 3.4	3 10.3	-	2 6.9	5 17.2		
西部地区	26 100.0	13 50.0	8 30.8	8 30.8	1 3.8	6 23.1	-	4 15.4	8 30.8		
南部地区	19 100.0	11 57.9	4 21.1	8 42.1	-	3 15.8	-	1 5.3	4 21.1		
与北地区	8 100.0	4 50.0	-	3 37.5	-	1 12.5	-	1 12.5	3 37.5		
竜川地区	38 100.0	21 55.3	9 23.7	12 31.6	2 5.3	8 21.1	-	4 10.5	12 31.6		
筆岡地区	34 100.0	15 44.1	6 17.6	15 44.1	4 11.8	10 29.4	-	3 8.8	6 17.6		
吉原地区	25 100.0	12 48.0	7 28.0	12 48.0	1 4.0	5 20.0	-	3 12.0	9 36.0		
不明・無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0		

③ 週当たりの利用希望日数（小学生児童）〈数量回答〉

小学生児童の週当たりの利用希望日数については、『現在』『希望』ともに[自宅][スタディーアフタースクール]で「5日」の割合が最も多くなっています。

【現在の放課後の過ごし方（小学生児童）】

【小学生児童】 現在の過ごし方 週当たりの 日数	自宅		友人・母 人父・母 知宅 人宅		ドラノ習 （ブ、い 、サ事 学ツ（ 習カピ 塾ーア なく		どタ施地 （ー設域 ）（に ）（あ ）（る ）（公 ）（共 ）（書 ）（館 ）（セ ）（ン ）（共 ）（な ）（ん ）（共 ）		タス ータ スデ クイ ー ルア フ		育民間 サ一企 ー業 ビス等 スの保		（その他 公園 など）	
	N=690		N=222		N=471		N=33		N=106		N=0		N=85	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	48	7.0	68	30.6	129	27.4	13	39.4	10	9.4	0	0.0	37	43.5
2日	78	11.3	50	22.5	140	29.7	2	6.1	8	7.5	0	0.0	22	25.9
3日	92	13.3	24	10.8	102	21.7	1	3.0	15	14.2	0	0.0	11	12.9
4日	80	11.6	13	5.9	61	13.0	4	12.1	13	12.3	0	0.0	3	3.5
5日	263	38.1	45	20.3	21	4.5	6	18.2	50	47.2	0	0.0	3	3.5
6日	18	2.6	5	2.3	11	2.3	3	9.1	5	4.7	0	0.0	1	1.2
7日	83	12.0	10	4.5	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	4.7
不明・無回答	28	4.1	7	3.2	6	1.3	4	12.1	5	4.7	0	0.0	4	4.7

【今後の放課後の過ごし方（小学生児童）】

【小学生児童】 今後の過ごし方 週当たりの 希望日数	自宅		友人・母 人父・母 知宅 人宅		ドラノ習 （ブ、い 、サ事 学ツ（ 習カピ 塾ーア なく		どタ施地 （ー設域 ）（に ）（あ ）（る ）（公 ）（共 ）（書 ）（館 ）（セ ）（ン ）（共 ）（な ）（ん ）（共 ）		タス ータ スデ クイ ー ルア フ		育民間 サ一企 ー業 ビス等 スの保		（その他 公園 など）	
	N=672		N=214		N=470		N=76		N=110		N=1		N=104	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	49	7.3	64	29.9	125	26.6	33	43.4	12	10.9	0	0.0	45	43.3
2日	90	13.4	54	25.2	153	32.6	13	17.1	16	14.5	1	100.0	32	30.8
3日	104	15.5	20	9.3	109	23.2	9	11.8	18	16.4	0	0.0	12	11.5
4日	64	9.5	6	2.8	37	7.9	1	1.3	13	11.8	0	0.0	2	1.9
5日	242	36.0	48	22.4	22	4.7	9	11.8	40	36.4	0	0.0	4	3.8
6日	12	1.8	3	1.4	4	0.9	2	2.6	5	4.5	0	0.0	0	0.0
7日	66	9.8	5	2.3	1	0.2	1	1.3	0	0.0	0	0.0	3	2.9
不明・無回答	45	6.7	14	6.5	19	4.0	8	10.5	6	5.5	0	0.0	6	5.8

地域別 × 放課後の過ごし方（小学生児童）

地域別に、小学生児童の放課後の過ごし方をみると、『現在』『希望』ともに、すべての地区で「自宅」の割合が最も多くなっています。

【現在の放課後の過ごし方（小学生児童）】

上段：度数 下段：%	合計	自宅	友人・知人宅 祖父母宅や	習い事、サ カークラブ、学 習塾など	ノ教室、サッ ター、図書セン ター、図書館な ど	施設（児童セン ター、図書館な ど）	地域にある公 共施設	スタデー アフター スクール	民間企業等 の保育サ ービス	その他 （公園など）	不明・無回答
合計	825 100.0	690 83.6	222 26.9	471 57.1	33 4.0	106 12.8	-	85 10.3	3 0.4		
中央地区	93 100.0	83 89.2	26 28.0	51 54.8	9 9.7	13 14.0	-	16 17.2	-		
東部地区	120 100.0	95 79.2	44 36.7	79 65.8	2 1.7	14 11.7	-	7 5.8	-		
西部地区	83 100.0	74 89.2	18 21.7	48 57.8	2 2.4	10 12.0	-	10 12.0	-		
南部地区	92 100.0	78 84.8	18 19.6	42 45.7	6 6.5	10 10.9	-	4 4.3	-		
与北地区	38 100.0	31 81.6	13 34.2	12 31.6	10 26.3	2 5.3	-	9 23.7	2 5.3		
竜川地区	171 100.0	142 83.0	43 25.1	94 55.0	3 1.8	34 19.9	-	22 12.9	-		
筆岡地区	126 100.0	108 85.7	35 27.8	78 61.9	1 0.8	11 8.7	-	7 5.6	-		
吉原地区	68 100.0	52 76.5	17 25.0	45 66.2	-	10 14.7	-	3 4.4	-		
不明・無回答	34 100.0	27 79.4	8 23.5	22 64.7	-	2 5.9	-	7 20.6	1 2.9		

【今後の放課後の過ごし方（小学生児童）】

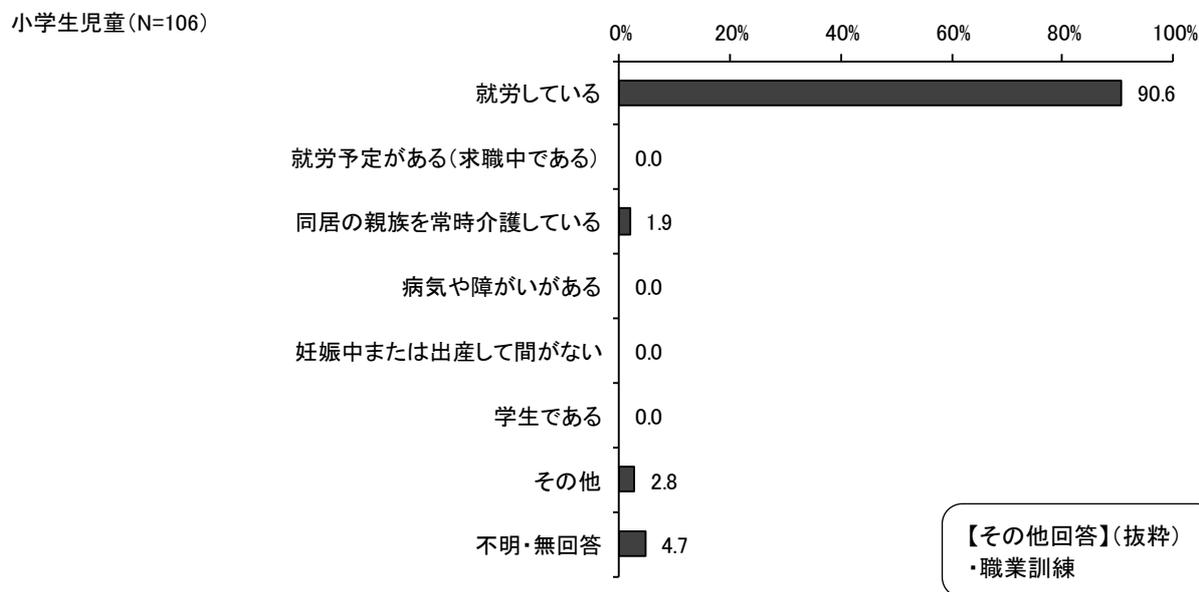
上段：度数 下段：%	合計	自宅	友人・知人宅 祖父母宅や	習い事、サ カークラブ、学 習塾など	ノ教室、サッ ター、図書セン ター、図書館な ど	施設（児童セン ター、図書館な ど）	地域にある公 共施設	スタデー アフター スクール	民間企業等 の保育サ ービス	その他 （公園など）	不明・無回答
合計	825 100.0	672 81.5	214 25.9	470 57.0	76 9.2	110 13.3	1 0.1	104 12.6	28 3.4		
中央地区	93 100.0	80 86.0	25 26.9	59 63.4	20 21.5	14 15.1	-	18 19.4	2 2.2		
東部地区	120 100.0	93 77.5	43 35.8	72 60.0	13 10.8	13 10.8	1 0.8	11 9.2	4 3.3		
西部地区	83 100.0	69 83.1	20 24.1	52 62.7	6 7.2	13 15.7	-	10 12.0	1 1.2		
南部地区	92 100.0	78 84.8	19 20.7	44 47.8	9 9.8	10 10.9	-	8 8.7	3 3.3		
与北地区	38 100.0	27 71.1	10 26.3	10 26.3	11 28.9	-	-	8 21.1	6 15.8		
竜川地区	171 100.0	140 81.9	40 23.4	96 56.1	11 6.4	34 19.9	-	20 11.7	4 2.3		
筆岡地区	126 100.0	105 83.3	37 29.4	76 60.3	4 3.2	14 11.1	-	18 14.3	1 0.8		
吉原地区	68 100.0	51 75.0	13 19.1	42 61.8	1 1.5	9 13.2	-	5 7.4	4 5.9		
不明・無回答	34 100.0	29 85.3	7 20.6	19 55.9	1 2.9	3 8.8	-	6 17.6	3 8.8		

(1)で「(現在)スタディーアフタースクール」を選んだ小学生児童の方

(2)スタディーアフタースクールを利用している理由〈単数回答〉※小学生児童のみ

[小学生児童調査…問 14-1]

小学生児童について、スタディーアフタースクールを利用している理由についてみると、「就労している」が90.6%と、特に多くなっています。

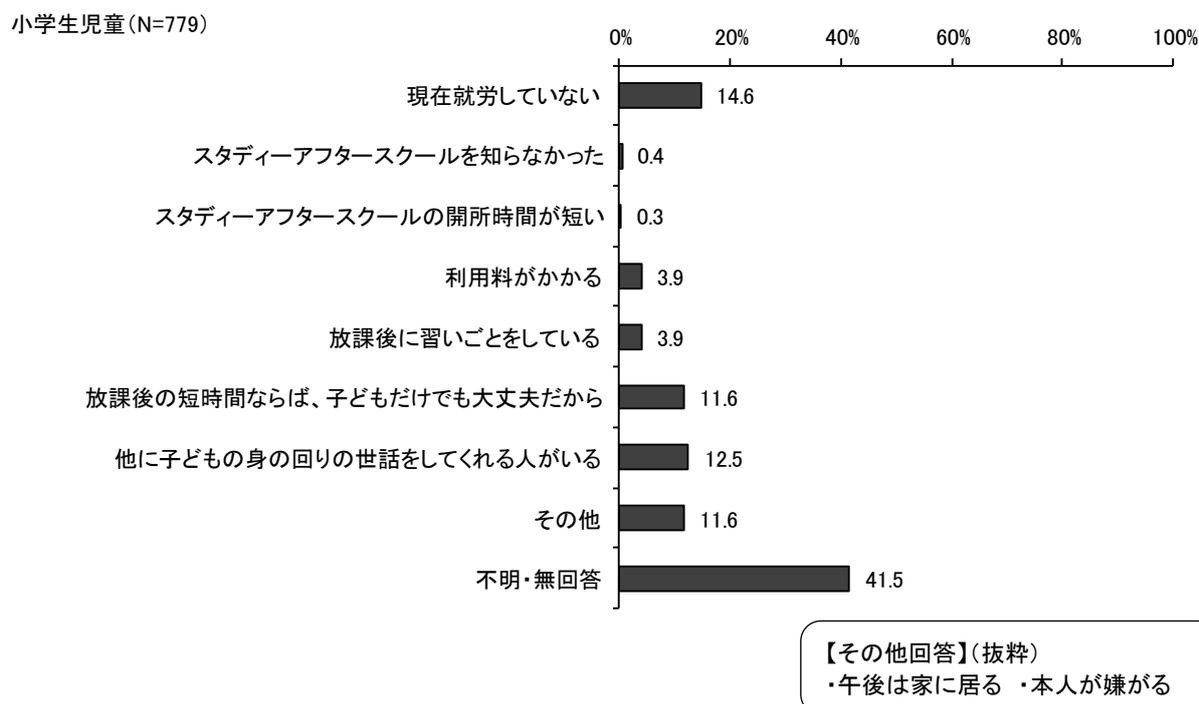


(1)で「(現在)スタディーアフタースクール以外」を選んだ小学生児童の方

(3)スタディーアフタースクールを利用していない理由〈単数回答〉※小学生児童のみ

[小学生児童調査…問 14-2]

小学生児童について、スタディーアフタースクールを利用していない理由についてみると、「現在就労していない」が14.6%、次いで「他に子どもの身の回りの世話をしてくれる人がいる」が12.5%となっています。



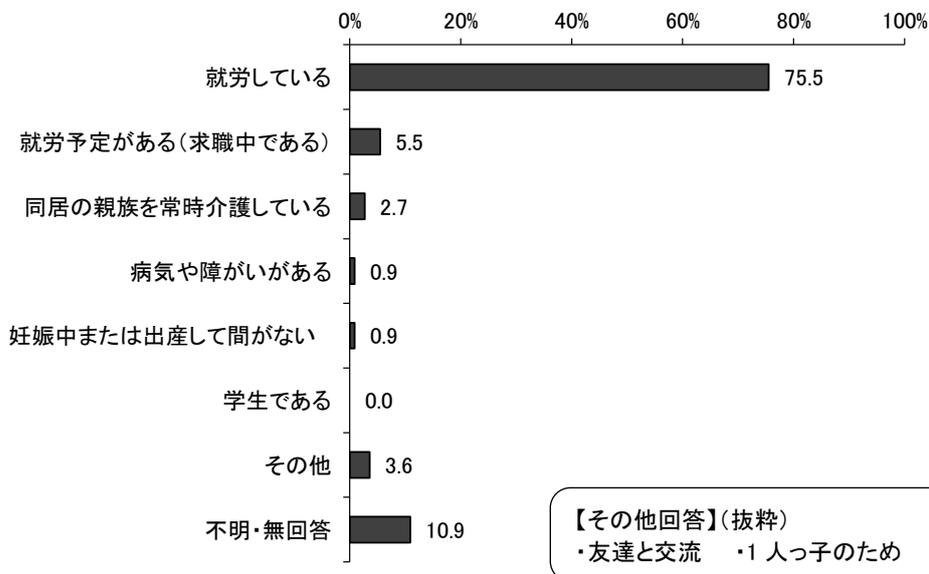
(1)で「(今後)スタディーアフタースクール」を選んだ小学生児童の方

(4)スタディーアフタースクールを希望している理由〈単数回答〉※小学生児童のみ

[小学生児童調査…問 15-1]

小学生児童について、スタディーアフタースクールを希望している理由についてみると、「就労している」が75.5%と、特に多くなっています。

小学生児童(N=110)



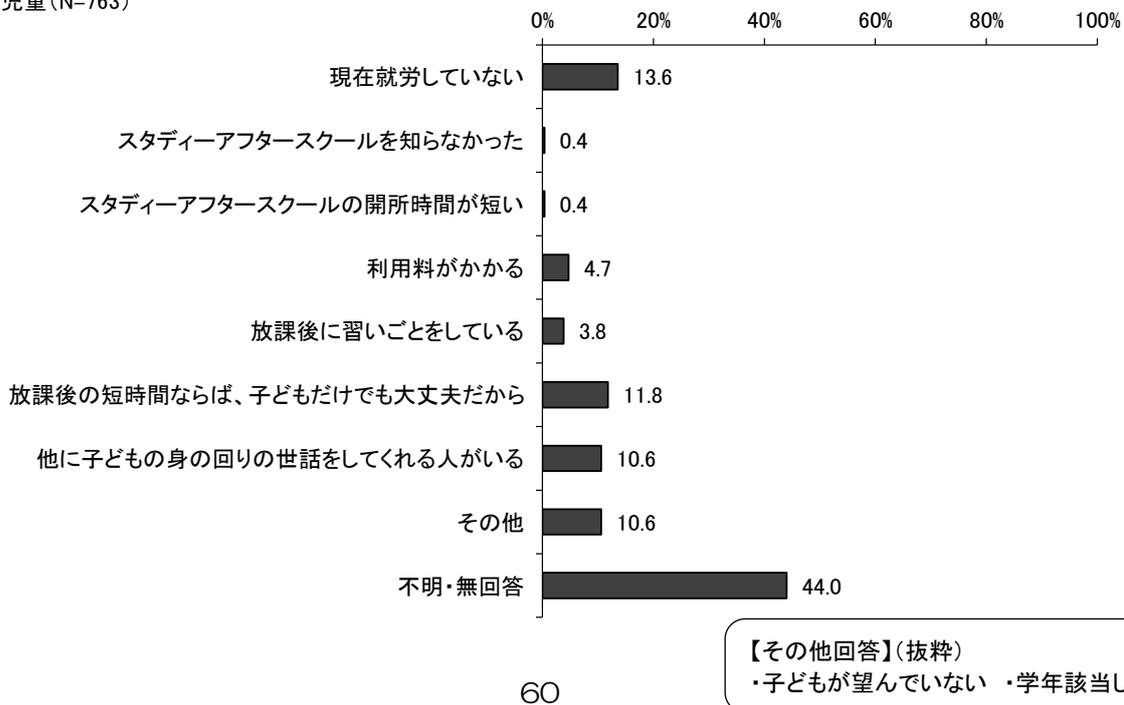
(1)で「(今後)スタディーアフタースクール以外」を選んだ小学生児童の方

(5)スタディーアフタースクールを希望していない理由〈単数回答〉※小学生児童のみ

[小学生児童調査…問 15-2]

小学生児童について、スタディーアフタースクールを希望していない理由についてみると、「現在就労していない」が13.6%、次いで「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だから」が11.8%となっています。

小学生児童(N=763)



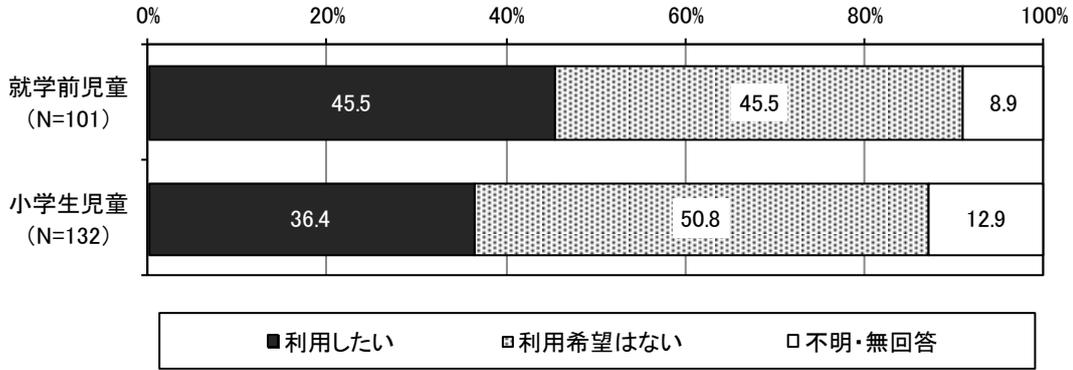
(1)で「スタディーアフタースクール」を選んだ方

(6) 土曜日のスタディーアフタースクールの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 26、小学生児童調査…問 16〕

スタディーアフタースクールの土曜日の利用希望についてみると、就学前児童では、「利用したい」が45.5%、「利用希望はない」が45.5%となっています。

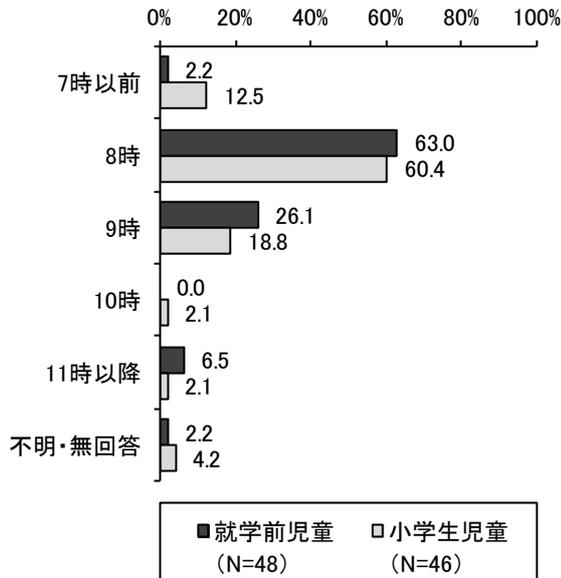
小学生児童では「利用したい」が36.4%、「利用希望はない」が50.8%となっています。



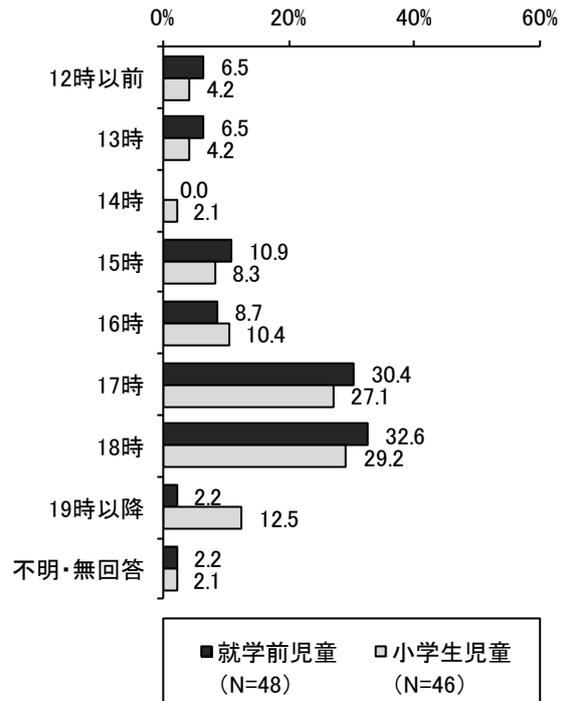
◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「利用したい」を選んだ方》

【希望開始時間】



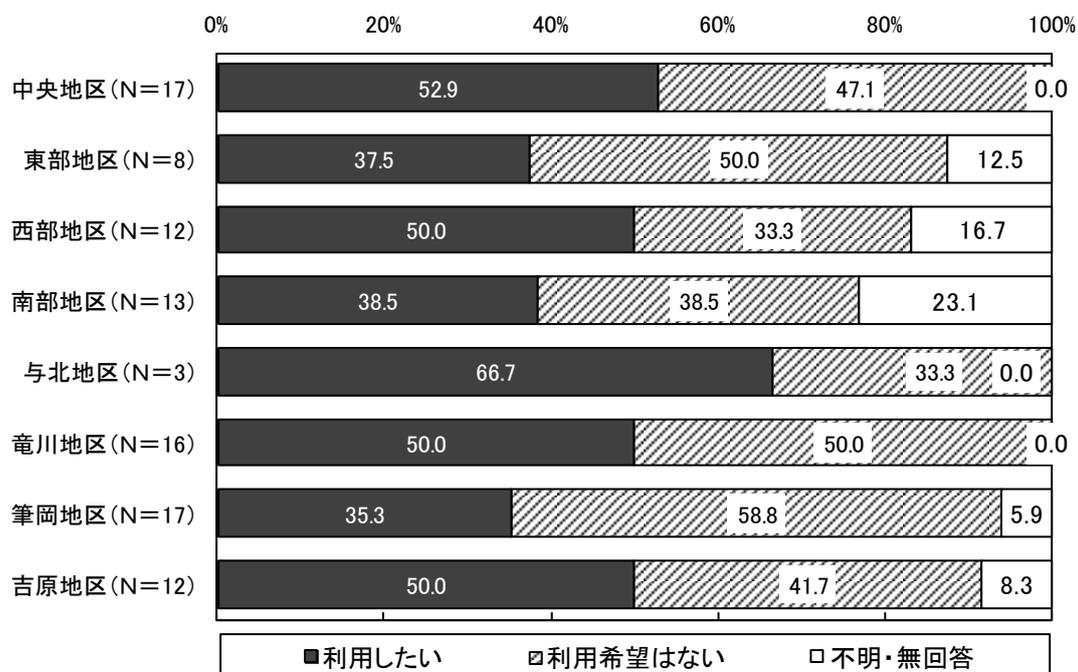
【希望終了時間】



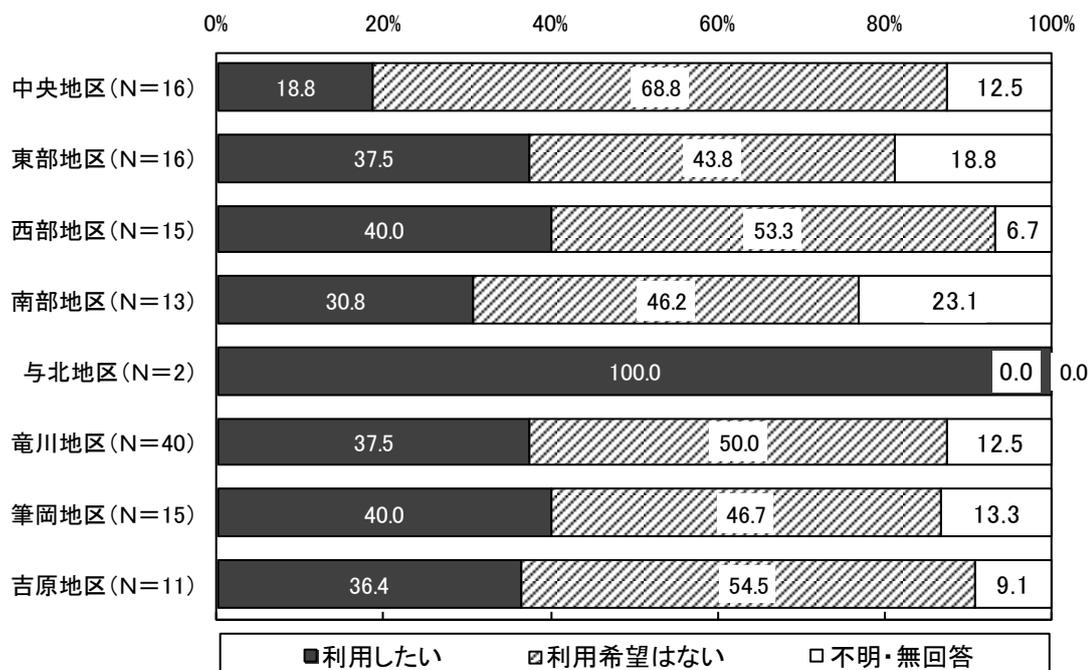
地域別 × 土曜日のスタディーアフタースクールの利用希望

地域別に土曜日のスタディーアフタースクールの希望状況をみると、就学前児童、小学生児童ともに、[与北地区]で「利用したい」の割合が多くなっています。

【就学前児童】



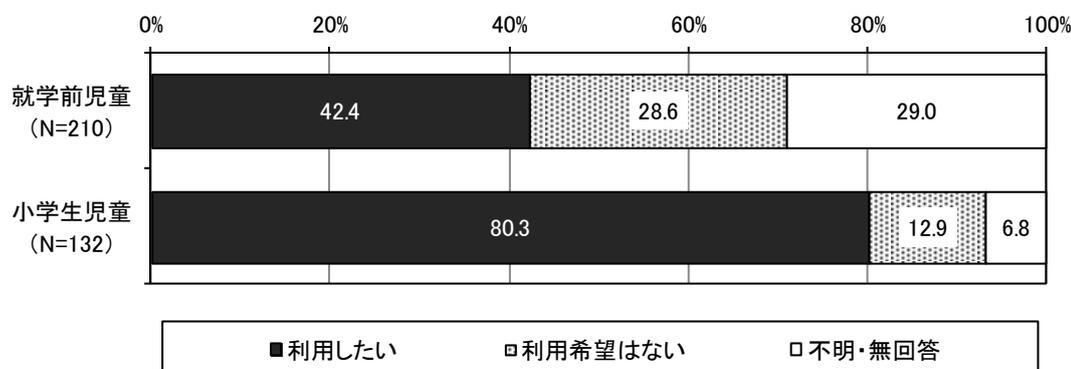
【小学生児童】



(7) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のスタディーアフタースクールの利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 27、小学生児童調査…問 13〕

長期の休暇期間中のスタディーアフタースクールの利用希望についてみると、就学前児童では「利用したい」が42.4%、「利用希望はない」が28.6%となっています。

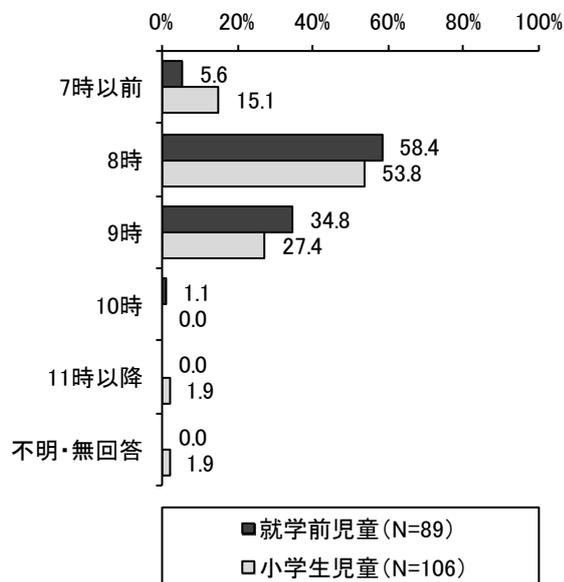
小学生児童では「利用したい」が80.3%、「利用希望はない」が12.9%となっています。



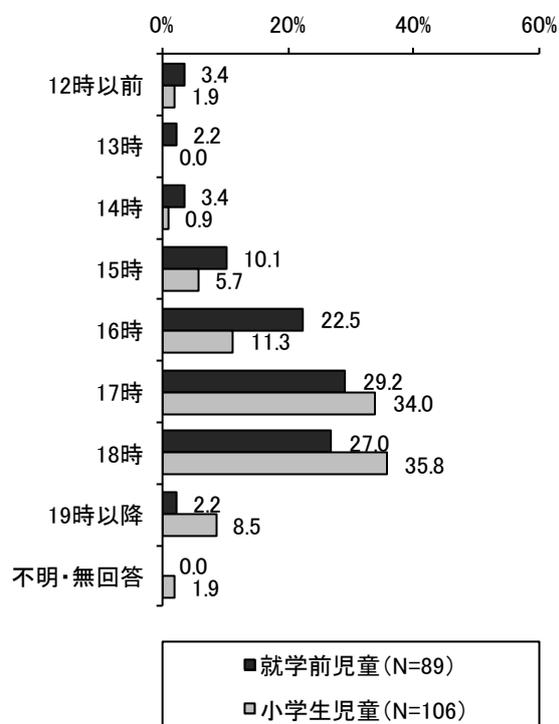
◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「利用したい」を選んだ方》

【希望開始時間】



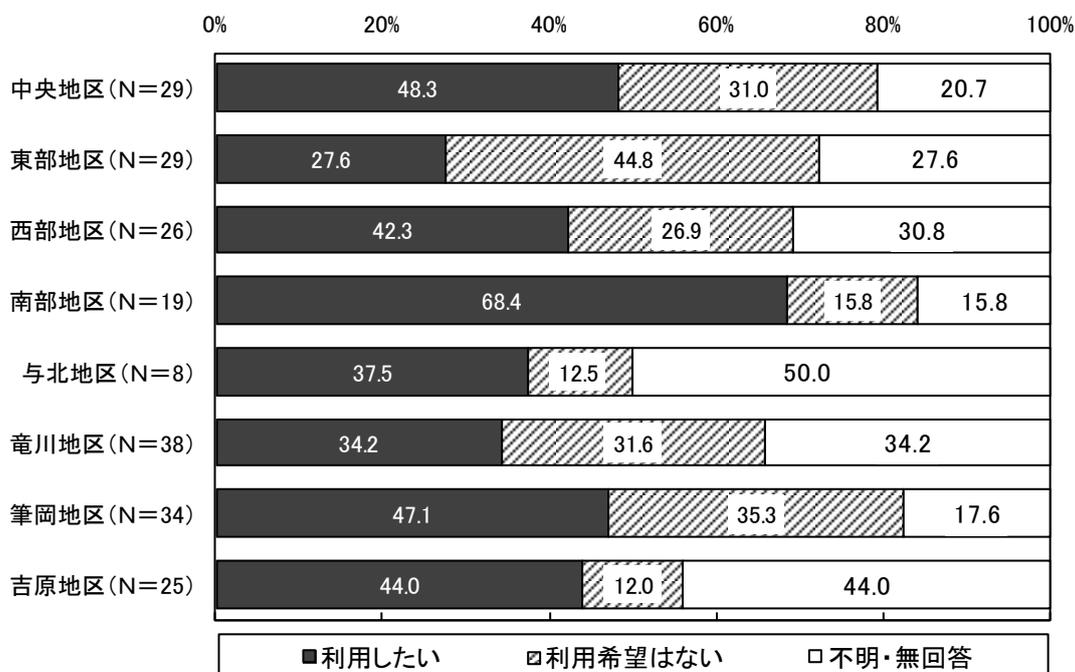
【希望終了時間】



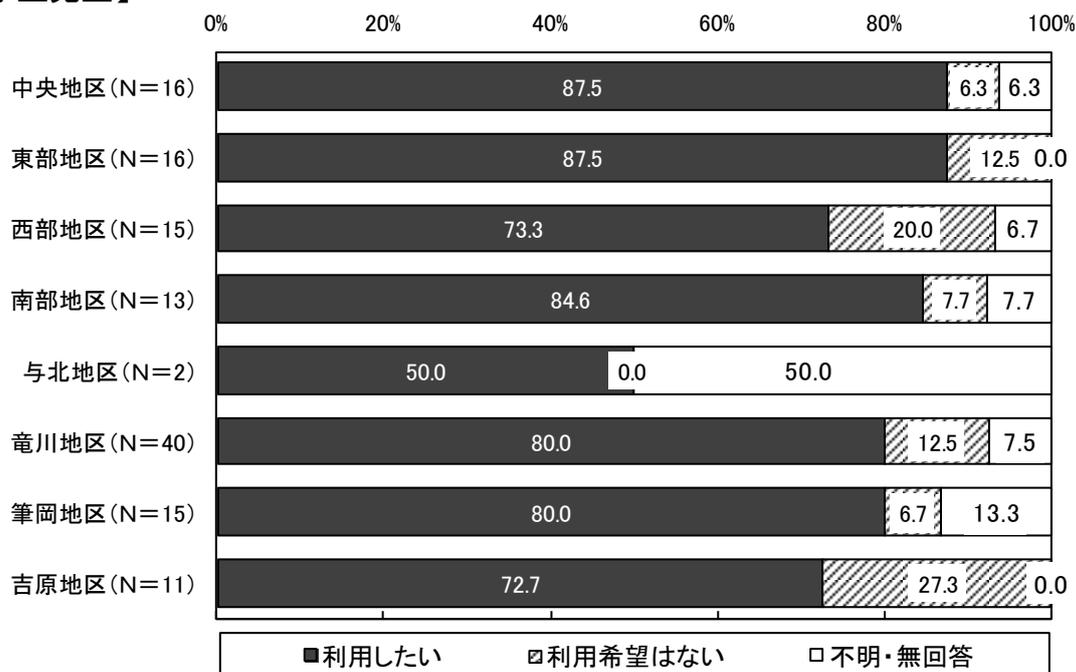
地域別 × 長期休暇中のスタディーアフタースクールの利用希望

地域別に長期休暇中のスタディーアフタースクールの希望状況を見ると、就学前児童では、[南部地区]で「利用したい」の割合が6割を超えています。[南部地区]で「利用したい」の割合が6割を超えています。小学生児童では、[与北地区]以外の地区で「利用したい」の割合が7割を超えています。

【就学前児童】



【小学生児童】



10 仕事と家庭の両立について（小学生児童）

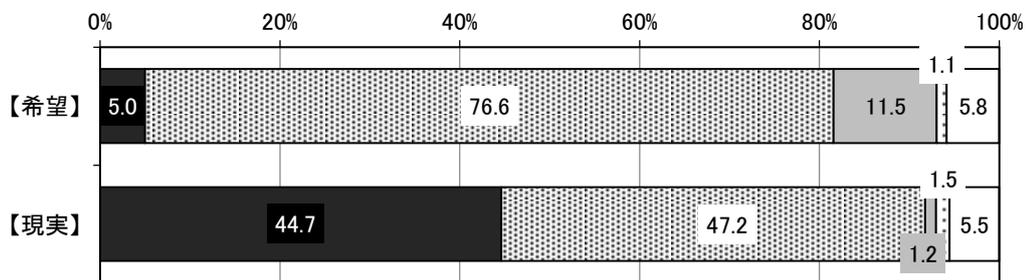
※父親・母親（回答者）自身の方

（1）「仕事の時間」と「家庭（育児）の時間」「自分のための時間」の優先度

〈希望と現実、それぞれについて単数回答〉〔小学生児童調査…問 18〕

「仕事の時間」と「家庭（育児）の時間」「自分のための時間」の優先度についてみると、【希望】では「家庭（育児）の時間を優先」が76.6%と最も多くなっているのに対し、【現実】では「家庭（育児）の時間を優先」が47.2%で最も多いものの、「仕事の時間を優先」も44.7%と多くなっています。

小学生児童 (N=825)

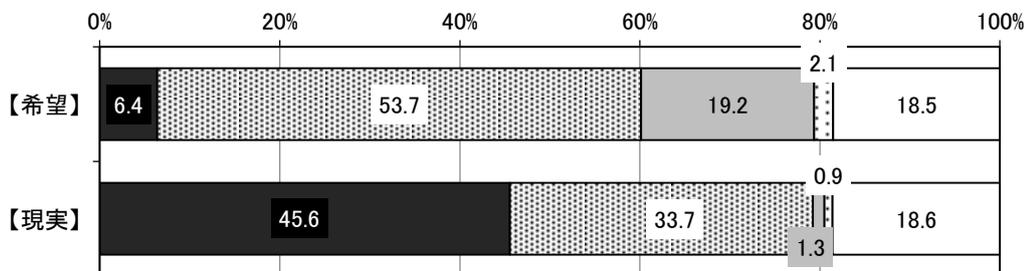


■ 仕事の時間を優先 □ 家庭(育児)の時間を優先 □ 自分のための時間を優先 □ その他 □ 不明・無回答

【前回調査】「仕事の時間」と「家庭（育児）の時間」「自分のための時間」の優先度

前回調査と比較すると、おおむね同じ傾向となっておりますが、今回調査の【現実】における「家庭（育児）の時間を優先」の割合が、前回調査の【現実】における「家事（育児）の時間を優先」の割合よりも、やや多くなっています。

小学生児童 (N=698)



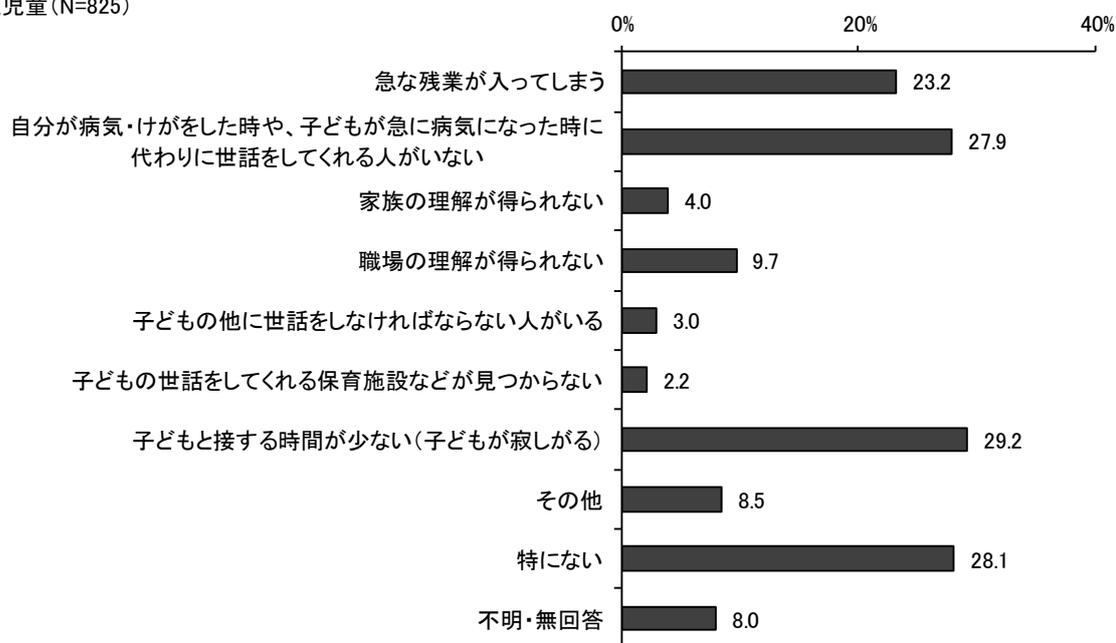
■ 仕事の時間を優先 □ 家事(育児)の時間を優先 □ プライベートの生活を優先 □ その他 □ 不明・無回答

* 前回調査・・・平成21年3月実施調査

（２）仕事と家庭を両立する上で困っていること〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 19〕

仕事と家庭を両立する上で困っていることについてみると、「子どもと接する時間が少ない（子どもが寂しがる）」が 29.2%、「自分が病気・けがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに世話をしてくれる人がいない」が 27.9%、「急な残業が入ってしまう」が 23.2%と、2割を超えています。また、「特にない」についても 28.1%と多くなっています。

小学生児童(N=825)

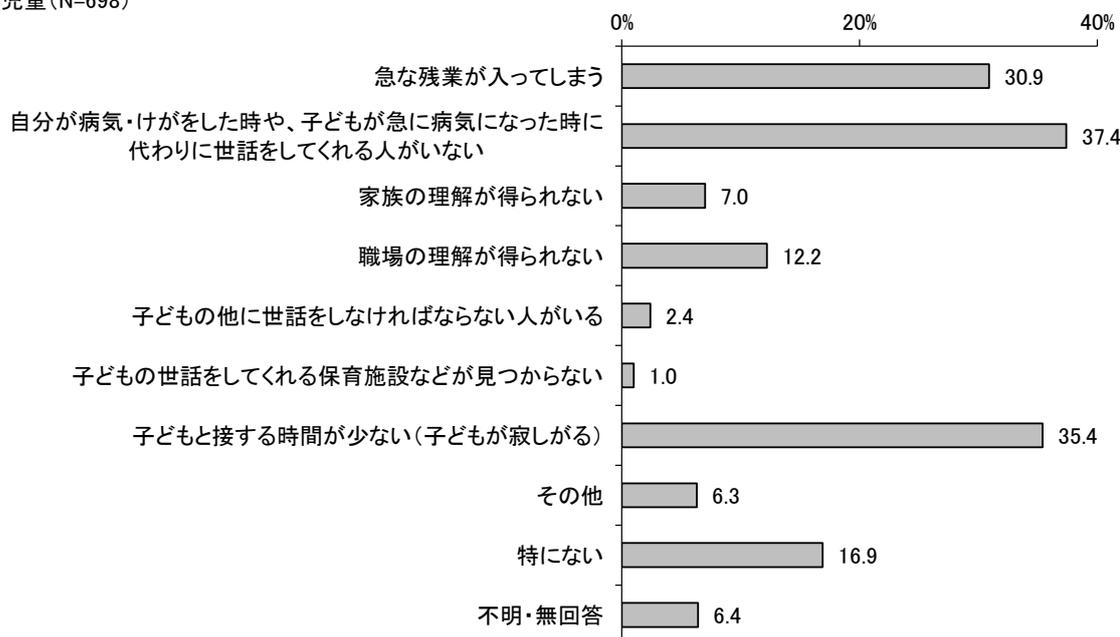


【その他回答】(抜粋) ・朝が早い ・仕事の休みとれない

【前回調査】仕事と家庭を両立する上で大変だと感じること

前回調査と比較すると、大きな順位の変動は有りませんが、前回調査では、「自分が病気・けがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに世話をしてくれる人がいない」「子どもと接する時間が少ない（子どもが寂しがる）」「急な残業が入ってしまう」が3割以上となっていました。

小学生児童(N=698)

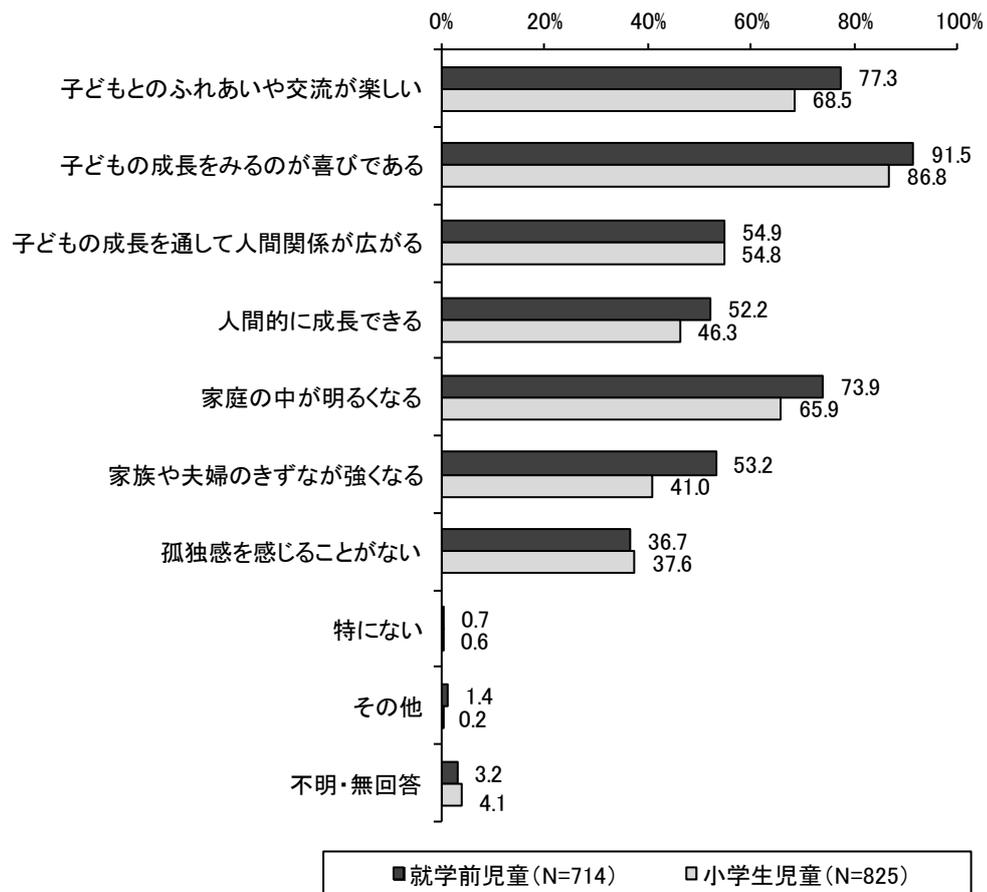


11 子育て全般について

(1) 子育てをしていて、どんな楽しみや喜びを感じるか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 28、小学生児童調査…問 20〕

子育てをしていて、感じる楽しみや喜びについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「子どもの成長をみるのが喜びである」が最も多く、次いで「子どもとのふれあいや交流が楽しい」「家庭の中が明るくなる」となっています。



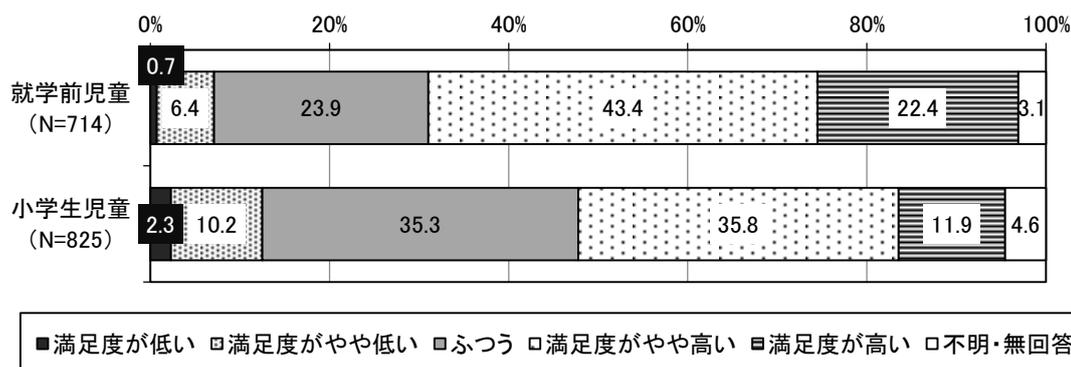
【その他回答】(抜粋)

- ・母親になったことを実感できる
- ・生きがい
- ・愛おしいものがある喜び。母親になれた喜び
- ・子どもが私の仕事を好きでいてくれて、応援してくれる時

(2) 市における子育ての環境や支援についての満足度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 29、小学生児童調査…問 21〕

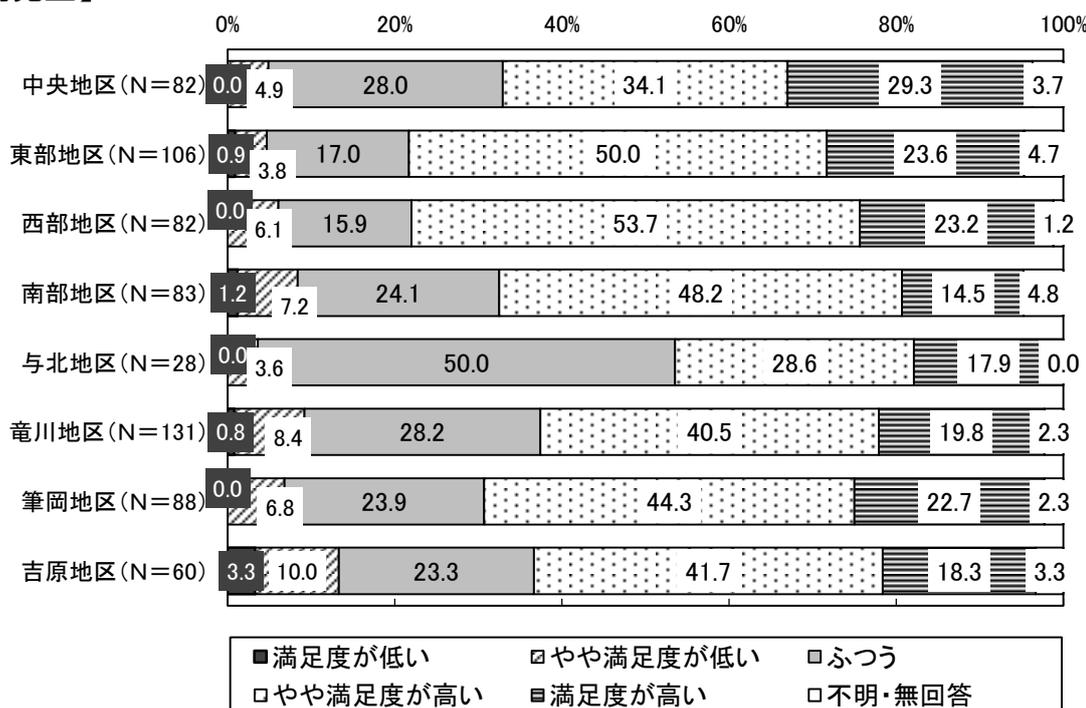
市における子育ての環境や支援についての満足度についてみると、「満足度がやや高い」「満足度が高い」を合わせた『満足』の割合が、就学前児童では6割、小学生児童では4割以上となっています。また、「満足度がやや低い」「満足度が低い」を合わせた『不満』の割合は、就学前児童、小学生児童ともに1割程度となっています。



地域別 × 市における子育ての環境や支援についての満足度

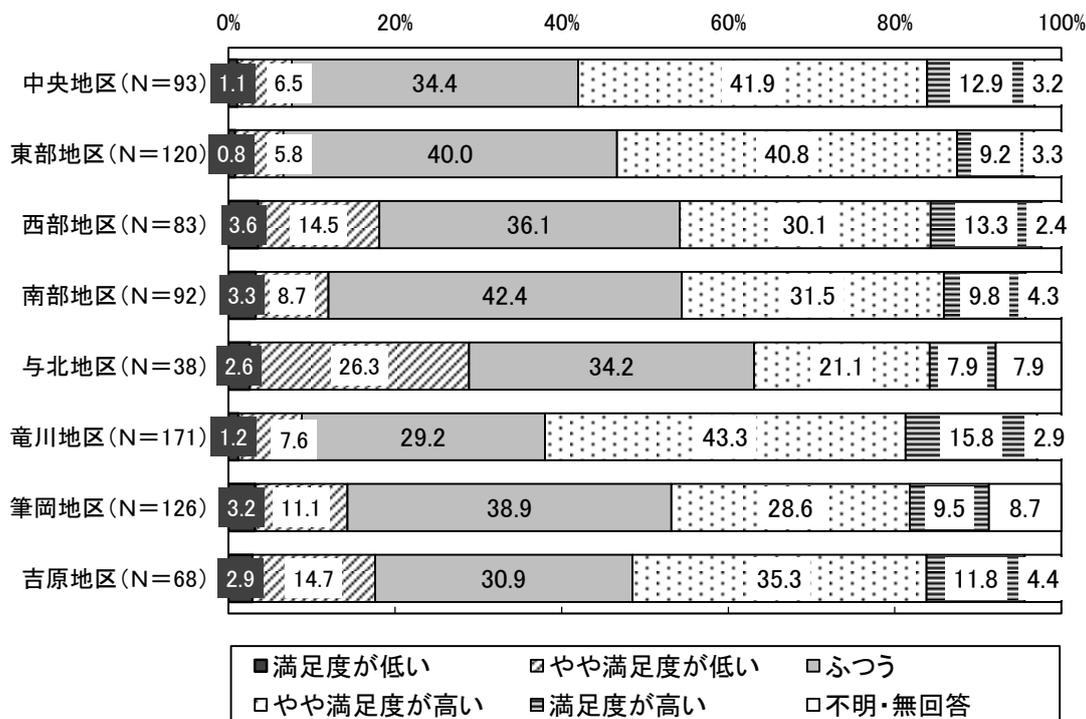
地域別に市における子育ての環境や支援についての満足度についてみると、就学前児童では、〔与北地区〕以外の地区では「満足度がやや高い」「満足度が高い」を合わせた『満足』の割合が、6割以上となっています。

【就学前児童】



地域別に市における子育ての環境や支援についての満足度についてみると、小学生児童では、[与北地区]以外の地区では「満足度がやや高い」「満足度が高い」を合わせた『満足』の割合が、3割以上となっています。

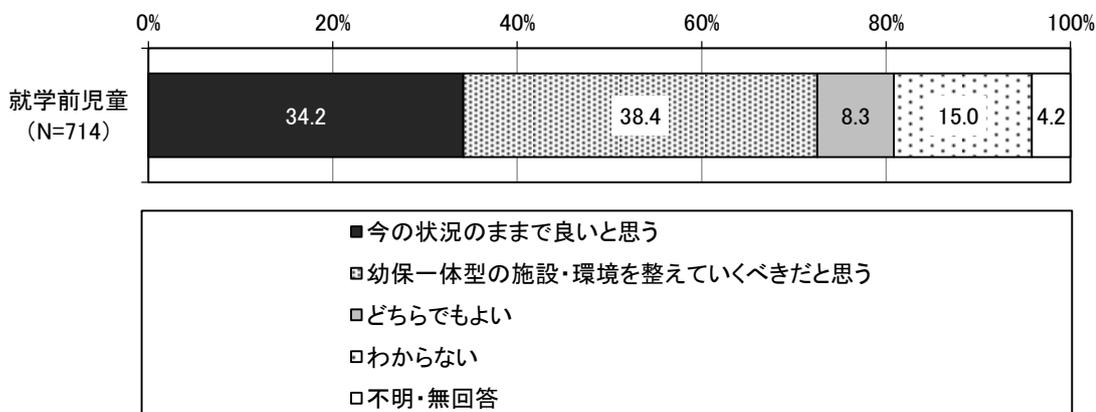
【小学生児童】



(3) 長期的な市の教育・保育における整備の方向について〈単数回答〉※就学前児童のみ

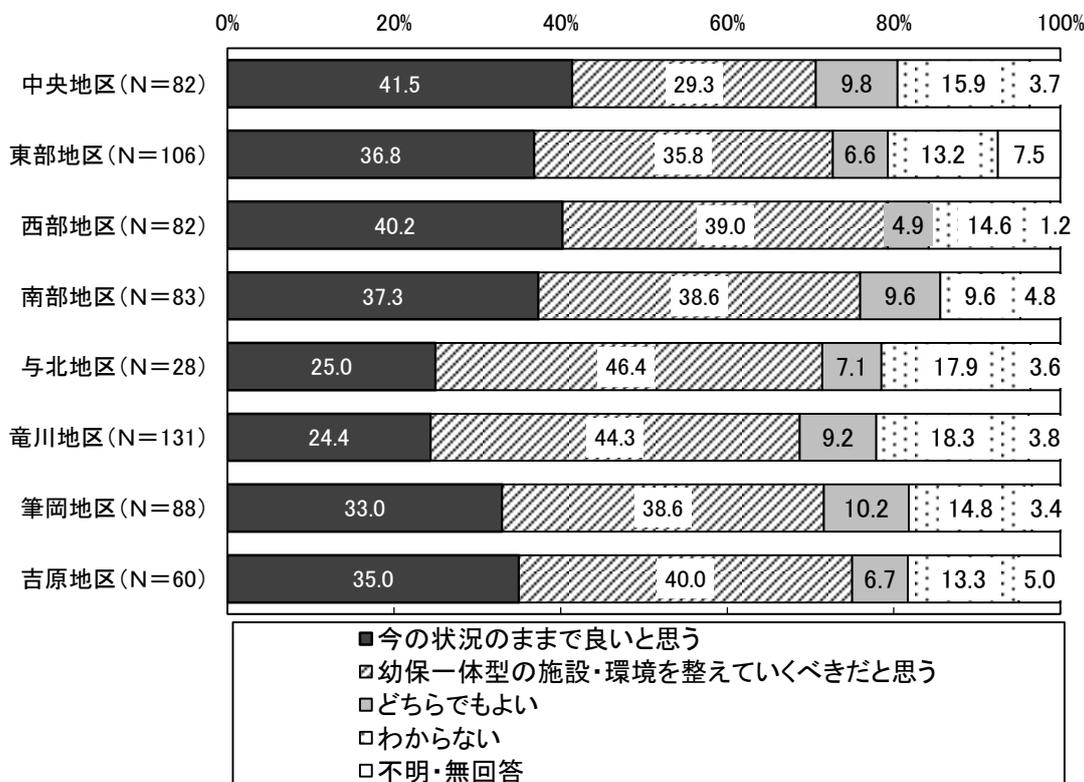
〔就学前児童調査…問 30〕

長期的な市の教育・保育における整備の方向についてみると、「幼保一体型の施設・環境を整えていくべきだと思う」が38.4%、次いで「今の状況のままで良いと思う」が34.2%となっています。



地域別 × 長期的な市の教育・保育における整備の方向について

地域別に長期的な市の教育・保育における整備の方向についてみると、[与北地区][竜川地区][吉原地区]で「幼保一体型の施設・環境を整えていくべきだと思う」の割合が4割を超えています。



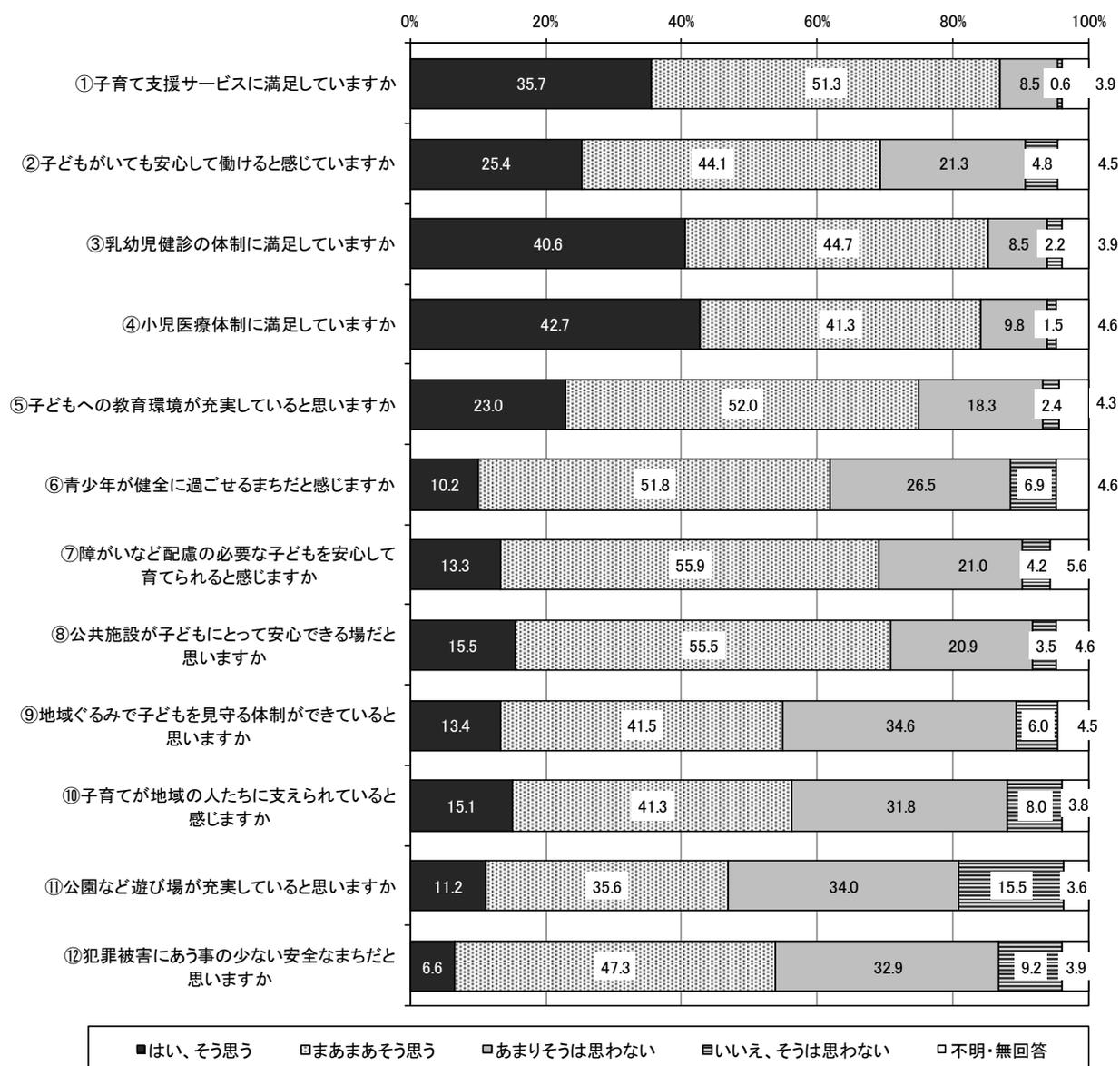
(4) 市における各分野について、感じること〈各項目に単数回答〉

〔就学前児童調査…問 31、小学生児童調査…問 22〕

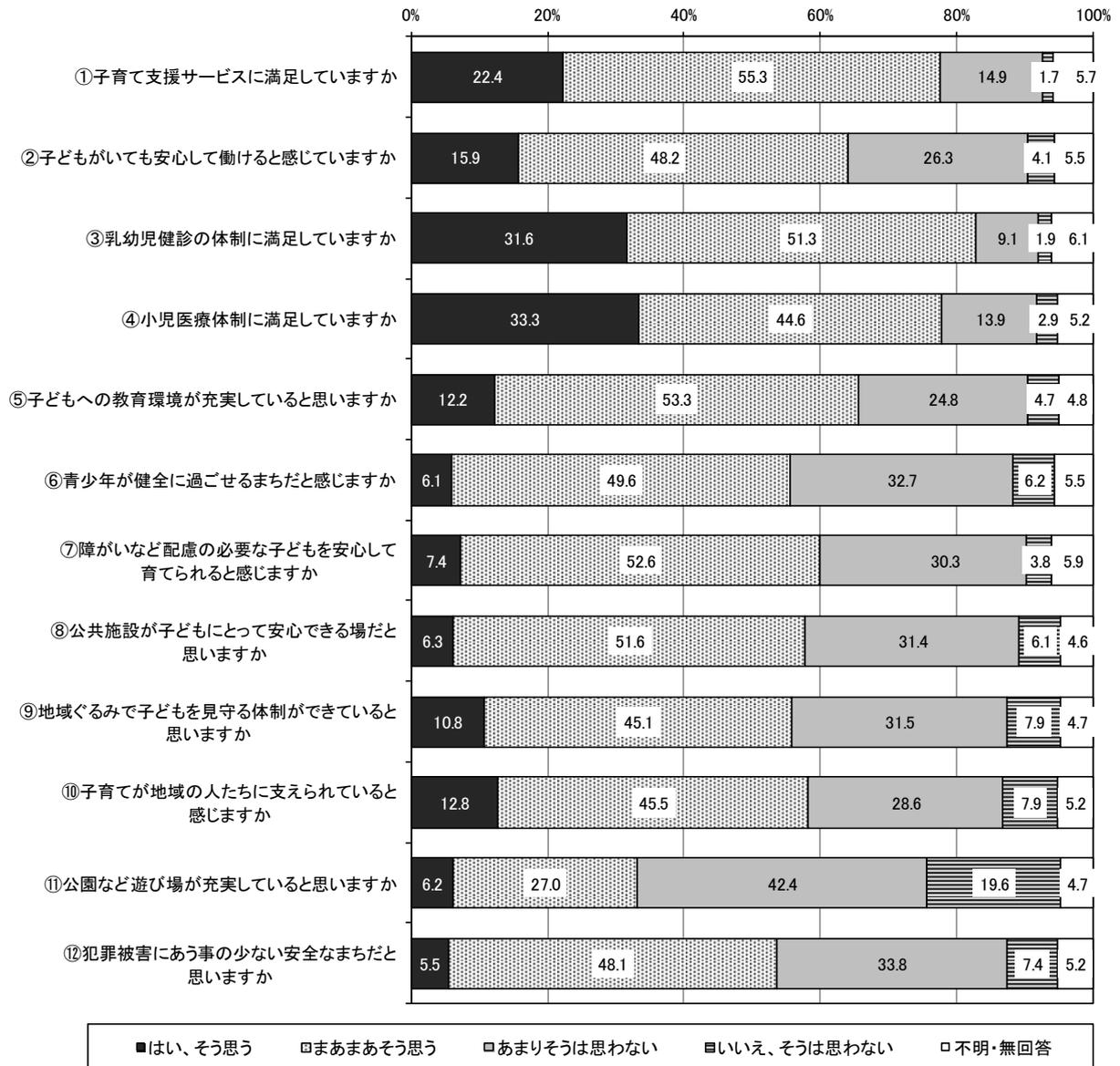
子育ての各分野について感じることに、就学前児童、小学生児童ともに、『③乳幼児健診の体制に満足していますか』『④小児医療体制に満足していますか』の項目で、「はい、そう思う」が3割を超えています。

一方、『⑪公園など遊び場が充実していると思いますか』の項目で、「いいえ、そうは思わない」が、1割を超えています。

就学前児童(N=714)



小学生児童(N=825)



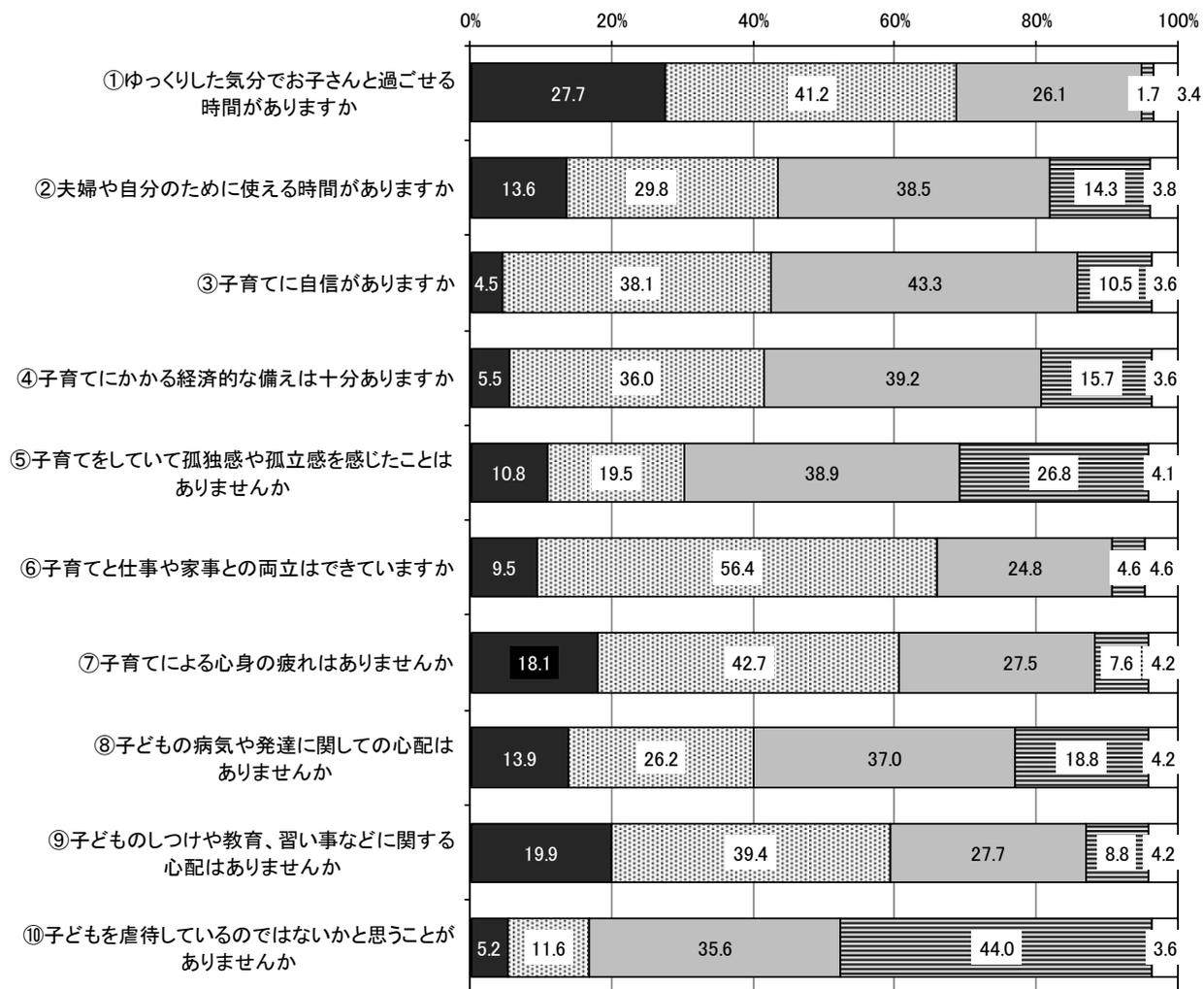
(5) 子育て全般について、回答者の気持ちに近いと思うもの〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 32、小学生児童調査…問 23〕

子育て全般について思うことについて、就学前児童、小学生児童ともに、『①ゆっくりした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか』の項目で、「ある」が、2割を超えています。

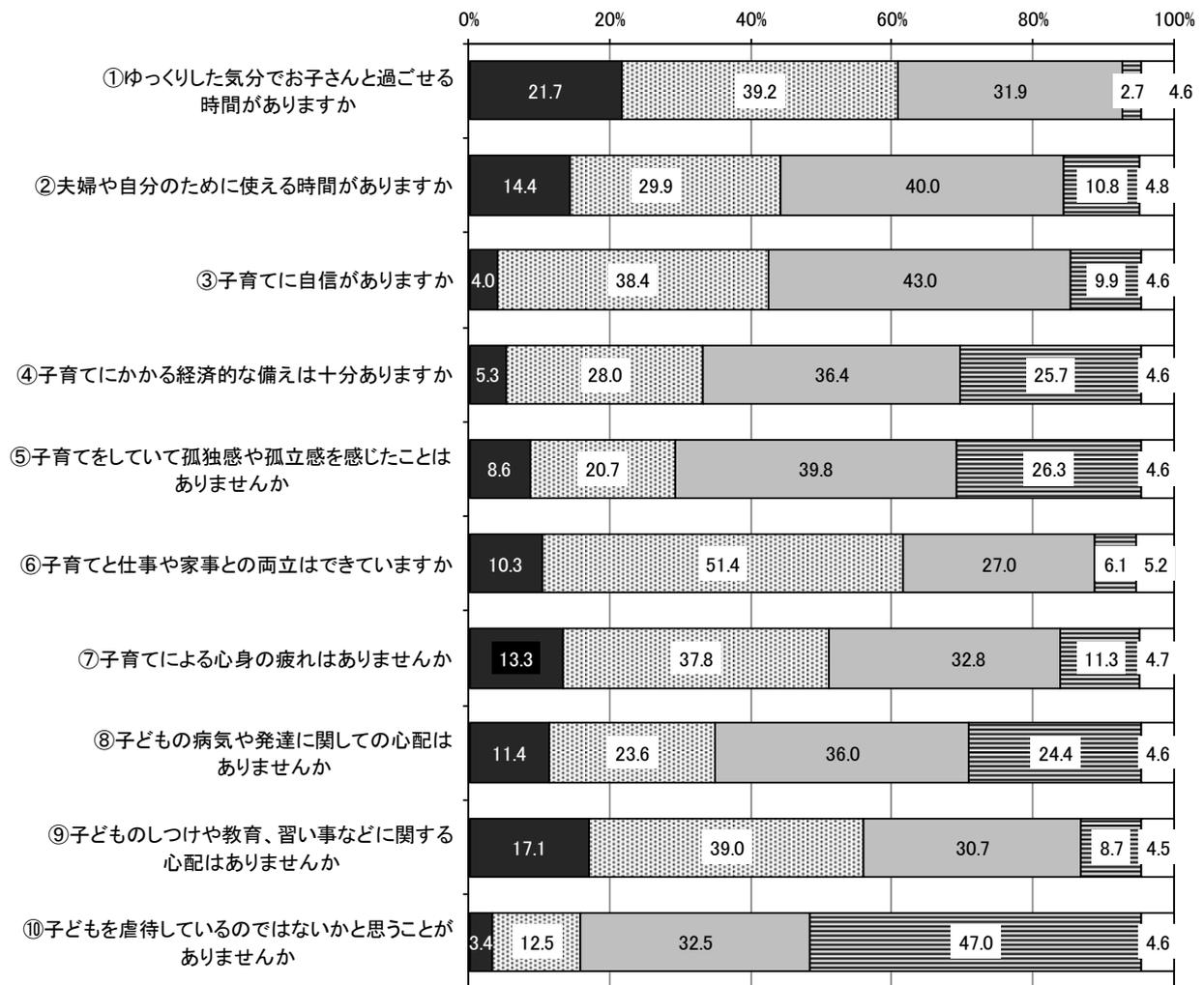
一方、『⑨子どものしつけや教育、習い事などに関する心配はありませんか』の項目で、「ある」が、約2割となっています。

就学前児童(N=714)



■ある(できている) ■まあまあある(まあまあできている) ■あまりない(あまりできていない) ■ない(できていない) □不明・無回答

小学生児童(N=825)



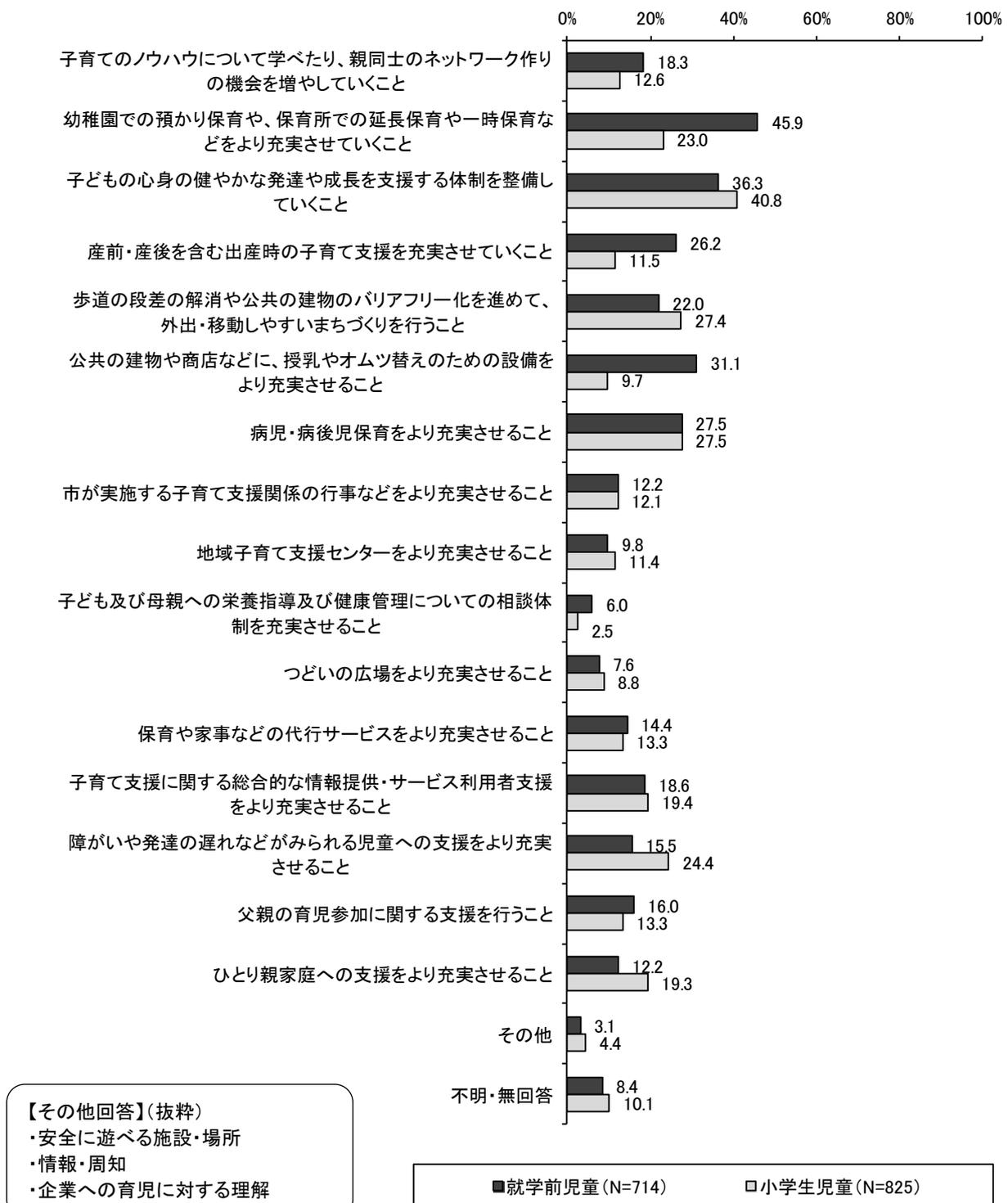
■ある(できている) □まあまあある(まあまあできている) □あまりない(あまりできていない) ■ない(できていない) □不明・無回答

(6) 市のこれからの子育て支援について特に力を入れて充実させてほしいと思うこと

〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 33、小学生児童調査…問 24〕

市のこれからの子育て支援について特に力を入れて充実させてほしいと思うことについてみると、就学前児童では、「幼稚園での預かり保育や、保育所での延長保育や一時保育などをより充実させていくこと」が、45.9%と最も多く、次いで「子どもの心身の健やかな発達や成長を支援する体制を整備していくこと」が36.3%となっています。

小学生児童では、「子どもの心身の健やかな発達や成長を支援する体制を整備していくこと」が、40.8%と最も多く、次いで「病児・病後児保育をより充実させること」が27.5%となっています。

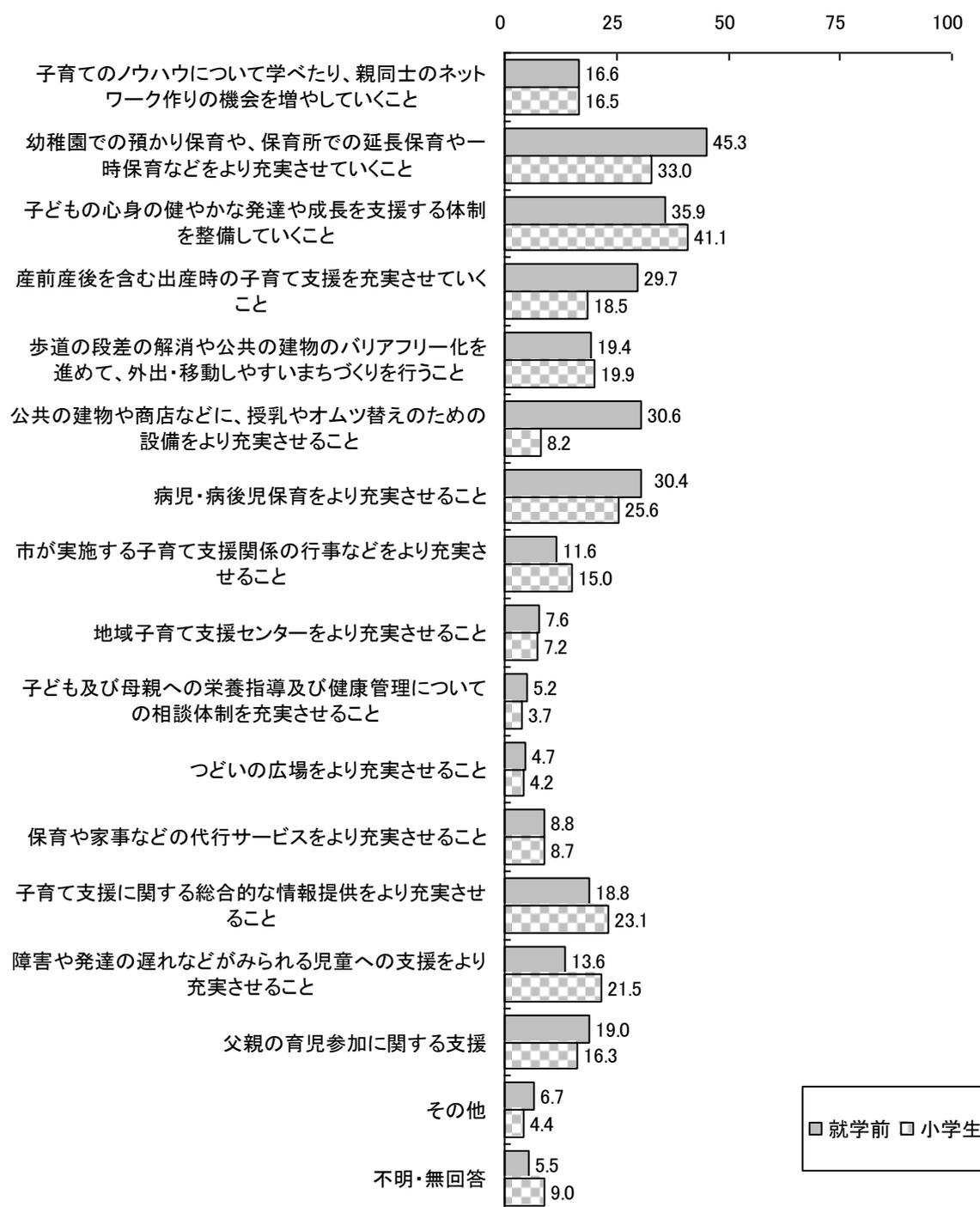


【前回調査】市のこれからの子育て支援について特に力を入れて充実させてほしいと思うこと

前回調査と比較すると、就学前児童については、おおむね同じ傾向となっていますが、小学生児童では、前回調査をみると、「子どもの心身の健やかな発達や成長を支援する体制を整備していくこと」が最も多く、次いで「幼稚園での預かり保育や、保育所での延長保育や一時保育などをより充実させていくこと」となっています。

サンプル数：就学前674、小学生698

単位：%



12 自由回答

■教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してのご意見〈自由記述〉

[就学前児童調査…問 34、小学生児童調査…問 25]

【就学前児童（主なもの抜粋）】

◎保育所や幼稚園のことについて

幼稚園やアフタースクールの先生たちがいてねいに子どもをみてくださるので安心して預けられる。ただ、幼稚園の先生の人数が少ないように思う。1クラス一人だと負担が大きくて大変なのではないでしょうか。
保育所、カナンが近いので入りたいが、あきがなく入れない。入れないので母親が働きに行けない。
幼稚園と小学校の交流はありますが、保育所と小学校の交流もしてほしいと思います。
幼稚園の保育時間をもっと延ばして欲しい。幼稚園(中央)の遊具をもっと増やして欲しい。
保育所、幼稚園を一体型にして幼稚園が休み(冬休み、夏休み)の時は保育所で見ていただけるようにしたらうれしい。
本当に4月から保育園に入れるのか不安！！
保育の情報は保育園等に通っていれば何がどこであるか等、チラシなどでわかるが、初めてママになる人や仕事をしていると情報を集めにくい。コンビニやスーパー等においてあれば手にとりやすい。
保育所には本当にお世話になっています。先生方も大変だと思います。社会が変わっていく中で、いろいろ変わっていかねばとも思います。保護者支援も含めて、より充実したものになっていけばと思います。

◎預かり保育、休日保育、宿泊を伴う預かりなどについて

日・祝に常に預かり保育を安く利用できたら…と思います。
土曜日、日、祝日の特別保育をすべての保育所でもやってほしい。
一時利用できる保育園などの施設や、緊急時に対応してくれるところをもっと充実すればありがたいです。
仕事の都合で母親が一週間～10日間家を空けなければならない事がある。その為、宿泊を伴う預かりがあると、とてもありがたいです。
平日は幼稚園があり、アフタースクールもあるので働くときや病気の時も大丈夫で安心です。しかし、日曜日や夜間は主人しか頼る人がいないので、出張のときなど利用できる場所があると心強いです。
保育所の土曜保育を半日から一日にしてほしい。(仕事を入れにくい)

◎病児・病後児保育について

病児保育を増やして欲しい。土曜保育を増やして欲しい。
病児保育、助かります。
病児、病後児保育を以前利用しましたが、一ヶ所はいつもいっぱい、もう一ヶ所も木曜日が休みになるので、できれば平日通して利用できる場所が増えればいいと思う。
病児、病後児保育の手続きが面倒。病気の時や緊急時に都合よく利用できたためしがない。
共働きなので、病児、病後児保育がもっと充実していれば安心して働けます。

◎スタディーアフタースクールについて

スタディーアフタースクールの利用(週1~2回)を考えていますが、利用料金が割高になるので迷っています。
ひとり親のスタディースクールを無料にしてほしい
アフタースクールで18:30まで預かってくれるので助かっています。
夏休みや冬休み等の長期休暇中にスタディーアフタースクールを利用したいが、お弁当を持参させなくてはならないので、負担になる。
アフターで幼稚園組と小学組をわけてほしいです。
来年から幼稚園へ入園予定ですが、アフタースクールでのあずかりが18:30までなので、正直仕事が終わってむかえに行くのが難しく、まだ迷っています。時間の延長をお願いしたいです。

◎地域の子育て支援事業について

子育て支援センターは子どもが乳児の頃利用しましたが、母親同士の和に入れず、利用したいが、利用しにくかった。
利用するきっかけをつかみにくい。(広場によってすでに輪が出来ており、1回だけ利用したが行きづらくなった)
子育て広場や支援センターなど、土曜日でも遊べるようにして欲しいです。幼稚園が休みの時に閉まっているので、遊びに行きたくても行けないです。
子育てホームヘルプサービスをよく利用しています。カナン先生方がホームヘルパーさんと利用者とのスムーズな連携を図ってくれていて、いつも気持ちよく利用させてもらっています。
児童センターが小学生が1人で通える距離にない。私が子どもの頃は児童センターが小学校の横にあり、放課後気軽に通ってました。
地域の子育て支援事業については保育所入所前や上の子どもたちのころに利用していました。とても充実していて良いと思っています。

◎相談・情報提供に関することについて

どこかに相談するとか等は今までしてきましたが、知っていることや思っている事が解答として返ってくるし、自分の経験等で解決してしまうので、本当に相談したいことを的確に指導、アドバイスしてくれる人を置いてほしい。
児童館や園庭開放など知らないことがたくさんあり、どのように利用していいのかわからない
子育てホームヘルプサービスについて、教えてもらいたいです。
地元を離れていると緊急時に気軽に預ける事のできる場所が少ないので、土日や時間帯に限らず、何かあった時に預けたり、相談できる場所があると嬉しいです。(お友達も自分と同じくらいの子どもがいるのでなかなか頼みづらい部分があるので)
もっと支援の情報などを周知してほしい

◎医療費、経済的な支援等について

医療費が無料なので感謝しています。ただ、インフルエンザ予防接種の料金を安くしてほしいです。
小学生に上がると医療費を一時的に支払わなければならないのが、経済的にしんどいです。
他市は母子家庭だとあずかり代が半額になります。母親一人で働いて少ない給料で毎月一万以上の支払いはきびしいです。
小・中学生医療費、申請制ではなく、窓口負担ゼロにしてほしい。月ごと病院ごとの申請書は手間がかかる。

子育て支援事業の中には無料のものもあるが、ほとんどが料金が発生するため利用をしたくても料金のことを考えると利用しづらい。料金を安価に設定できないものかと思う。

子育てホームヘルプや、休日保育の利用がかさむ月は(仕事が不規則の為、よく利用しています)家計が非常に苦しい(赤字)ので、限度額を設けてもらえると良いなあ・・・と思います。

◎その他

いろいろと参加したい事はありますが、フルタイムの為参加できないのが現状です。充実している子育て支援をもっとうまく利用したいと思います。

今のところ環境に恵まれているので利用することはないが、この先利用する必要がある時にはありがたい制度だと思う。また休日利用できる(イベント)ものがあれば家族で行けるな、と思う。

子どもが楽しめるイベントを更に増やして活気づけてほしい

公園がもっとあれば良いと思う。

車が通行する道で車の量も少ない為、街灯が全くなく、子どもが冬帰宅時心配です。

善通寺駅のそばの踏み切りを通る時、車が通るといっぱいいっぱいなので、ベビーカーを押して通るときこわかった。もう少しはばを広くしてほしい。

出産後、保健師さんがきてくれたのがとても良かった。不安になった時電話で相談したいと思うくらい安心感があった。

事業所内保育園や一時利用できる保育園(カナン)や子育てヘルパーさんも利用でき、子育てはしやすいところではないかと思っています。しかし、市外、県外から仕事で来ている方が多く、近くに子育てを助けてくれる身内が少ない人も多いのではないかと思います。

善通寺市はとても子育て環境が整っており、現状に満足するのではなく、よりよくしていくために様々な事が変わってきています。

スポーツ少年団など、スポーツをするチーム(機会)がなさすぎる。

早くから(小さいうちから)預けられている子ども達が多すぎる。子育てを他人任せの様に思っている親が多く、不憫に思う。

幼稚園行事(バザーや運動会など)で一般の人も見学できるのならネットに日にちをのせてほしい

仕事が決まっても、低年齢だと保育入所ができないのが仕事をするのにも不安である。

小学生の長期休暇や放課後、小学校の校庭やプールが開放されたらいいなと思います。

子どもの数がどこでも少なくなっている中で、人間関係の難しさがいっそう感じられるようになってくるように思います。(子ども同士、親同士、家庭内) いじめや虐待などが深刻になる前に、いろいろな機関に相談できる、連携しているという安心感が持てれば良いなと思います。

悩める子育て中のママたちにとって、心強いサポートありがたいなあと感じています。ママ友の間でも、他市町に住んでいる人から、「善通寺ってスゴイ」って思われてます。

【小学生児童（主なもの抜粋）】

◎小学校（中学校）のことについて

学校や幼稚園の先生の数が足りていないと思います。特に幼稚園はPTAの負担が結構あります。ずっと感じて います。
小学生高学年、特に夏休み等休暇時の居場所作り
保護者が優位に立つのではなく、学校側がもっと強い力を持つことが必要だと思う。
土曜日の半日授業を行ってほしい。
他の市町に比べて、学校における図書費やパソコンなどの情報教育に関する費用が少なかった。
小学校では、通学時学校までの距離が遠いためスクールバスによる送迎があり大変ありがたかったです。しかし 中学校になると自転車通学になり交通面でも心配ですし、自宅から中学校までの通学路も人気が少ないうえ街 灯もほとんどなく不安です
小学校においては、いじめ問題、授業環境などの改善において職員が多く、ていねいに関わってもらえたらと思 う。見ていて、担任・講師・教師などの負担も多いと思われる。
私自身がマンモス校で育ったので学年1クラスは寂しすぎる。クラス替えや同じ学年での勝負(運動会のリレー) などを楽しんでもらいたい。6年間ずっと同じクラスは仲良しいと思うけど中学校に行ったときが心配です。
子どもの数に対し、学校の数が多すぎる。各学年1クラスでは、ずっと同じメンバーで馴れ合いになり人との接し 方などが成長できない。また、どこの学校も(小・中学校)グラウンドが狭すぎる。子どもたちのスポーツ向上のため にも、グラウンドをもっと使えるものにして欲しい。先生方のレベルアップも望みます。
善通寺の東中、西中の教育環境がどのような感じであるのか心配である。落ち着いて、きちんと勉強ができてい るのかなど。善通寺には私立の中学校がないので、できれば丸亀の大手前や藤井のユリーカに行かなくてもいい ように、公立の中学校でもきちんと授業ができるような環境であってくれればと思います。
学力向上のために放課後・学校または公民館などを利用して地域の教員退職者の方などに楽しく勉強を教わる 場を設けて欲しい。
学校は全く、発達障害について理解していただけていない所があり、通学班の班長の子にひどい言葉を言われ ることもあったり、入学して2日程しか子どもだけで通学させていないのに、すぐあった通学班会で学校の教務主 任、他の子の親、子どもが「一緒に通うのは困ります」等と言われました。
台風などによる警報が出た時に、小学校や幼稚園の方で休校ではなく授業時間の間はみてほしい。(体育館が 避難所になるくらいなので、安全面では問題ないのでは?)
地域的な違いで小学校から中学校になった時に子どもがとまどわない様に、山間部の子ども達への配慮が必要 だと感じます。
放課後こども教室の開催。通級指導教室の増設、及び指導者の育成。子どもの成長の節目(幼稚園・保育園、 小学校、中学校)、学校間の連携を密にしてほしい(公立・私立に関係なく)

◎スタディーアフタースクールについて

子どもが小学1年で入学と同時に善通寺に引越してきたが、スタディーアフタースクールも定員などで断られるこ ともなく、すぐに受け入れていただき本当に助かりました。
アフタースクールを利用しています。とても先生方の対応がよく安心して預けることが出来て感謝しています。
スタディアフタークールがあり長期休暇の時など大変助かっている。台風等で臨時休業になった時に預かって

<p>らえたら助かるのですが。</p>
<p>アフタースクールでの学習面の強化をお願いしたい(将来末子を通わせる予定)以前ほどきちんと宿題をしていないと母仲間から聞くので。</p>
<p>アフターのむかえ終了時間を19時までのばしてほしい</p>
<p>スタディアフタースクールの過ごし方が、テレビなどの時間が多いように思います。もう少し色々な体験が出来る場になるといいなと思います。</p>
<p>放課後や長期休暇に子どもたちが安心して集う、遊べる場所が地域ごとにあれば嬉しい。スタディアフタースクールは子どもが大きくなると利用したとらないので、支援センターのように自由に出入りできる場所があったらいいなと思います。</p>

◎預かり保育、長期休暇期間の預かりなどについて

<p>夏休みか冬休みの預かり保育の件で、3年生以上は簡単には預けられないといわれ、3年生の子どもがひとりで長期休みを過ごしている。</p>
<p>一時預かりなどがあっても子どもが慣れていないと安心して預けられないなあとと思います。でも一時預かりなのでできないのは当然だと思います。</p>
<p>現在3人目を妊娠中です。上の子は小学生なので3人一緒に見てもらえる場所がありません。仕事は復帰予定なので、小学生も幼稚園も保育園も関係なくみてもらえるところがほしい。(費用がかかってもかまわないので)</p>
<p>共働きで、アフタースクール以外でも市が援助して子どもたちが気軽に勉強できたり遊べたりするスペースがあれば地域の中で子どもが育っている感じがするし、小学生以上でもそういう場所作りができれば嬉しいです。</p>

◎病児・病後児保育について

<p>市内に小児医療ターミナルともいべき施設がありますが公立病院ということで、休日などの対応が難しいのが残念。何に需要があるかというカウンセリング、発達相談などです。熱がでた、すりむいた等のけが・病気は個人病院で対応できるので。</p>
<p>病児保育を実施している数が少ないのではないかと思います。いざ利用しようと思っても利用できたことが1度もない(定員の関数)</p>
<p>現在、善通寺市には病児保育ができる機関が2箇所のみ。預けたい時に、定員いっぱいでは預けられないことも。</p>

◎保育所や幼稚園、地域の子育て支援事業について

<p>途中入所の保育所にあきがなく入れません。働いている人たちは、途中から入所ができない環境にあるのは大変困ることなので、もう少しその辺りを改善してほしい。</p>
<p>支援センターの充実や代行サービスの充実は大切なことだと思うが、そこに行くまでの一歩がなかなかできない人が多いのではないかと思います。</p>
<p>3年生まで子育て支援の育児ヘルパーさんを利用していました。一人親のため時間250円で利用できたことに大変感謝しています。ありがとうございました。</p>
<p>保育所・幼稚園において障害を持つ子やアスペルガーのような子に対して、ていねいにゆとりを持って関わられるようにしてほしい。</p>
<p>保育所・幼稚園の園舎、小学校の体育館が古くせまい。幼稚園の先生の出入りが激しい。</p>
<p>核家族で子育てへの不安や孤独感もありました。そんな時、カナン保育所へ遊びに行かせてもらい、同年代の</p>

子どもを持つお母さんと会話することで悩んでいること・心配なこと、いろいろ相談できて助けられました。

善通寺は、大半の幼児が保育所ではなく幼稚園に進むための就労状況により保育所で保育してもらいたいのと同じ年の両親、お友達がいなくなってしまう子どもの小学校進学の時のことを考え幼稚園を選択せざる得なくなっている。保育所が必要なのに利用しづらい状況だと思う。

◎相談・情報提供に関することについて

子どもが小さいうちは栄養指導や子育て支援に関する情報が多く周知されていた気がするが、小学生になると支援センター等の情報(連絡先)等がパンフレットで配られるだけのイメージがあります。保護者の方と話をする機会もぐっと減り、相談するにも平日の昼間しかできないのでは、働いているとかなり厳しいです。子育て支援センターはこんな人が来ていてこんなことをしていますといった情報があれば行き易いと思っています。

子育て支援センターに悩みを聞いてもらおうと思っても真剣に聞いてくれない。相談しても誰でも答えるような事しか返ってこない。

いじめ問題を相談する窓口がほしい。不登校の子どもが相談に行く場所があったらいい。

◎医療費、経済的な支援等について

医療費の一時立替を改善してほしい

小・中学生の医療費が無料というのは、ありがたいと思います。

インフルエンザの予防接種の無料化を進めてほしい

ひとり親で中学や高校入学への制服などの準備金がありません。毎月の生活費だけでも追いつかずこの春に入学する子への準備をどうしたらいいのか悩んでいます。

昔みたいに医療費を立替じゃなくその度支払わずにしてほしいです

金銭で助けていただけるのが一番ありがたい。

仕事がなかなかきまらない。子ども手当を2ヶ月に1回か毎月にして欲しい。

医療機関で受診して医療費を支払う。その後領収書を子ども課に持って行って手続きをして、口座に支払った代金が振り込まれますが、小学生・中学生も乳児医療のように窓口で資格証を見せれば支払わなくてもいいようにならないかないつも思います。

◎その他

子ども達が全員小学生になって思うこと。それはつくづく勉強不足だったなということです。

公園を充実させてほしい

子どもが遊ぶ場所がありません。土日に小学校へ行っても野球クラブやサッカークラブが使用しています。近所の空き地は遊んでは駄目と言われます。ボランティア公園は狭いです。運動場で遊べるようにさせたいです。

街灯が少なすぎて夜が危ない。冬は学校から帰る時間でも暗いことが多い。

善通寺市民体育館を市民がもっと安く借りられるといいと思います。

図書館の利用がしづらいです。暗いエレベーター利用が危険。独立した図書館がほしい。児童が安心して利用できるスペースや、中高生が勉強できるスペースをもっと増やしてほしいです。

善通寺は他の市町村よりも子育てをしやすいと思います。他の地域はアフタースクールが短かったりしてフルタイムからパートに替わる人が多く、子どもを育てなければいけないのにお金的に厳しくなったりしている人が周りで多いので、比べてとても助かっています。

転勤で県外から善通寺に来て知り合いも全く居ない中、子育て広場の存在を知り、情報を得、相談する場がで

き、善通寺で子育てをしていきたいと思い、家を購入し定住することを決めました。同じように県外から善通寺での定住を決める方も少なくありません。いざという時、預けられるところがあるのは、何より心強いです。

子どもの安全に対して、地域ぐるみで取り組んでいる環境はとてありがたく思っています。

子どもが身体障害児で特別支援学校に通っていますが、母親としては自分の地元ではない為、何となく孤立感があります。地域にいても近所づきあいがあるわけではなく、かといって日々、仕事と育児の生活ですぎているので、余裕があるというわけでもないのです、このままの生活が続いていただけだと思いますが。

通学路にため池がいくつかあるがフェンスなど安全性の部分がないのがかなり不安です。事故が起きる前に、きちんとした柵を作っていただきたいです。

支援があるにこしたことはないが、子育ての主役は父母であると思う。あくまで主役がしっかりしていないと支援の役割は意味がないと思います。